

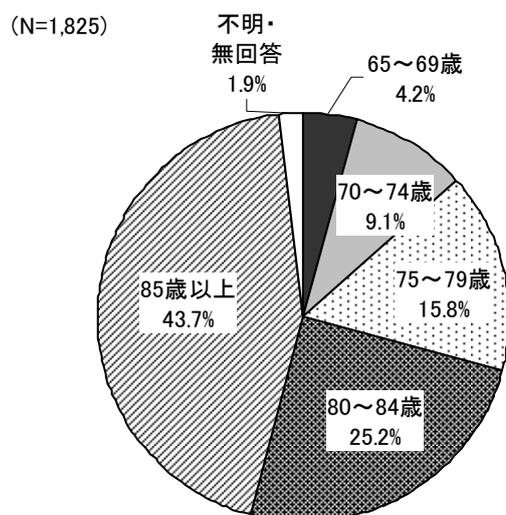
第3章 居宅サービス利用者調査結果

第3章 居宅サービス利用者調査結果

1 対象者の基本属性について

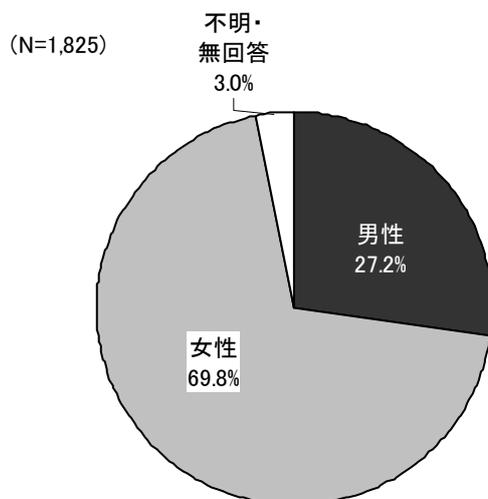
問1 あなた(あて名のご本人:以下の問も同じ)の年齢は。(○は1つ)

年齢では、「85歳以上」が43.7%と最も高く、次いで「80～84歳」が25.2%となっています。



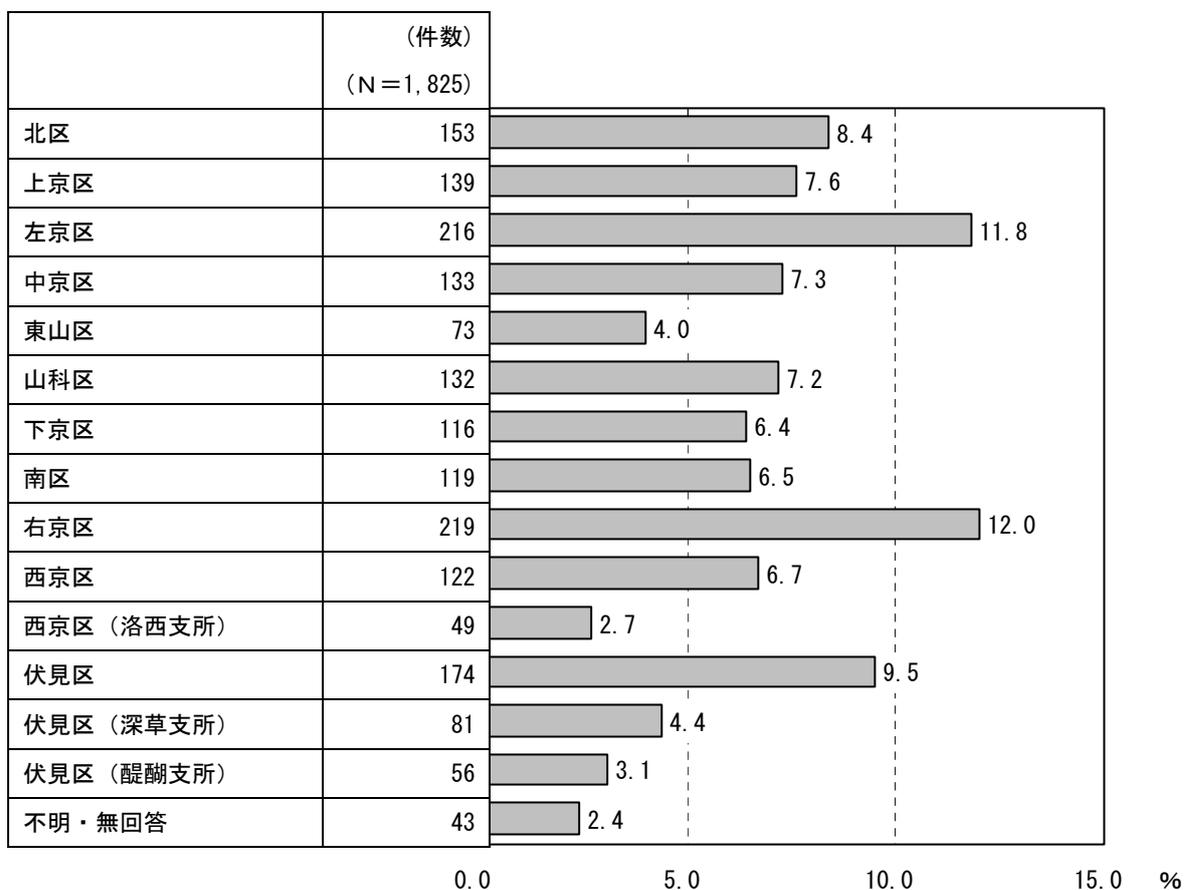
問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

性別では、「男性」が27.2%、「女性」が69.8%となっています。



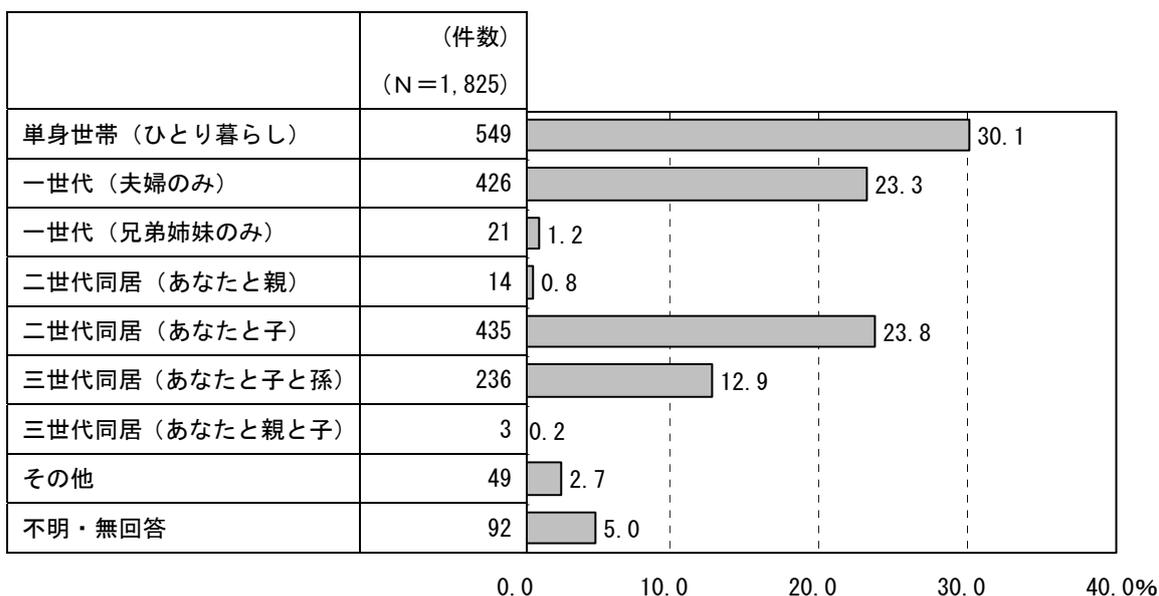
問3 あなたがお住まいの区・支所は。(〇は1つ)

居住地区では、「右京区」が12.0%と最も高く、次いで「左京区」が11.8%となっています。



問4 あなたの同居者(家族)の構成は。(〇は1つ)

家族構成では、「単身世帯(ひとり暮らし)」が30.1%と最も高く、次いで「二世帯同居(あなたと子)」が23.8%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

前回調査との比較では、特に目立った差はみられませんでした。

単位：%

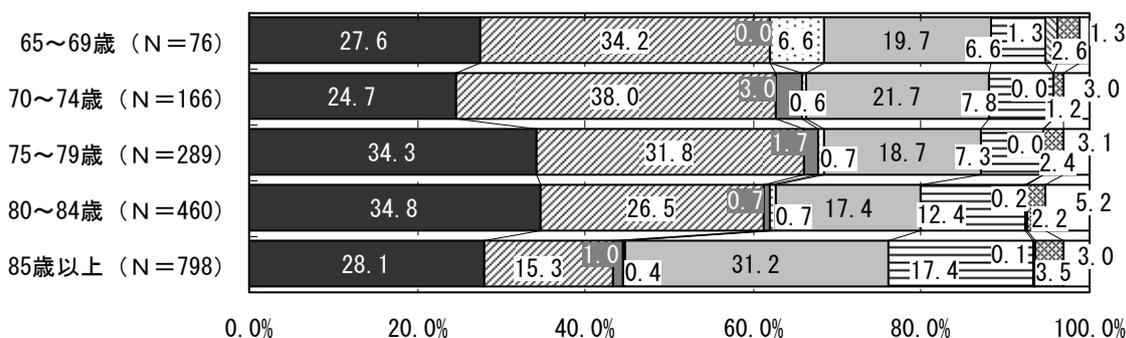
	回答者数(N)	ひとり暮らし	夫婦のみ(2人とも65歳以上)	夫婦のみ(左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ(左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親(二世代同居)	あなたと子供(二世代同居)	あなたと子供と孫(三世代同居)	あなたと子供と親(三世代同居)	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=1,837	29.1	22.6	1.5	0.8	0.2	1.2	23.9	15.3	0.1	2.7	2.6
	回答者数(N)	単身世帯(ひとり暮らし)	一世代(夫婦のみ)	一世代(兄弟姉妹のみ)	二世代同居(あなたと親)	二世代同居(あなたと子)	三世代同居(あなたと子と孫)	三世代同居(あなたと親と子)	その他	不明・無回答		
平成17年調査	N=3,633	17.0	38.9	1.8	2.7	22.9	10.6	1.3	2.8	2.0		

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

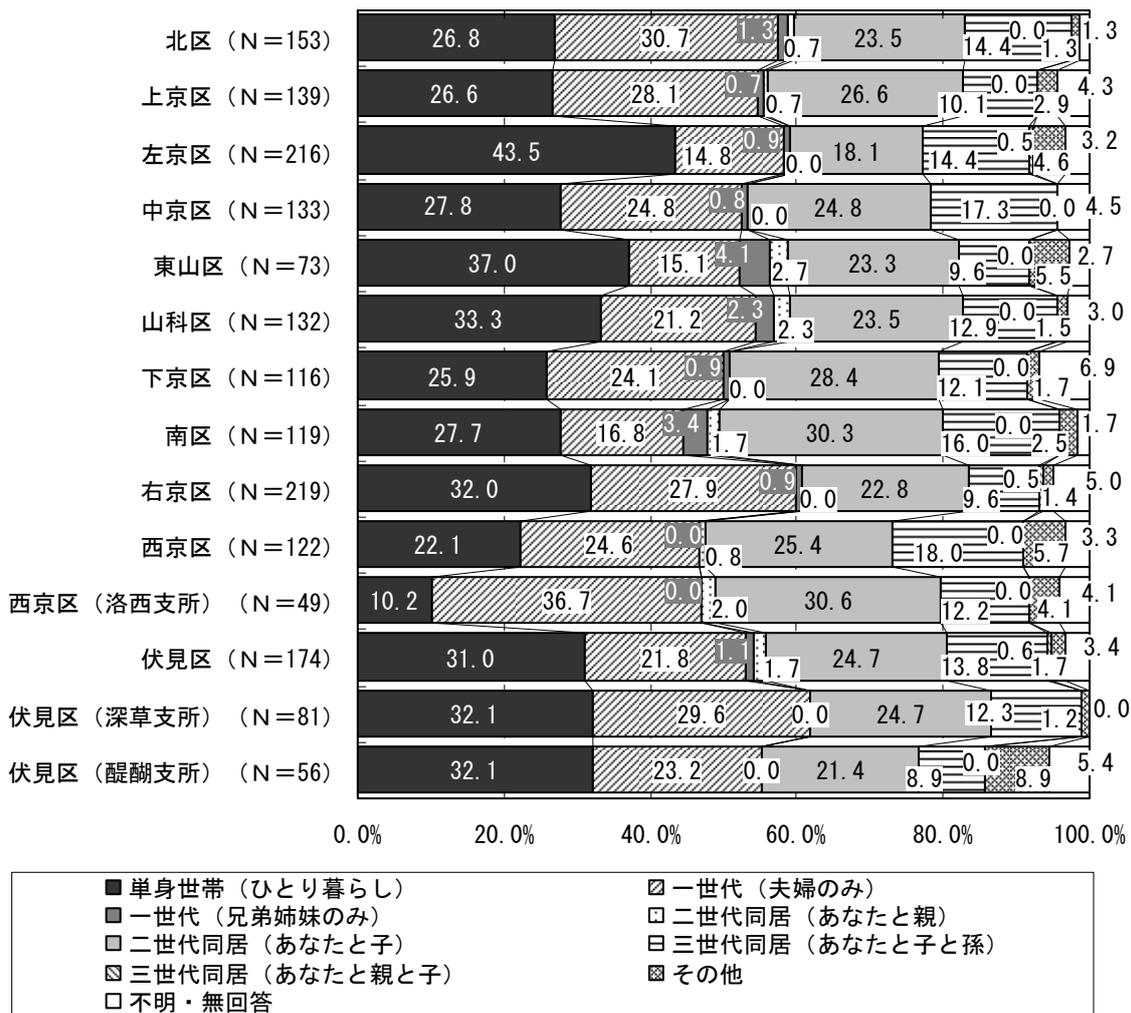
【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「二世代同居(あなたと子)」の割合が特に高くなっています。
 居住地区別では、『左京区』で「単身世帯(ひとり暮らし)」の割合が約4割と最も高いのに対して、『西京区(洛西支所)』では約1割となっています。

□ 年齢別 問4×問1

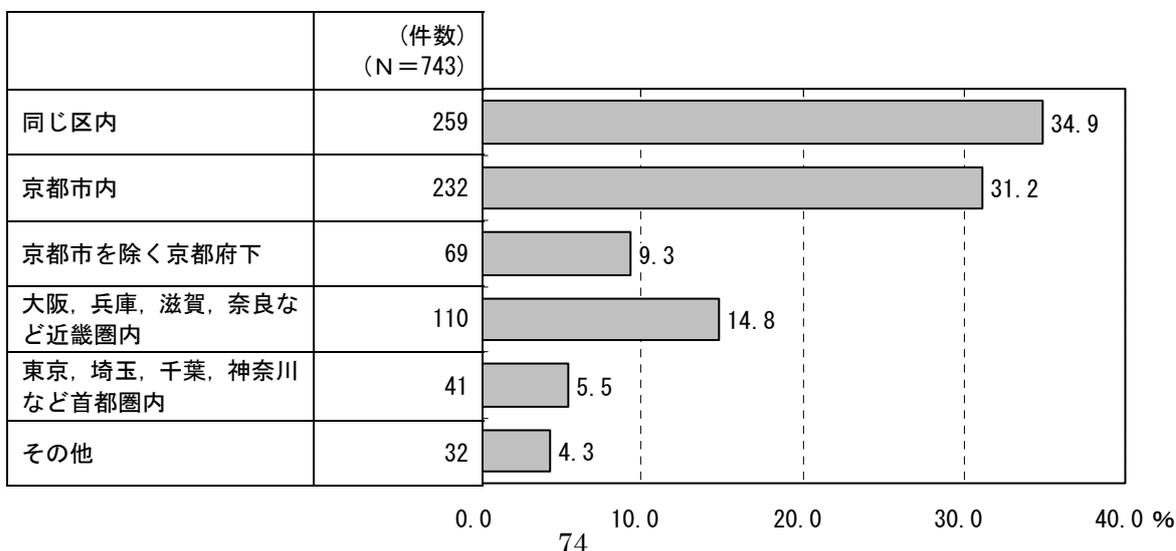


□ 居住地区別 問4×問3



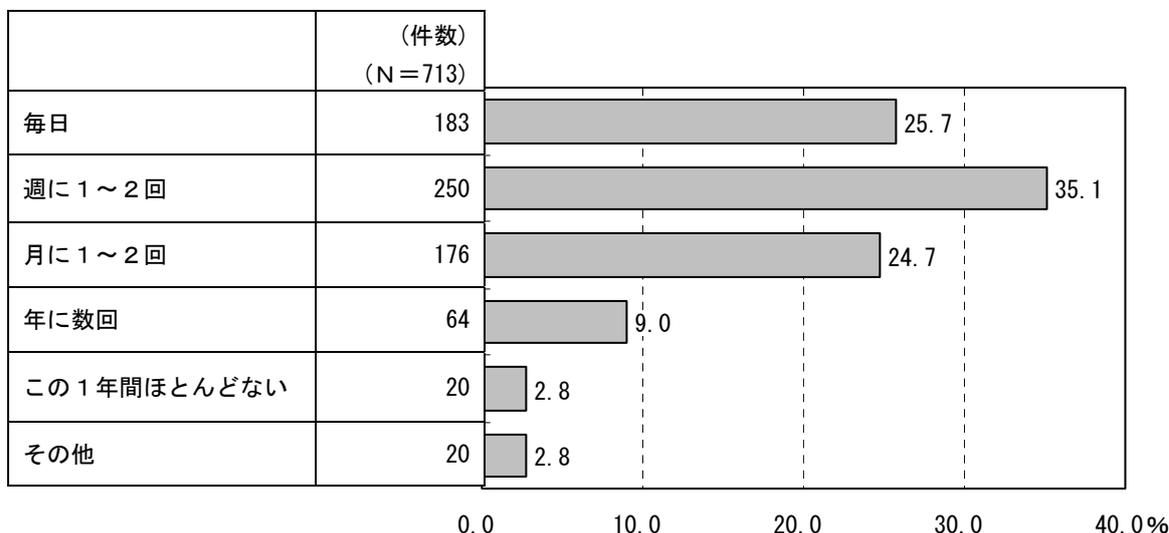
問4-2 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子はどこに住んでおられますか。(最も近くにお住まいの子の居住地1つに○)

子の住まいでは、「同じ区内」が34.9%と最も高く、次いで「京都市内」が31.2%となっています。



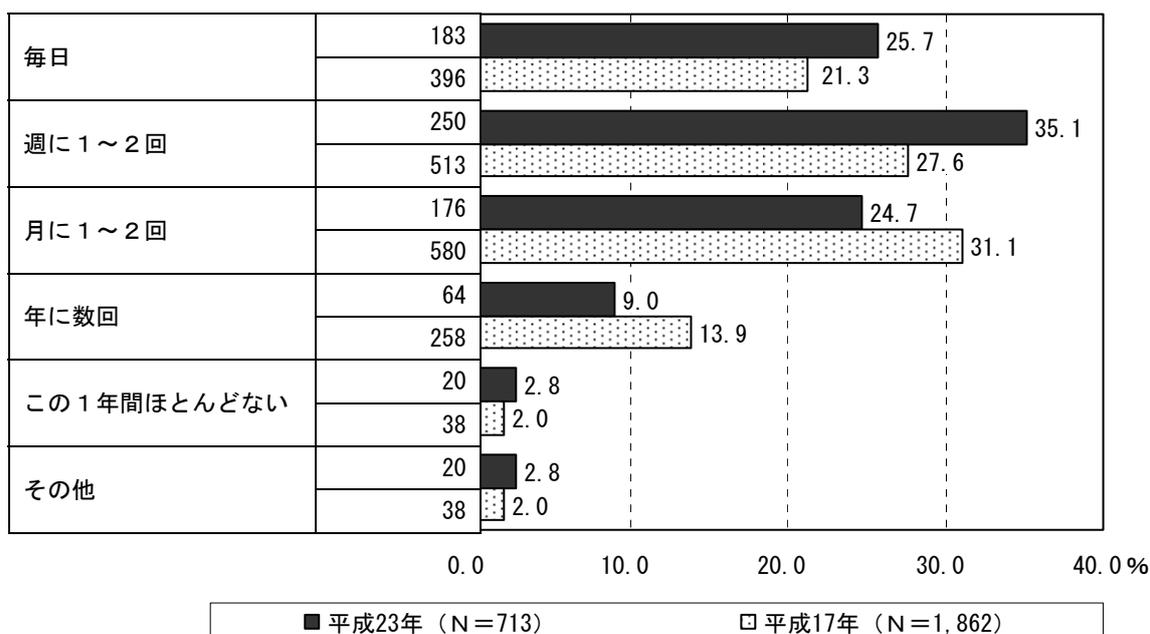
問4-3 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子との交流頻度は。(手紙や電話等も含みます。)(○は1つ)

子との交流頻度では、「週に1～2回」が35.1%と最も高く、次いで「毎日」が25.7%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、前回より「月に1～2回」の割合が低くなったのに対して、「毎日」と「週に1～2回」の割合が高くなっています。

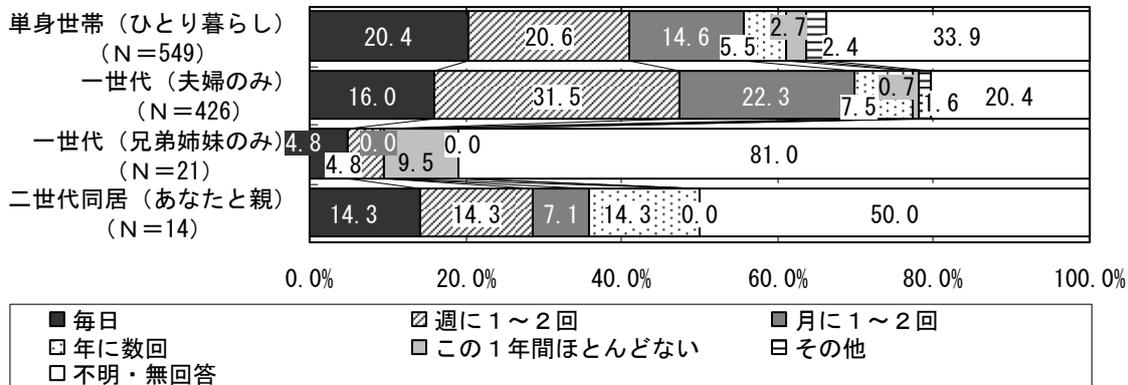


※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

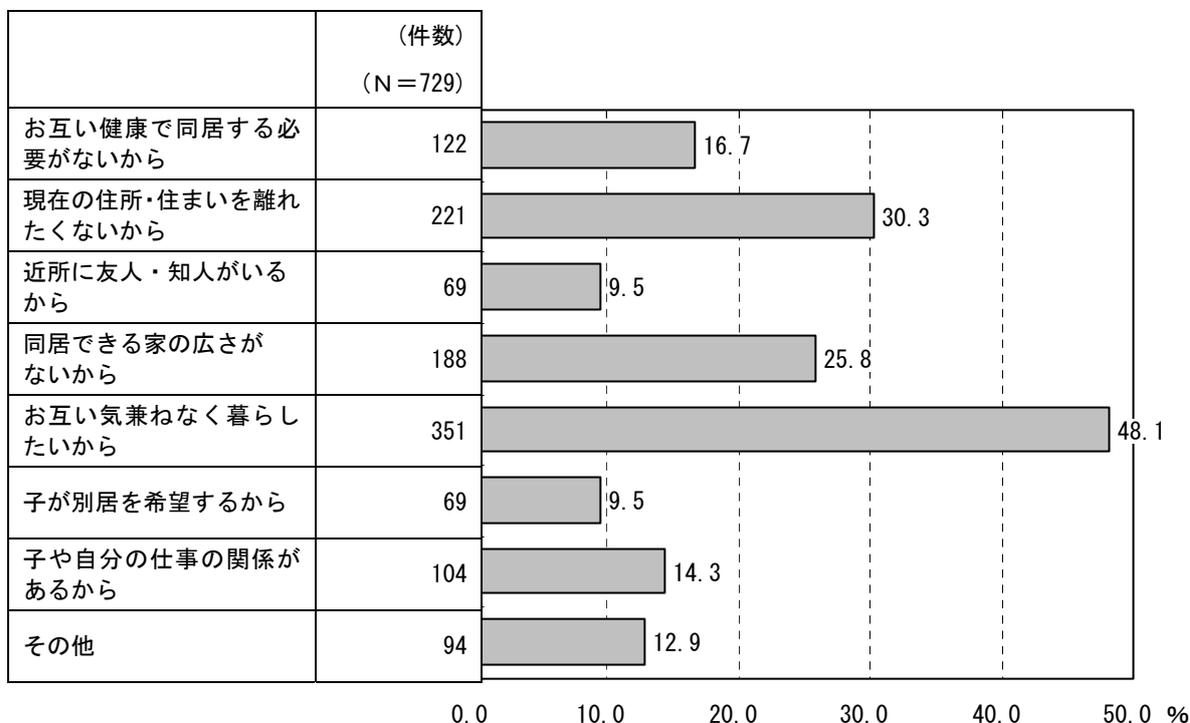
世帯構成別では、『一世代(夫婦のみ)』で「週に1～2回」の割合が特に高くなっています。

□ 世帯構成別 問4-3×問4



問4-4 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子と同居していない理由は。(○は3つまで)

子と同居していない理由では、「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が48.1%と最も高く、次いで「現在の住所・住まいを離れたくないから」が30.3%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』と『一世代(夫婦のみ)』で「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が3割以上と、特に高くなっています。

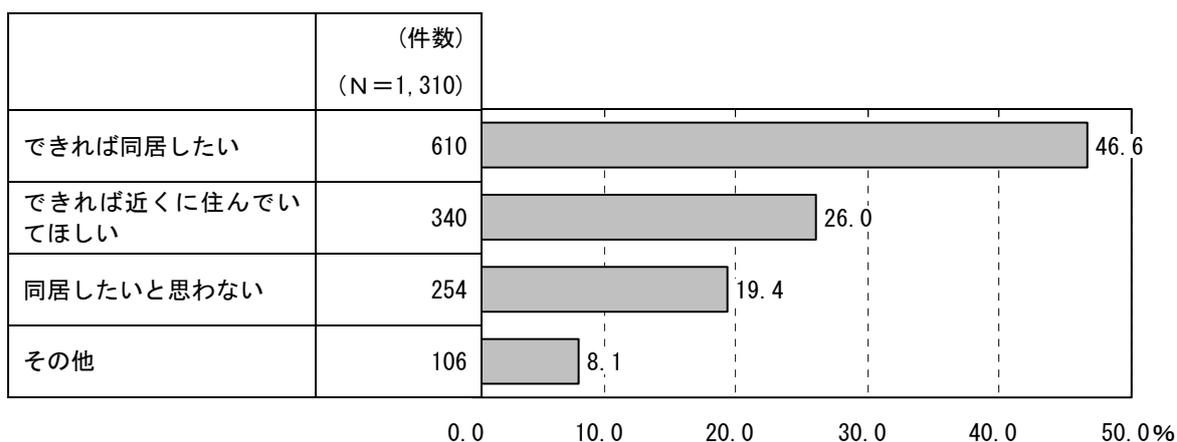
□ 世帯構成別 問 4-4×問4

単位：%

	回答者数(N)	お互い健康で同居する必要がないから	現在の住所・住まいを離れたいから	近所に友人・知人がいるから	同居できる家の広さがないから	お互い気兼ねなく暮らしたいから	子が別居を希望するから	子や自分の仕事の関係があるから	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=549	11.3	23.7	9.7	15.1	32.6	4.4	6.7	9.3	33.2
一世代(夫婦のみ)	N=426	13.8	21.4	3.8	24.4	39.7	10.3	15.3	9.6	16.9
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=21	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	85.7
二世代同居(あなたと親)	N=14	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	14.3	14.3	64.3

問5 子がいる方のみ あなたは子と同居したい(し続けたい)ですか。(○は1つ)

子との同居希望では、「できれば同居したい」が 46.6%と最も高く、次いで「できれば近くに住んでほしい」が 26.0%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

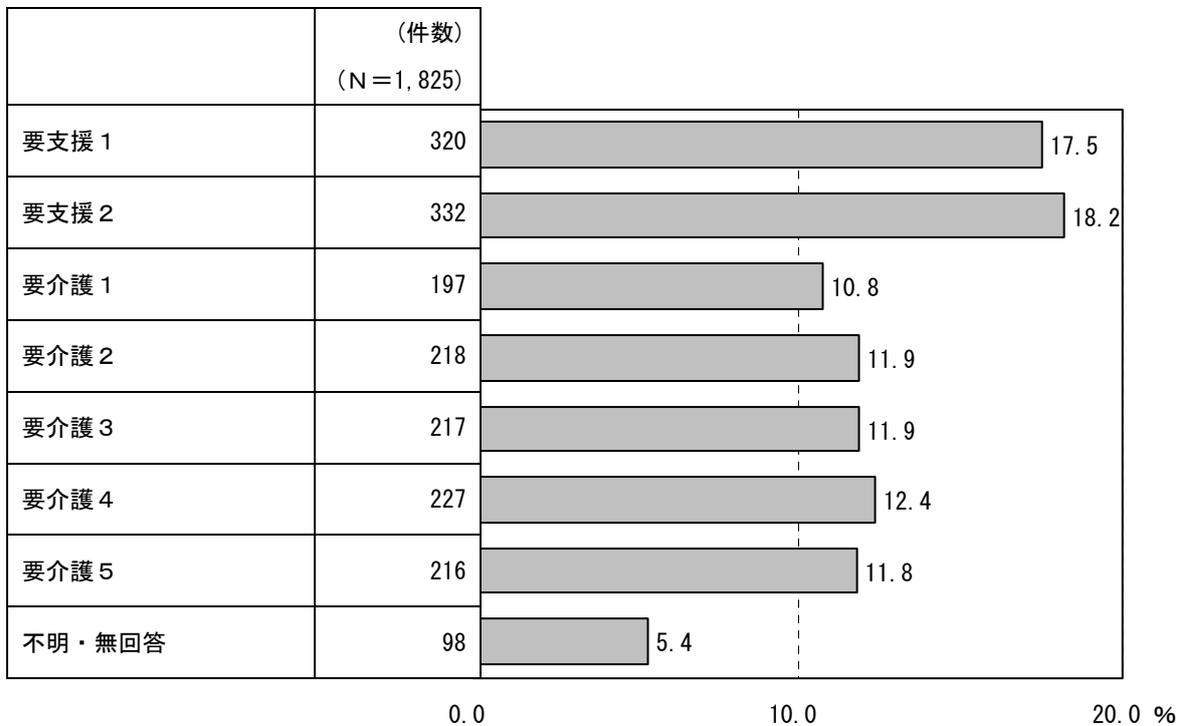
単位：%

	回答者数(N)	できれば同居したいと思う	同居したいと思わないが、近くに住んでほしい	同居したいと思わない	その他	わからない	不明・無回答
平成17年調査	N=1,862	10.3	53.6	25.0	4.3	3.2	3.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

問6 あなたの要介護度は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

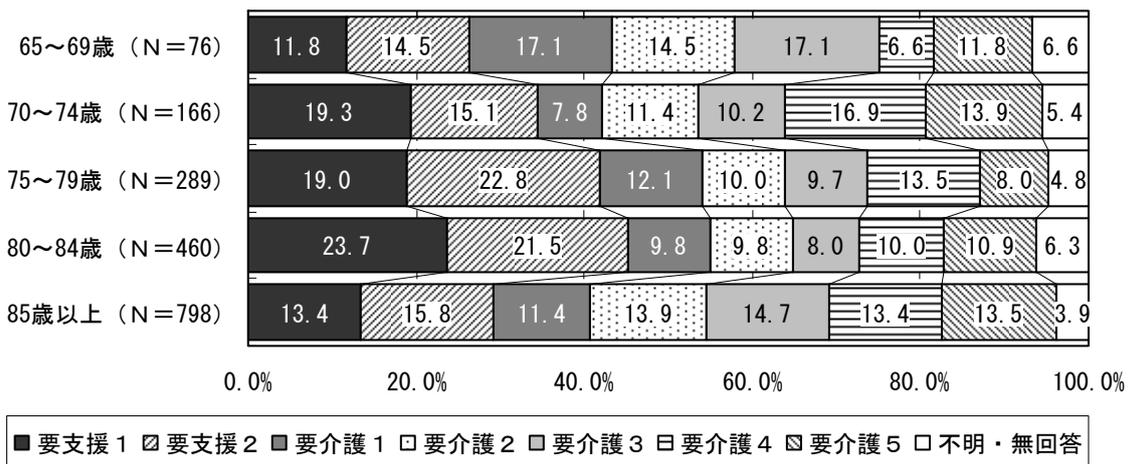
要介護度では、「要支援2」が18.2%と最も高く、次いで「要支援1」が17.5%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、『80～84歳』で「要支援1」、『65～69歳』で「要介護1」の割合が高くなっています。

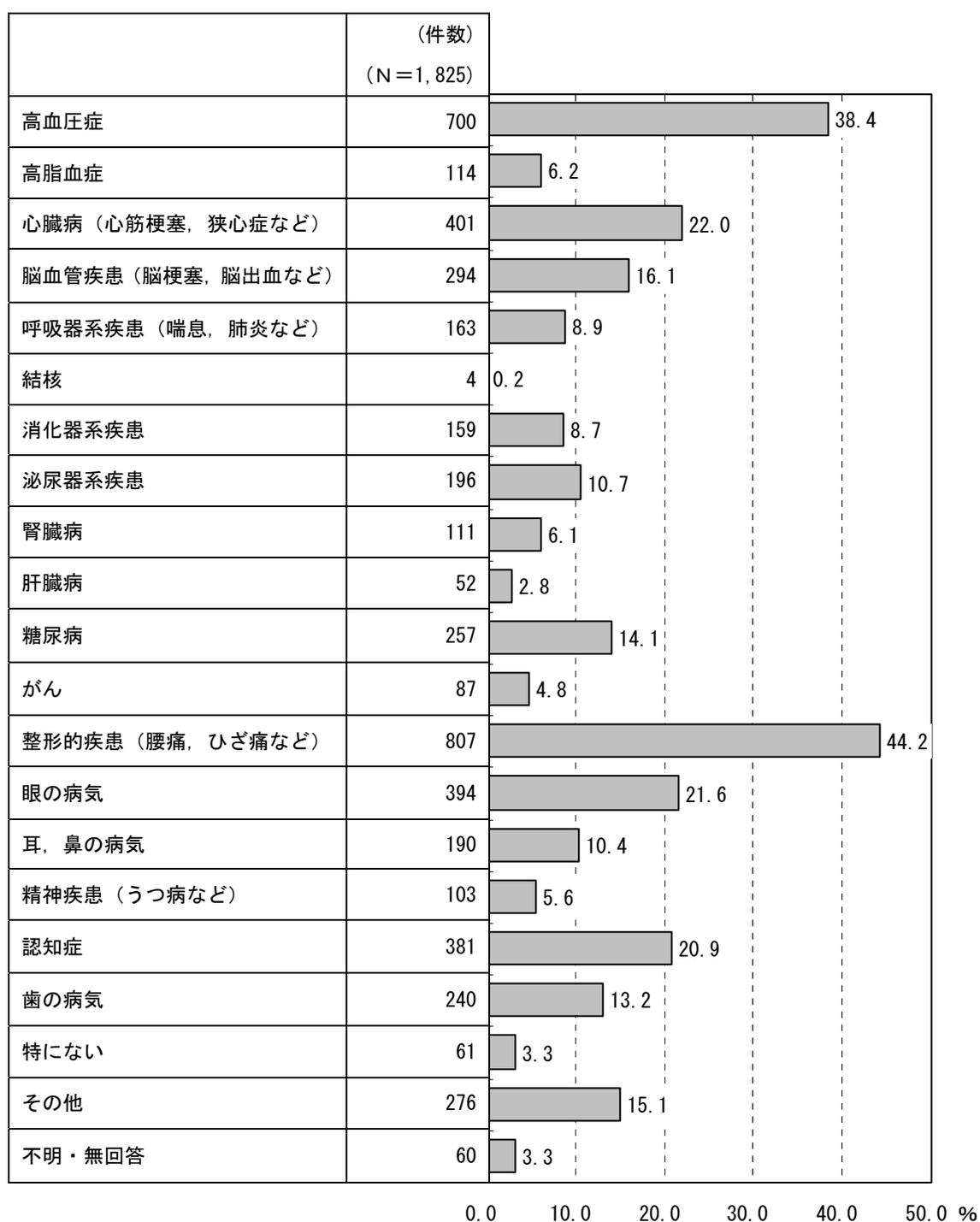
□ 年齢別 問6×問1



2 健康に関することについて

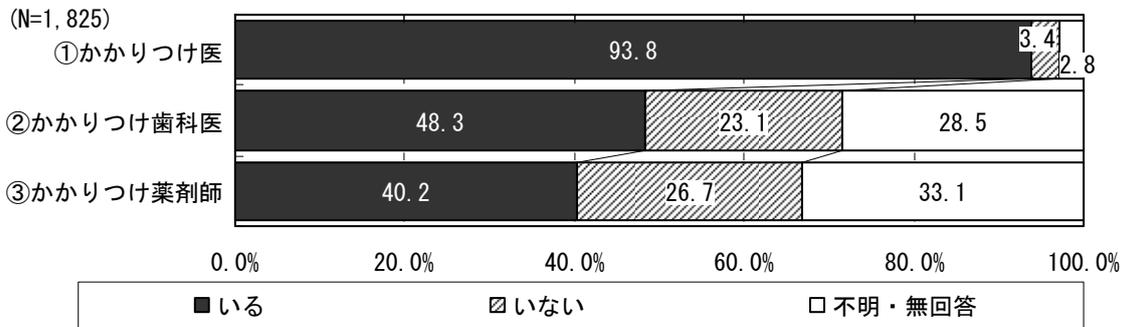
問7 あなたは現在、治療中又は日常生活に支障がある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

治療中または支障がある病気では、「整形的疾患（腰痛，ひざ痛など）」が44.2%と最も高く，次いで「高血圧症」が38.4%となっています。



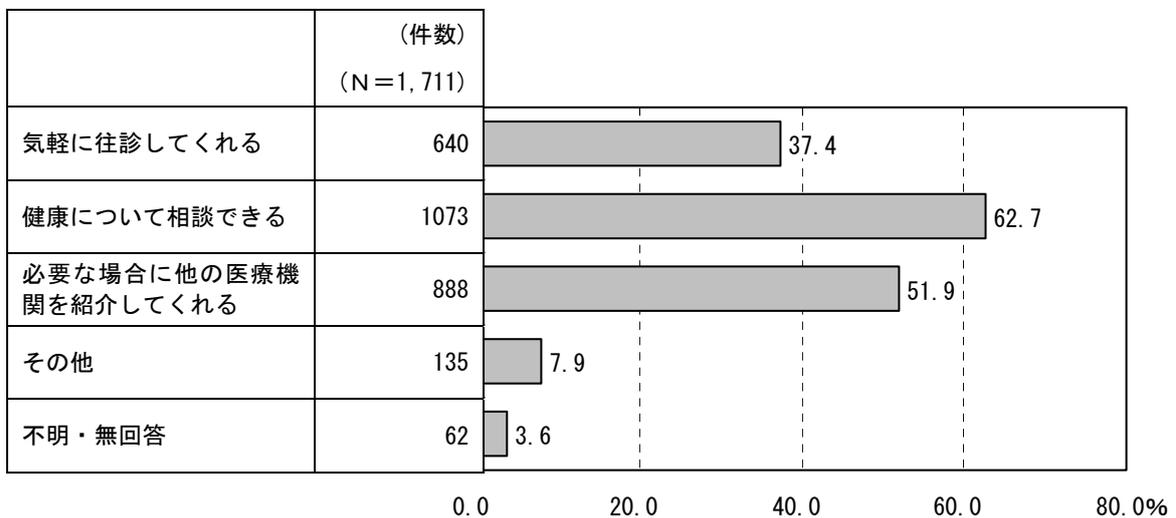
問8 あなたは、ふだんから健康について相談や指導を受けられる身近なかかりつけ医などはいませんか。(①～③のそれぞれについて、1.いる, 2.いない のどちらか1つに○)

かかりつけ医の有無では、『①かかりつけ医』の「いる」が93.8%と特に高く、『②かかりつけ歯科医』の「いる」が48.3%、『③かかりつけ薬剤師』の「いる」が40.2%となっています。



問8-2 かかりつけ医がいる方のみ その方はどのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

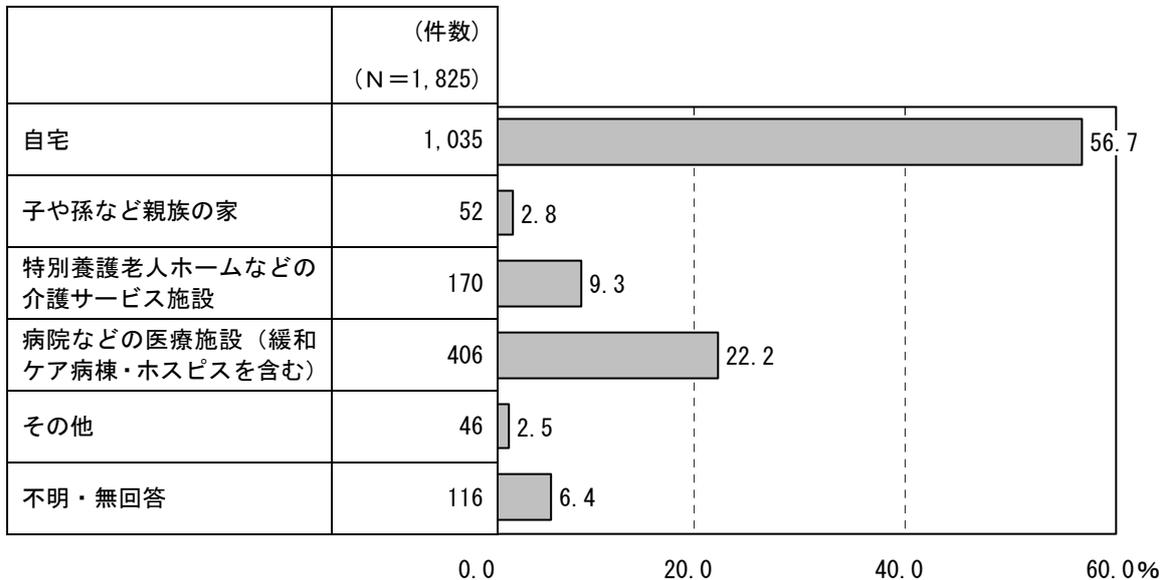
かかりつけ医がどのような方かでは、「健康について相談できる」が62.7%と最も高く、次いで「必要な場合に他の医療機関を紹介してくれる」が51.9%となっています。



問9 心身両面からの医療・介護を行い、個人の尊厳の保障に重点をおく「ターミナルケア」や「緩和ケア」という考え方があります。

このようなケアを受けられるとすれば、あなたは、人生の終末をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

人生の終末の迎えかたでは、「自宅」が 56.7%と最も高く、次いで「病院などの医療施設(緩和ケア病棟・ホスピスを含む)」が 22.2%となっています。



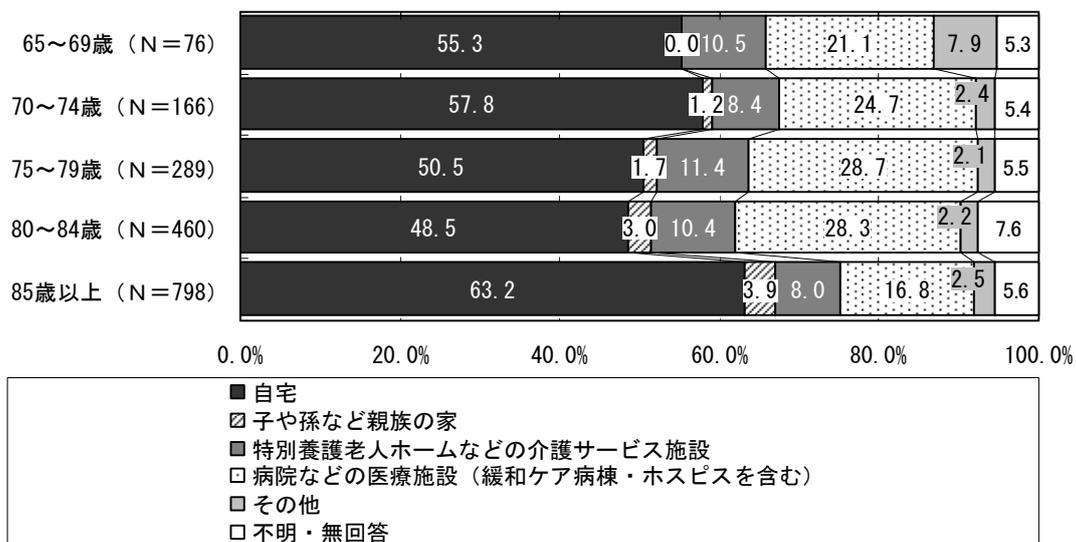
【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「自宅」の割合が6割以上と、最も高くなっています。

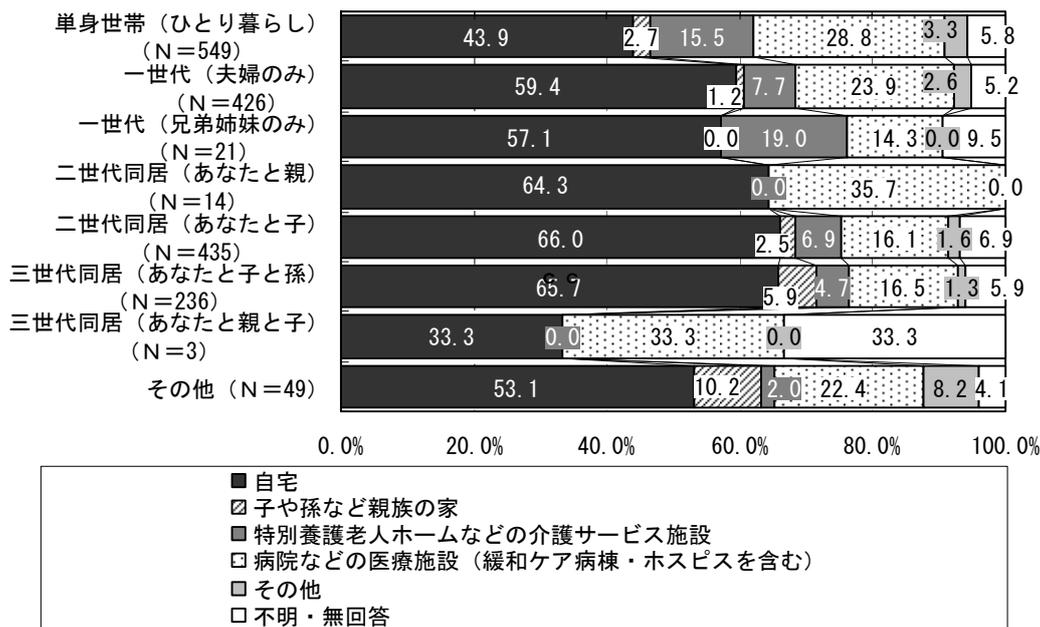
世帯構成別では、『単身世帯(ひとり暮らし)』において「自宅」の割合が低くなっています。

居住地区別では、『伏見区(醍醐支所)』で「病院などの医療施設(緩和ケア病棟・ホスピスを含む)」の割合が高くなっています。

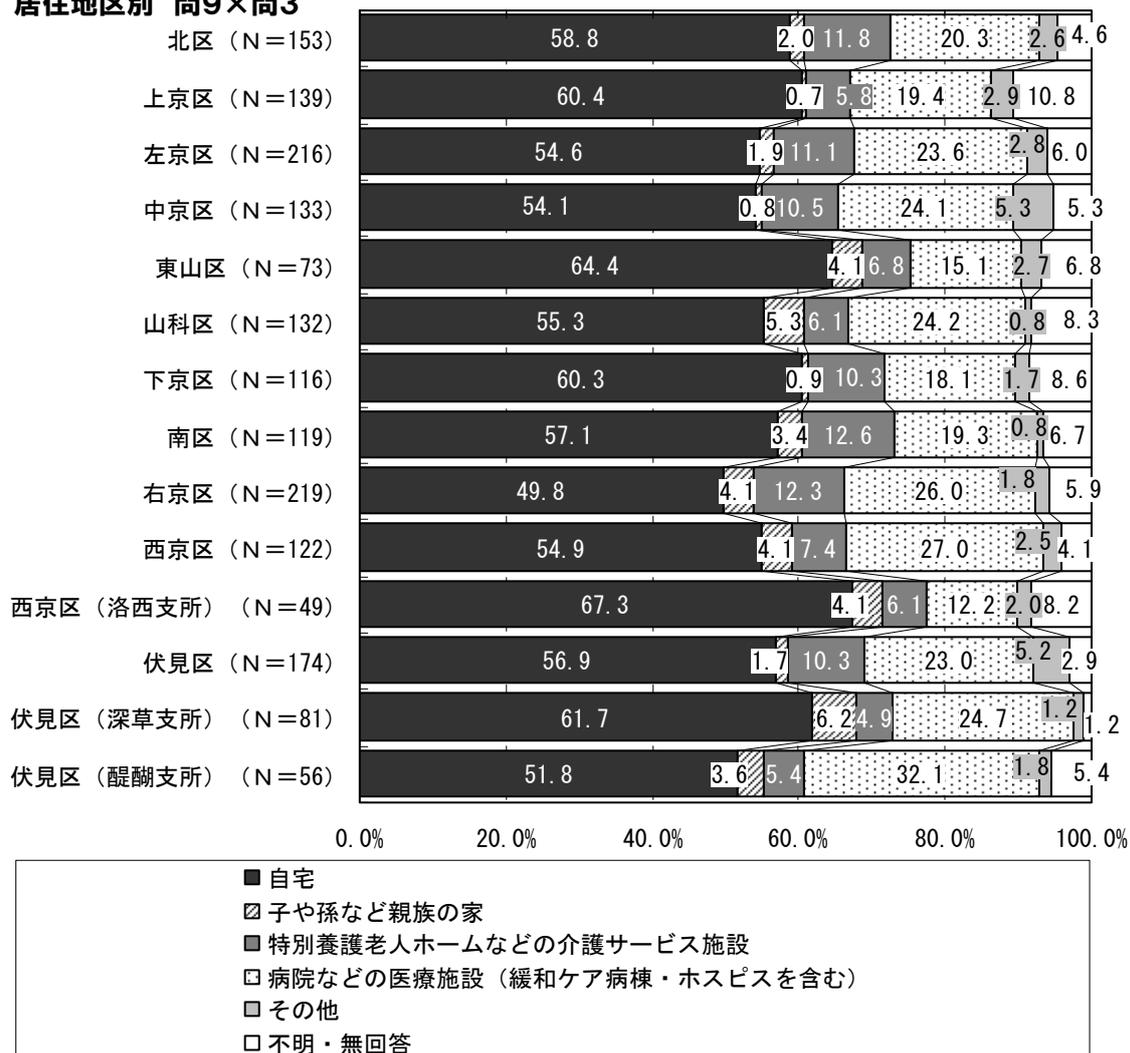
□ 年齢別 問9×問1



□ 世帯構成別 問9×問4



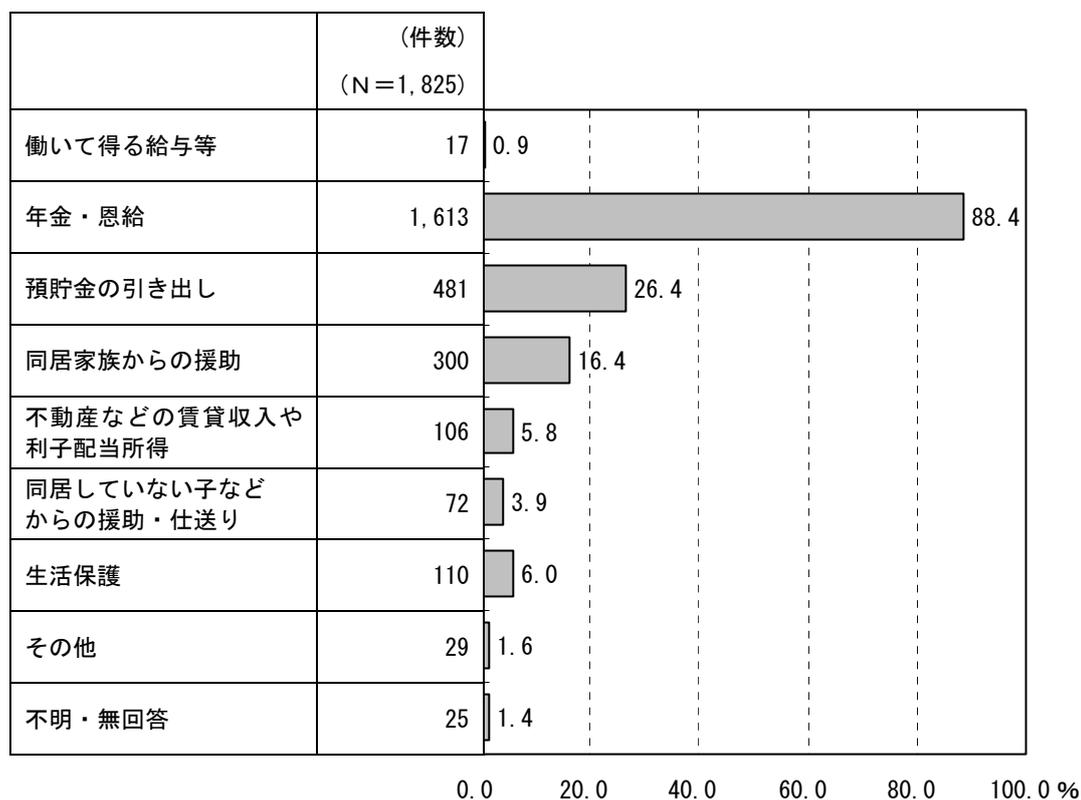
□ 居住地区別 問9×問3



3 収入に関することについて

問10 あなたは生活費をどのようにして得ていますか。(○は3つまで)

生活費をどのようにして得ているかでは、「年金・恩給」が88.4%と最も高く、次いで「預貯金の引き出し」が26.4%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、平成19年調査より「年金・恩給」の割合が低くなっているのに対して、「預貯金の引き出し」の割合が高くなっています。

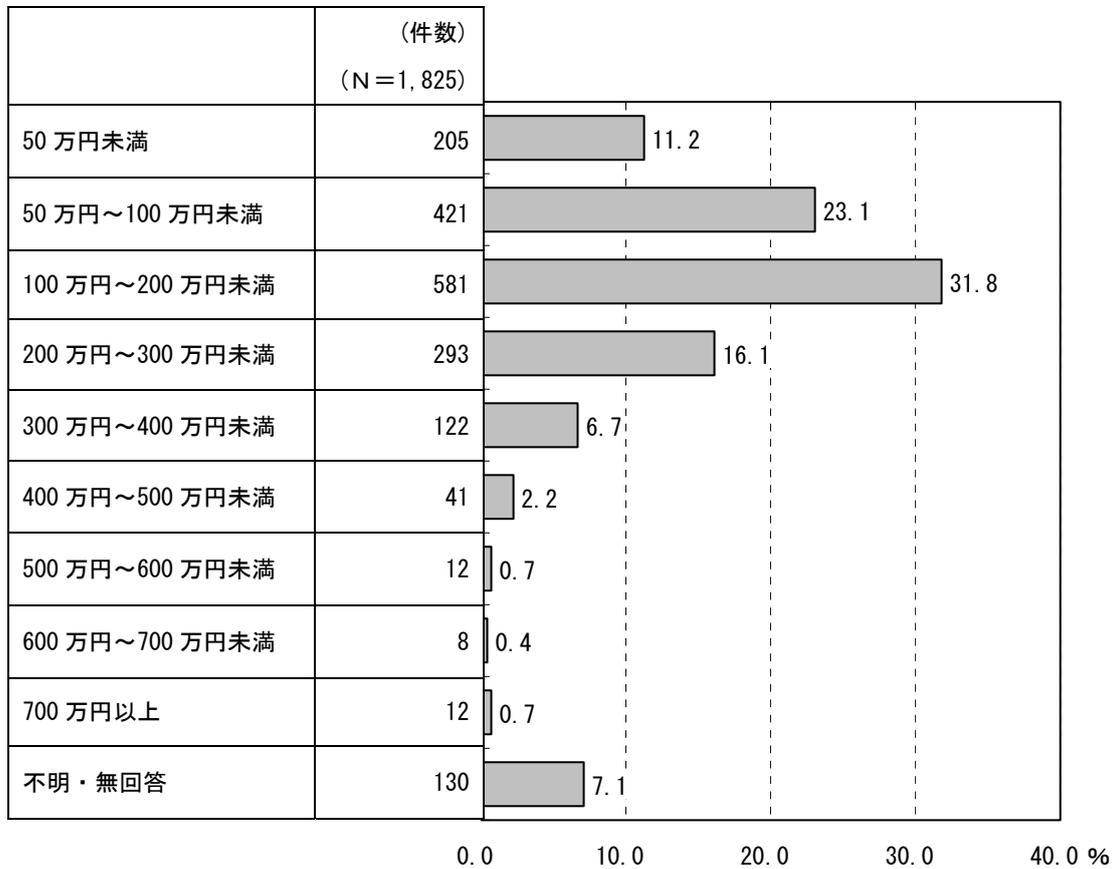
単位：%

	回答者 数(N)	働いて 得る給 与等	国民 年金など 公的 年金	恩給	企業 年金等 私的 年金	預貯 金の 引き出 し	持家な どの賃 貸収入 や利子 配当 所得	同居 家族の 収入	子ども からの 援助	生活 保護	その他	不明・ 無回 答
平成19年調査	N=1,837	1.4	86.1	7.1	4.1	14.6	5.6	12.4	4.6	5.2	0.8	2.0
平成17年調査	N=3,633	25.5	75.9	3.1	9.5	18.0	6.8	14.1	3.4	2.6	2.0	2.3

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

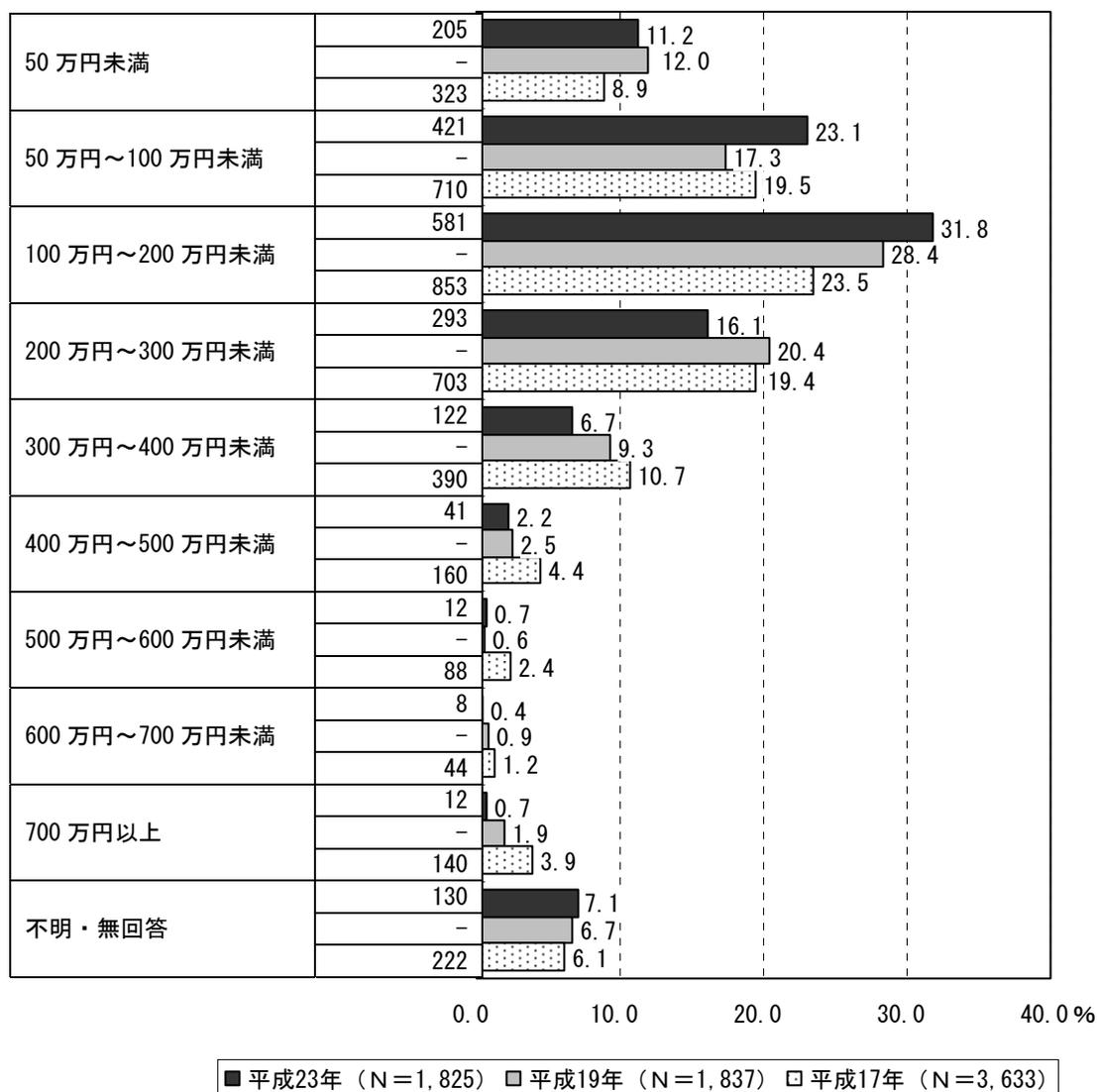
問11 あなた個人の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

個人の総年収では、「100万円～200万円未満」が31.8%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」が23.1%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

前回調査との比較では、平成 19 年調査より「200 万円～300 万円未満」の割合が低くなっているのに対して「50 万円～100 万円未満」の割合が高くなっています。また、「700 万円以上」の割合は年々低くなっています。



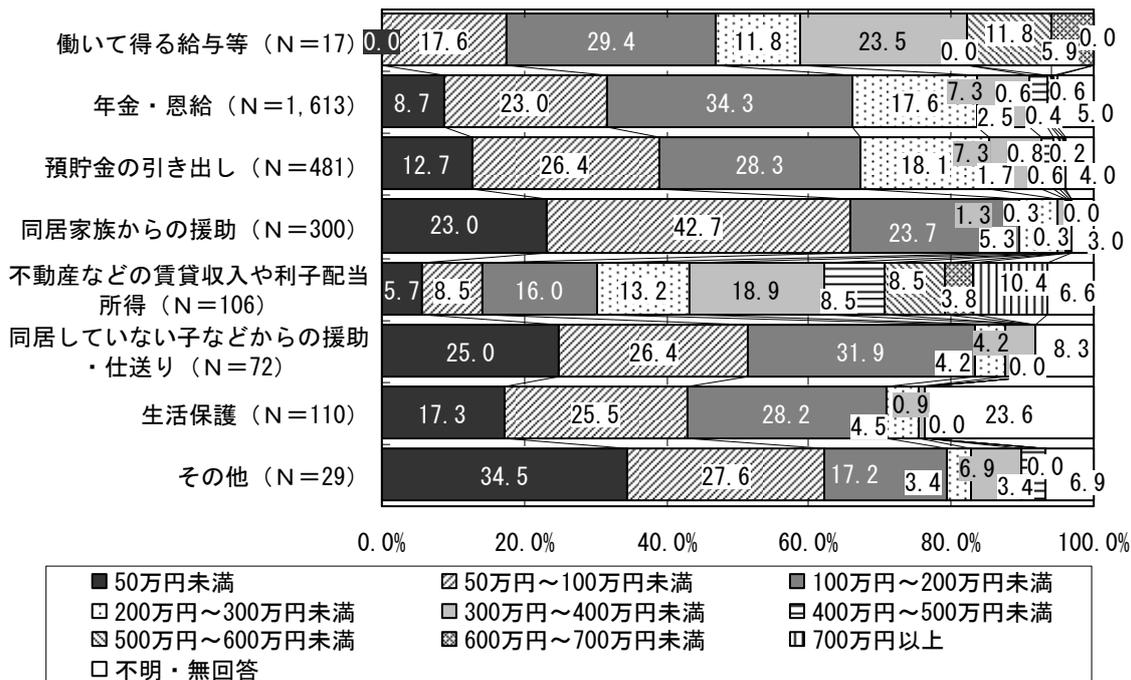
※調査対象等が異なるため、比較時には注意

※平成 19 年調査の回答数についてはデータがないため、未表記となっています

【クロス集計結果】

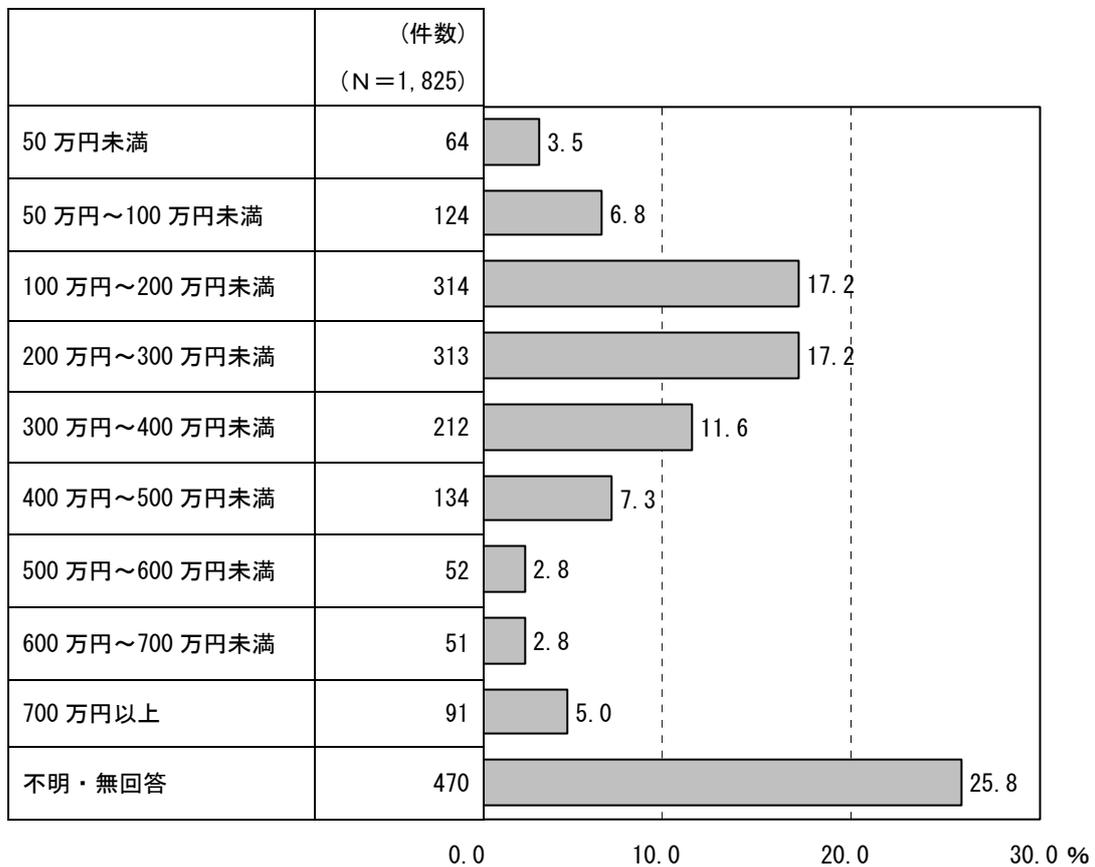
収入源別では、『働いて得る給与等』と『年金・恩給』、『預貯金の引き出し』、『同居していない子などからの援助・仕送り』、『生活保護』で「100万円～200万円未満」の割合が高くなっています。また、『同居家族からの援助』では「50万円～100万円未満」の割合が高く、『不動産などの賃貸収入や利子配当所得』では他の世帯と比べて200万円以上の割合が高くなっています。

□ 収入源別 問 11×問 10



問12 あなたの世帯(同居して同一生計を営む世帯)の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

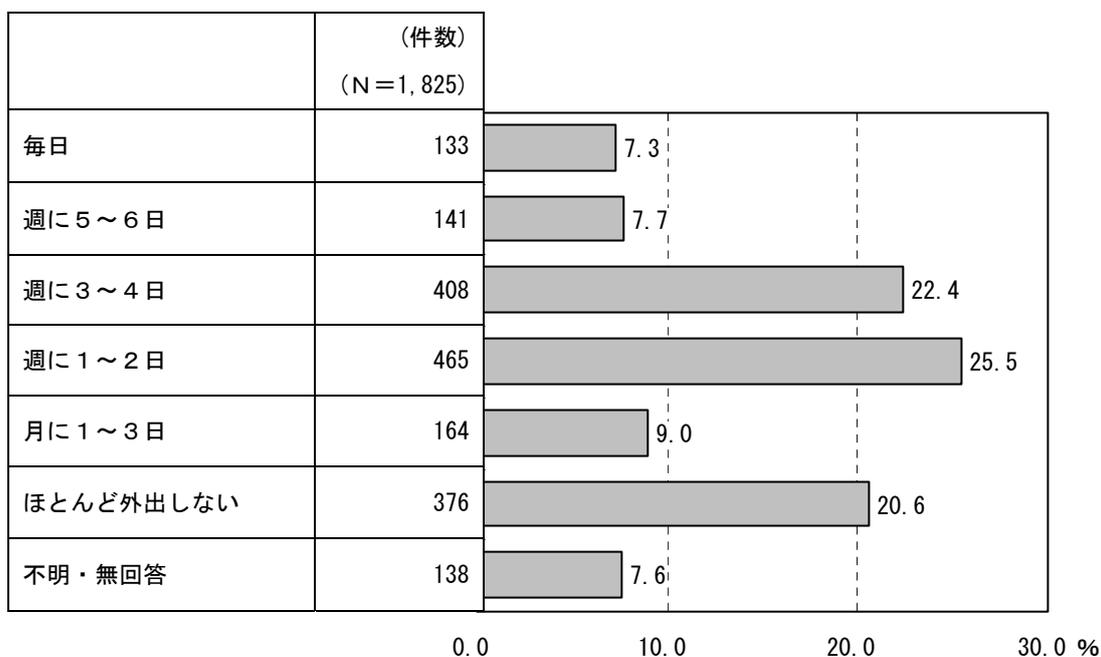
世帯の総収入では、「100万円～200万円未満」と「200万円～300万円未満」がともに17.2%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が11.6%となっています。



4 近所づきあい・外出に関することについて

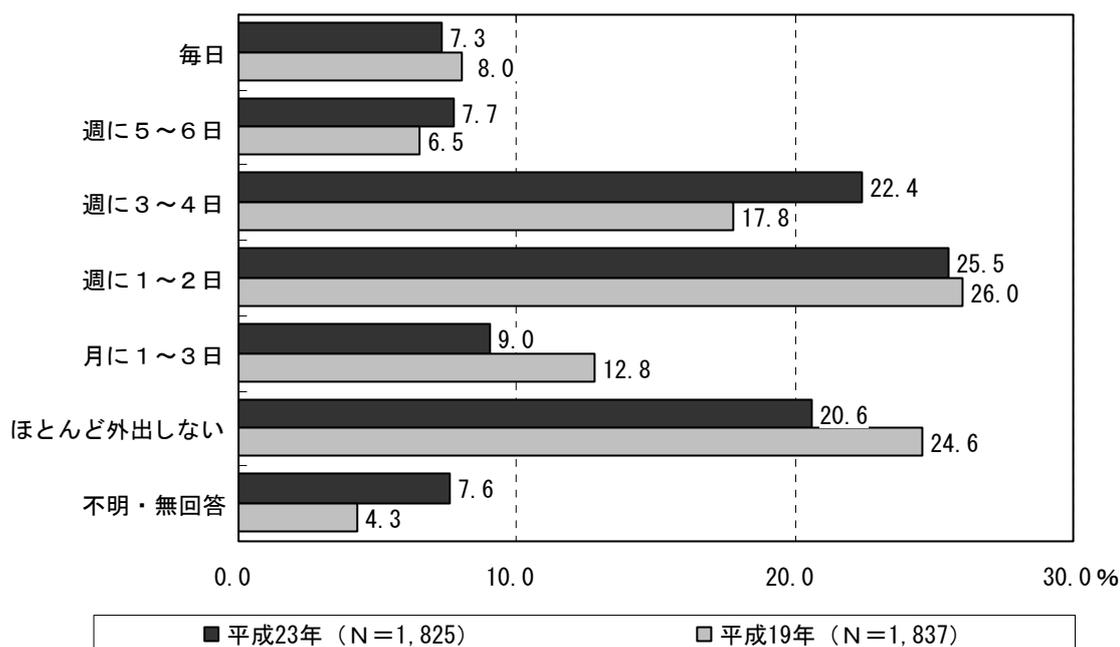
問13 あなたの外出頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

外出頻度では、「週に1～2日」が25.5%と最も高く、次いで「週に3～4日」が22.4%となっています。



【前回調査との比較】

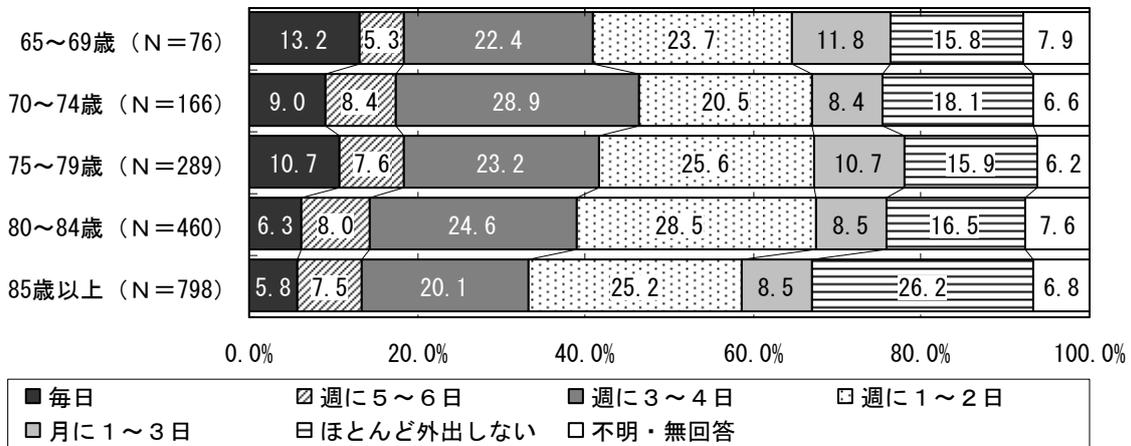
前回調査との比較では、前回より「月に1～3日」の割合が低くなっているのに対して、「週に3～4日」の割合が高くなっています。



【クロス集計結果】

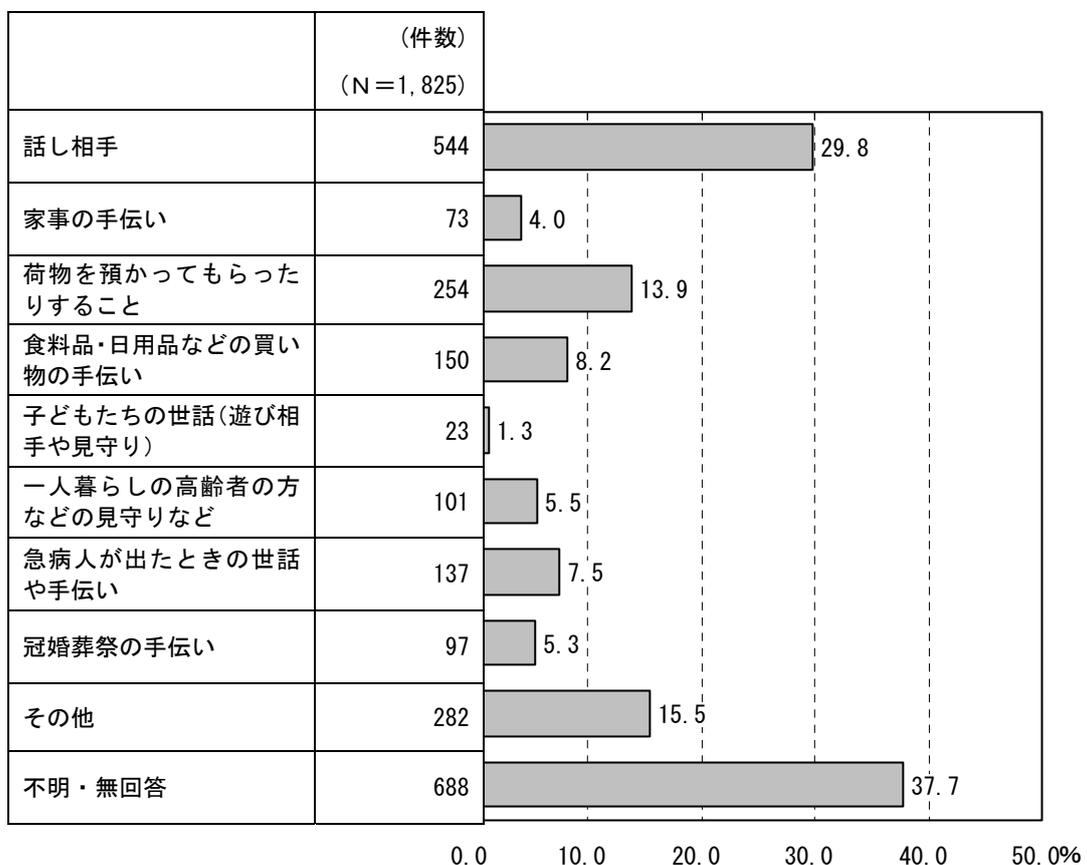
年齢別では、『85歳以上』で「ほとんど外出しない」の割合が特に高くなっています。

□ 年齢別 問13×問1



問14 あなた自身がお近所に頼むことができそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

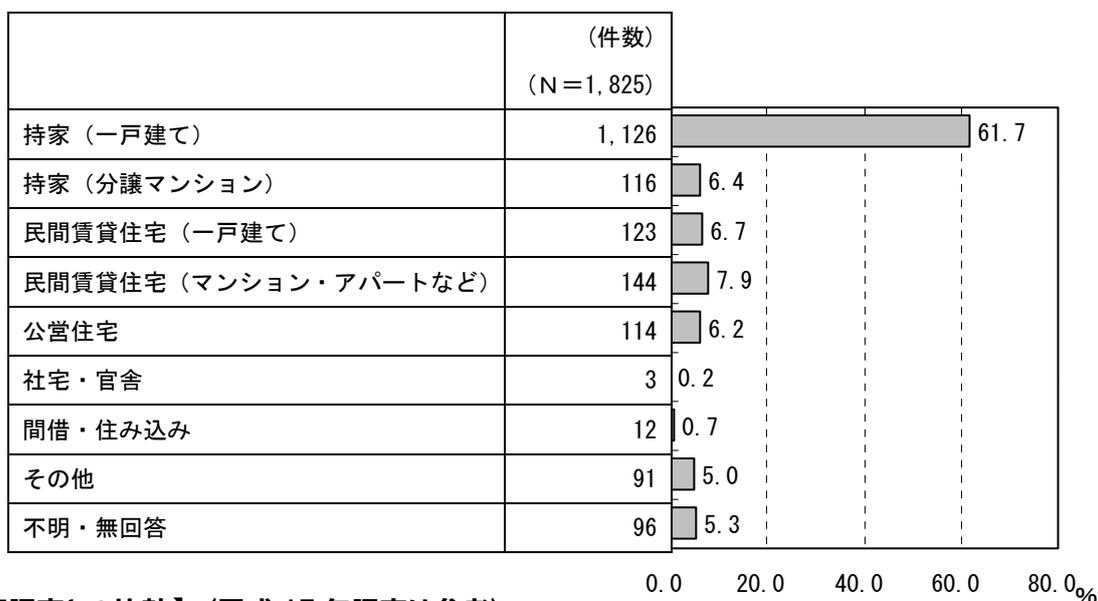
近所に頼むことができそうなことでは、「話し相手」が29.8%と最も高く、次いで「その他」が15.5%となっています。



5 住まいに関することについて

問15 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

現在の住まいでは、「持家（一戸建て）」が61.7%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が7.9%となっています。



【前回調査との比較】（平成17年調査は参考）

前回調査との比較では、平成19年調査より「持家（一戸建て）」の割合が、約7割から6割と低くなっています。

単位：%

	回答者数(N)	持家(一戸建て)	持家(分譲マンション)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=1,573	70.9	6.0	7.0	6.0	4.6	0.1	0.6	1.9	2.8

	回答者数(N)	持家(一戸建て)	持家(長屋棟)	持家(マンション)	民間の貸家(一戸建て)	民間の貸家(長屋棟)	民間の貸家(木造アパート・文化住宅)	民間の貸家(マンション)	府営・市営住宅	公団・公社の賃貸住宅
平成17年調査	N=3,633	63.3	6.8	6.0	5.0	2.9	2.4	2.7	4.0	2.1

	回答者数(N)	社宅・公務員住宅など	間借り	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	0.2	0.3	1.7	2.7

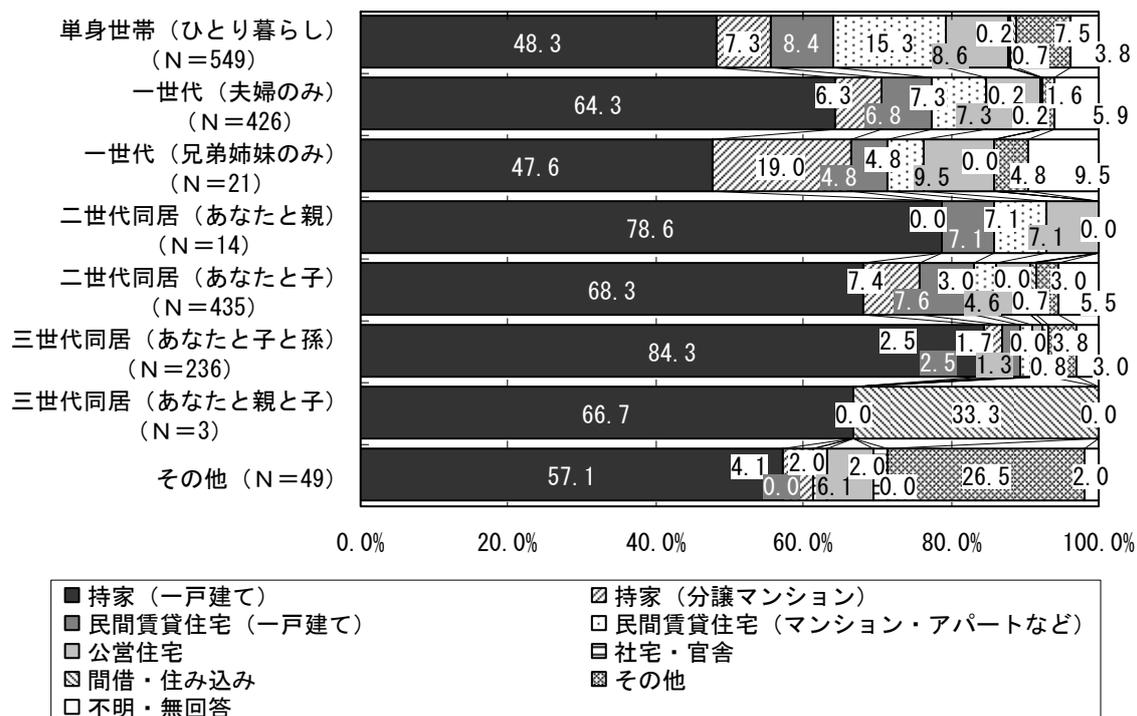
※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

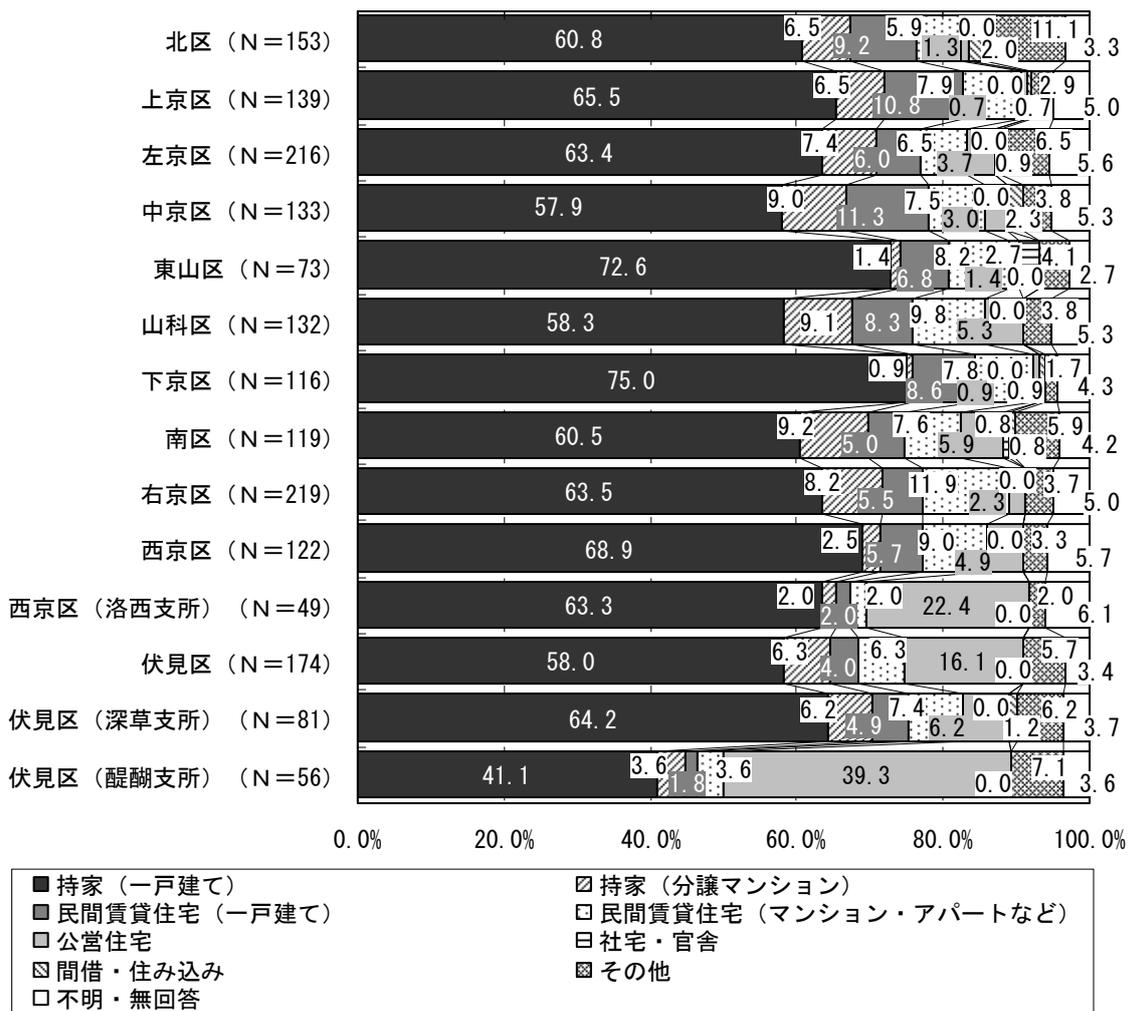
世帯構成別では、『二世帯同居(あなたと親)』と『三世帯同居(あなたと子と孫)』で「持家(一戸建て)」が7割以上と、特に高くなっています。

居住地区別では、『東山区』と『下京区』で「持家(一戸建て)」が7割強と高くなっているのに対して、『伏見区(醍醐支所)』では「持家(一戸建て)」が約4割と低くなっています。また、『伏見区(醍醐支所)』では「公営住宅」の割合が約4割と特に高くなっています。

□ 世帯構成別 問 15×問4

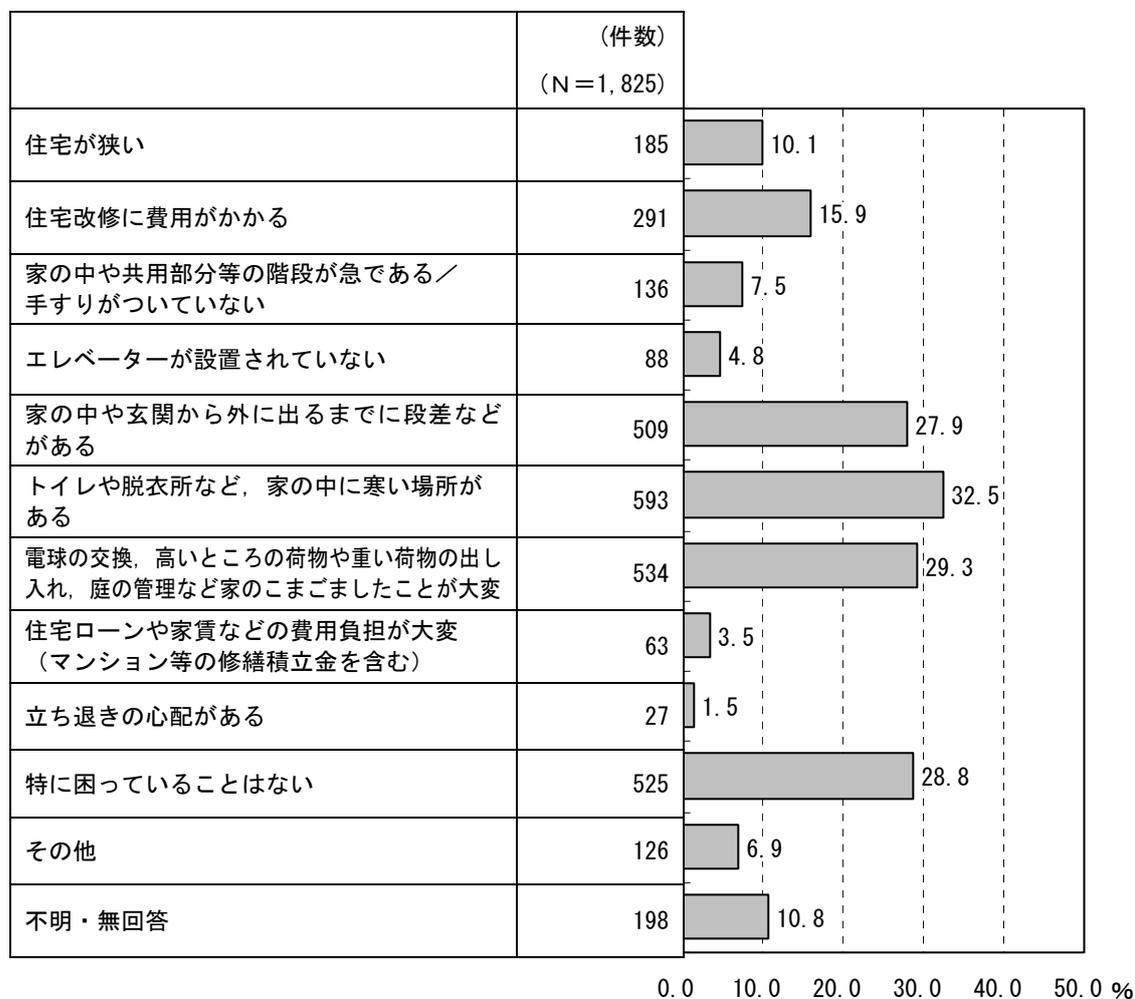


□ 居住地区別 問 15×問3



問16 現在のお住まいについて困りごとはありますか。(あてはまるものすべてに○)

住まいについての困りごとでは、「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が32.5%と最も高く、次いで「電球の交換，高いところの荷物や重い荷物の出し入れ，庭の管理など家のこまごましたことが大変」が29.3%となっています。



【クロス集計結果】

住まいの形態別では、『民間賃貸住宅（一戸建て）』で「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」の割合が約4割と高くなっています。また、『持家（分譲マンション）』で「特に困っていることはない」の割合が4割を超え、高くなっています。

□ 住まいの形態別 問 16×問 15

単位：%

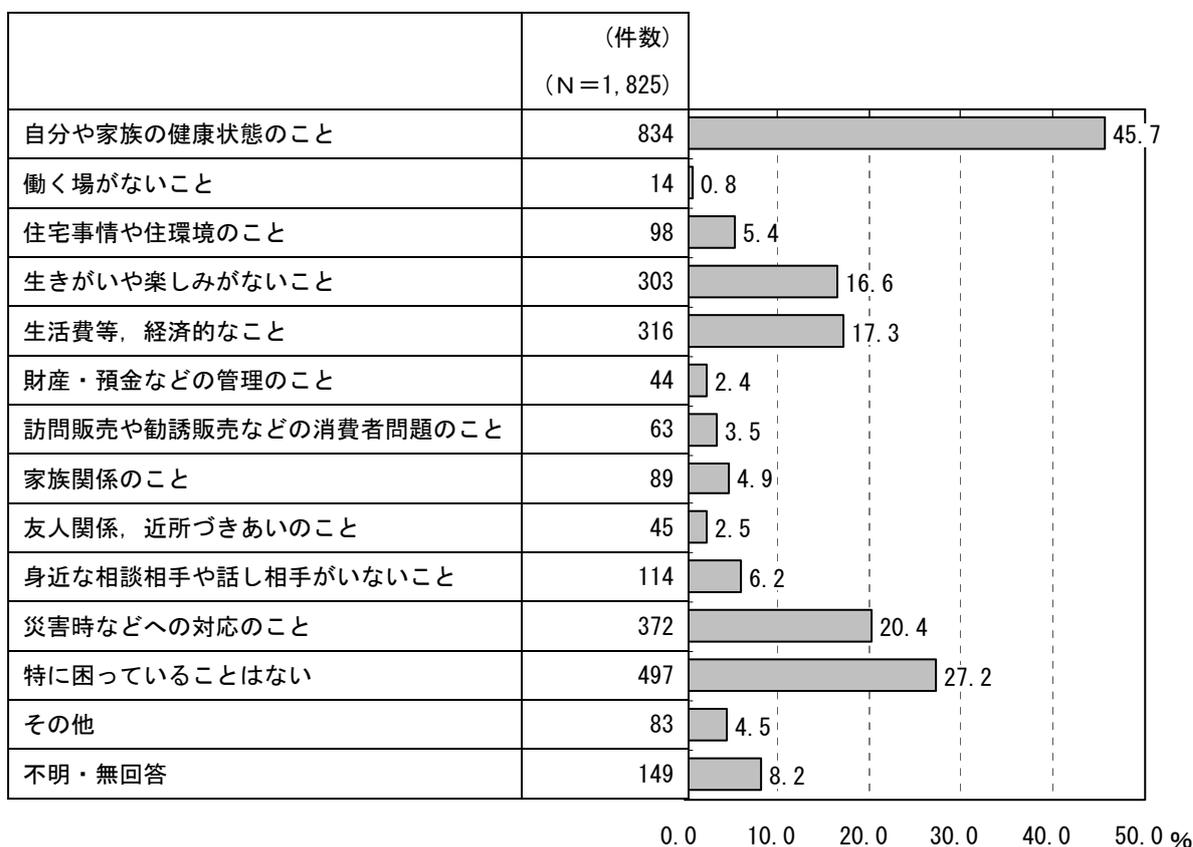
	回答者数(N)	住宅が狭い	住宅改修に費用がかかる	家の中や共用部分等の階段が急である／手すりがない	エレベーターが設置されていない	家の中や玄関から外に出るまでに段差などがある	トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある
持家(一戸建て)	N=1,126	9.7	20.5	7.5	3.1	32.2	36.2
持家(分譲マンション)	N=116	5.2	4.3	4.3	2.6	18.1	20.7
民間賃貸住宅(一戸建て)	N=123	16.3	28.5	13.0	4.1	30.9	40.7
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	N=144	18.8	4.2	7.6	6.3	27.1	27.8
公営住宅	N=114	12.3	1.8	12.3	24.6	17.5	37.7
社宅・官舎	N=3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
間借・住み込み	N=12	8.3	8.3	16.7	8.3	41.7	8.3
その他	N=91	5.5	9.9	2.2	5.5	19.8	23.1

	回答者数(N)	電球の交換、荷物の出し入れ、庭の管理など家のこまごましたことが大変	住宅ローンや家賃などの費用負担が大変	立ち退きの心配がある	特に困っていることはない	その他	不明・無回答
持家(一戸建て)	N=1,126	31.5	1.2	0.2	30.9	6.0	6.2
持家(分譲マンション)	N=116	34.5	4.3	0.0	43.1	5.2	8.6
民間賃貸住宅(一戸建て)	N=123	36.6	10.6	9.8	20.3	5.7	5.7
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	N=144	28.5	16.0	4.2	23.6	11.1	8.3
公営住宅	N=114	26.3	1.8	2.6	24.6	10.5	4.4
社宅・官舎	N=3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
間借・住み込み	N=12	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3
その他	N=91	19.8	4.4	4.4	35.2	16.5	12.1

6 生活の困りごと・相談相手について

問17 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(〇は3つまで)

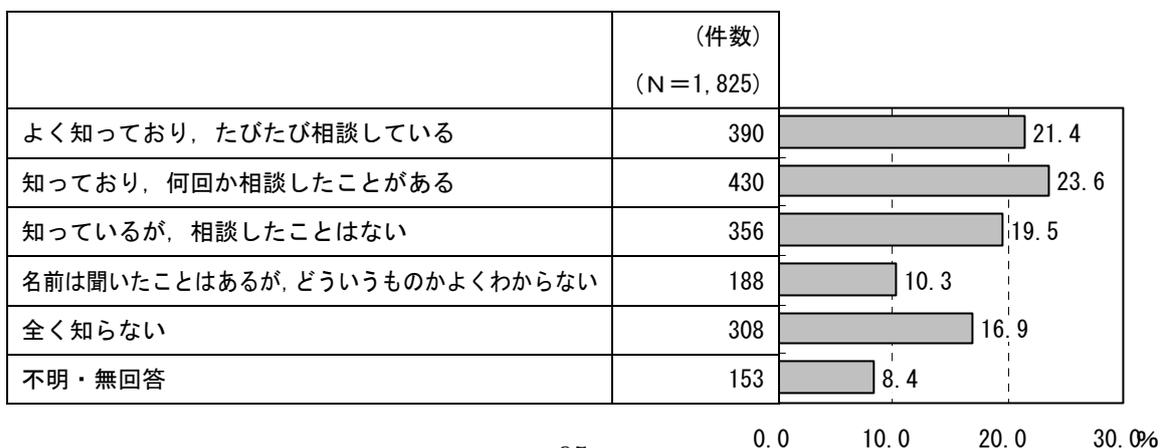
現在の生活で困っていることでは、「自分の家族や健康状態のこと」が45.7%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が27.2%となっています。



問18 地域包括支援センターは、高齢者の方の総合的な生活支援の窓口となるところであり、介護予防の拠点として、高齢者ご本人やご家族からの相談に応じる機関です。

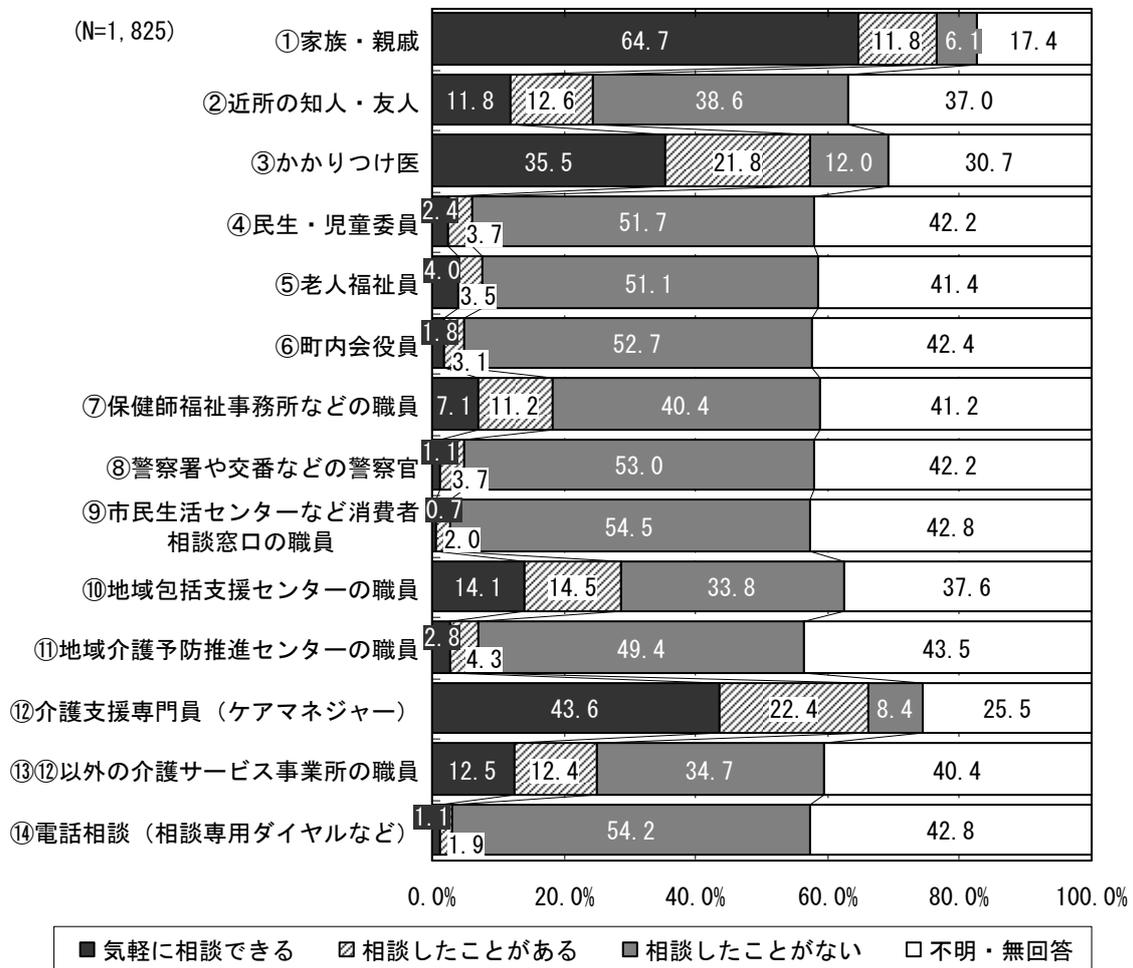
地域包括支援センターを知っていますか。また、相談したことはありますか。(〇は1つ)

地域包括支援センターの認知度では、「知っており、何回か相談したことがある」が23.6%と最も高く、次いで「よく知っており、たびたび相談している」が21.4%となっています。



問19 あなたに悩みや心配ごとがある場合、相談できる相手はどのような人ですか。(①～⑭のそれぞれについて、1.気軽に相談できる、2.相談したことがある、3.相談したことがない のどれか1つに○)

相談相手では、『①家族・親戚』の「気軽に相談できる」が64.7%と最も高く、次いで『⑫介護支援専門員（ケアマネジャー）』の「気軽に相談できる」が43.6%となっています。

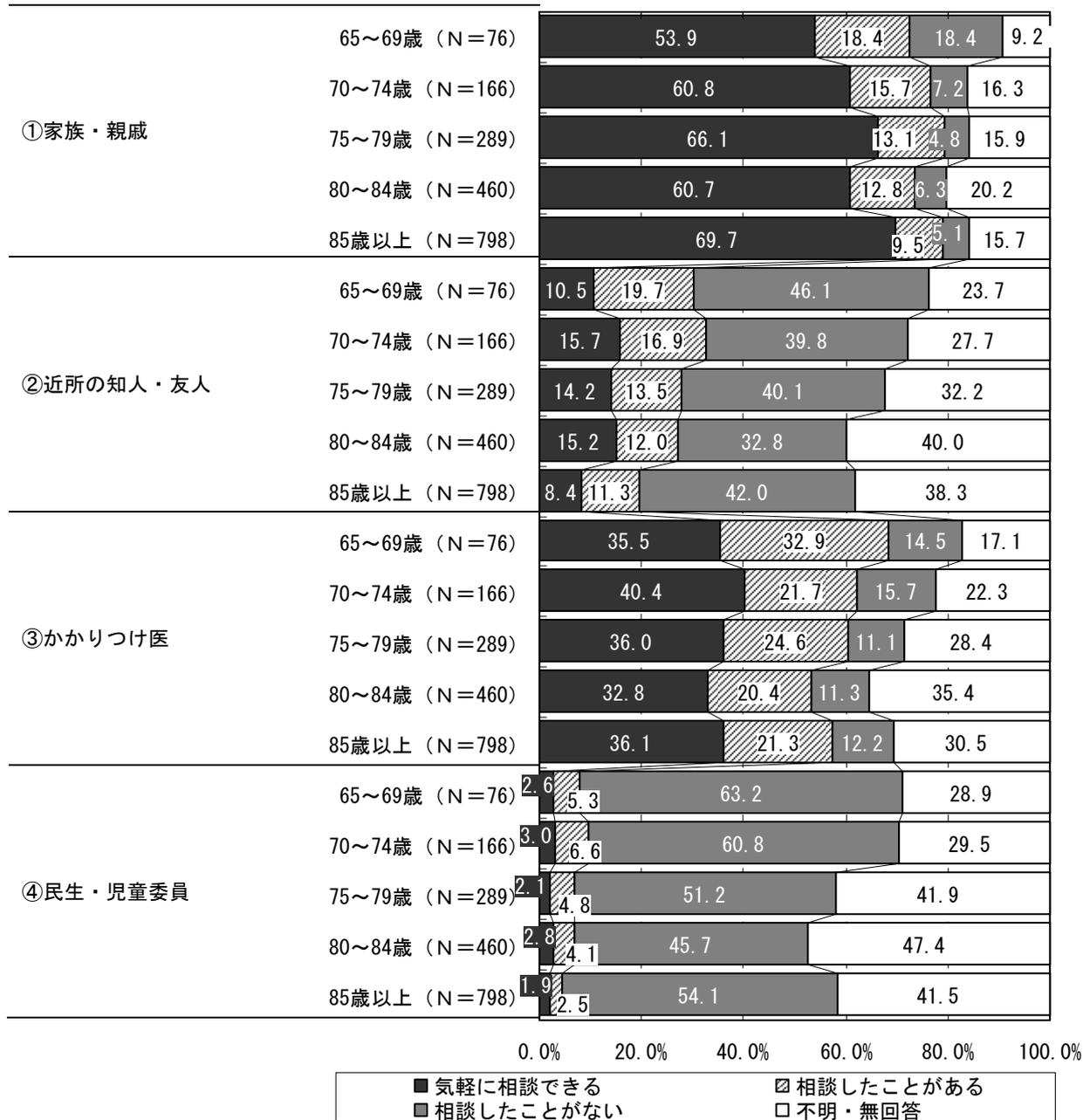


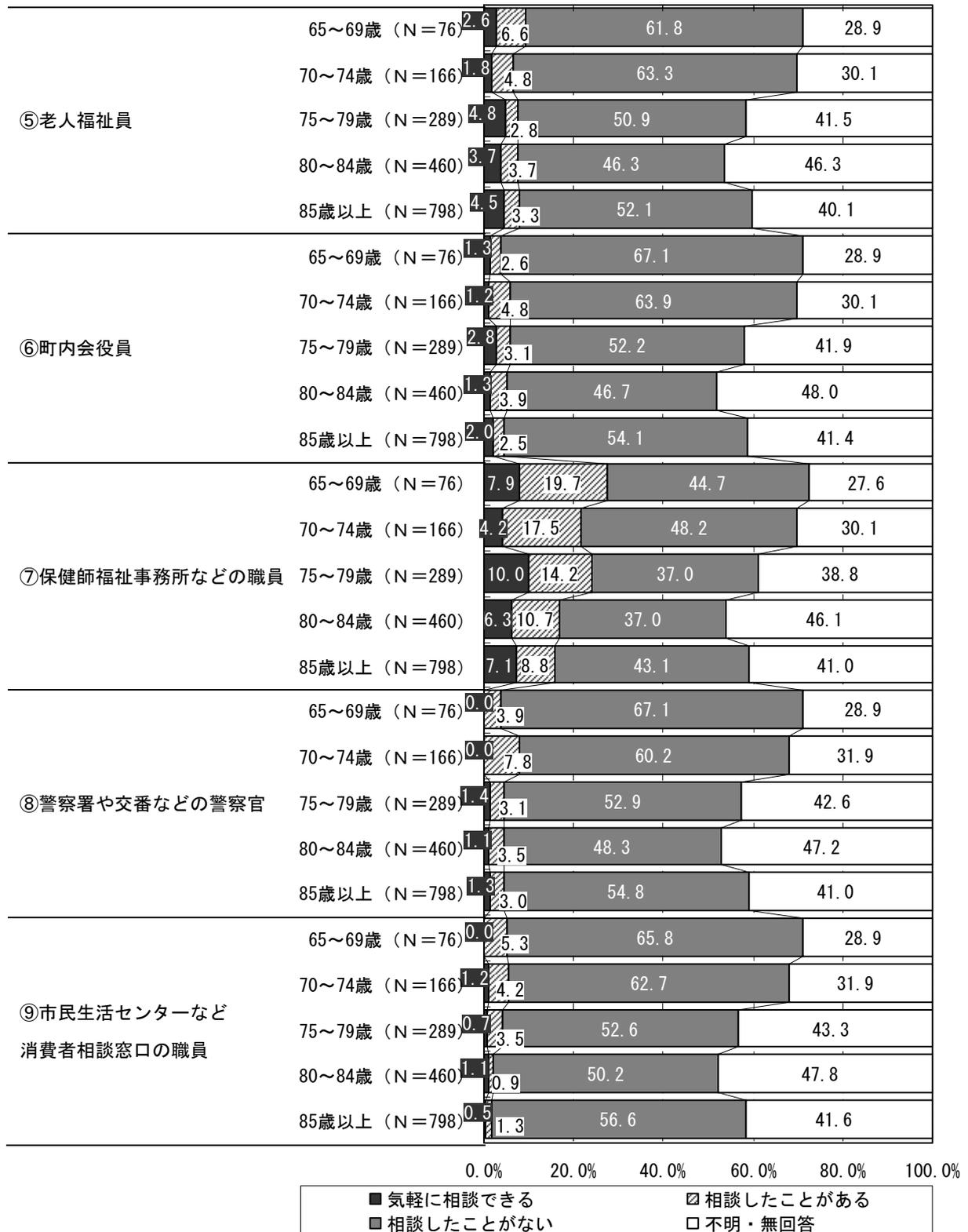
【クロス集計結果】

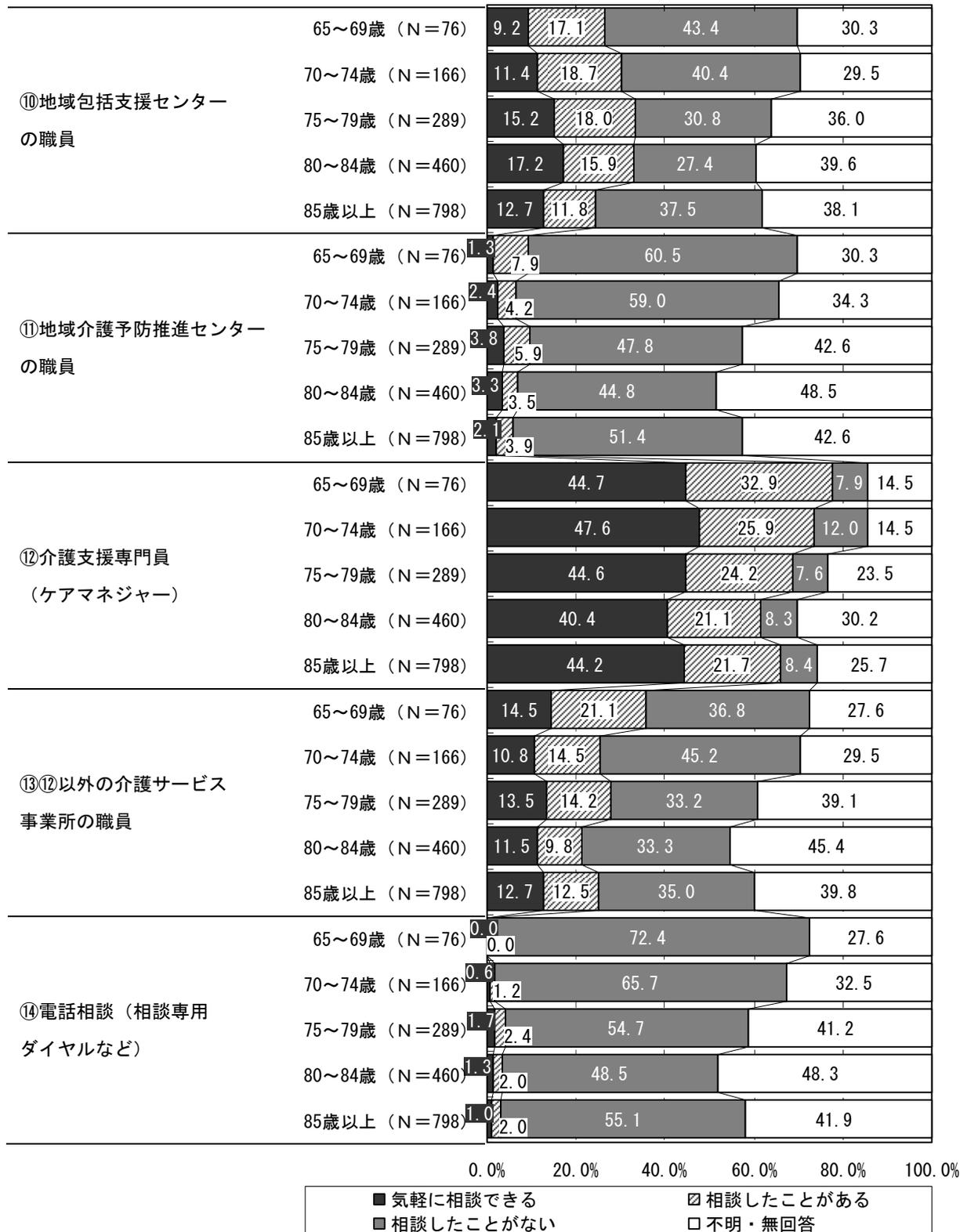
年齢別では、特に目立った差はみられませんでした。

世帯構成別では、『②近所の知人・友人』の「気軽に相談できる」が「単身世帯(ひとり暮らし)」で2割弱と他の世帯と比べて高くなっています。

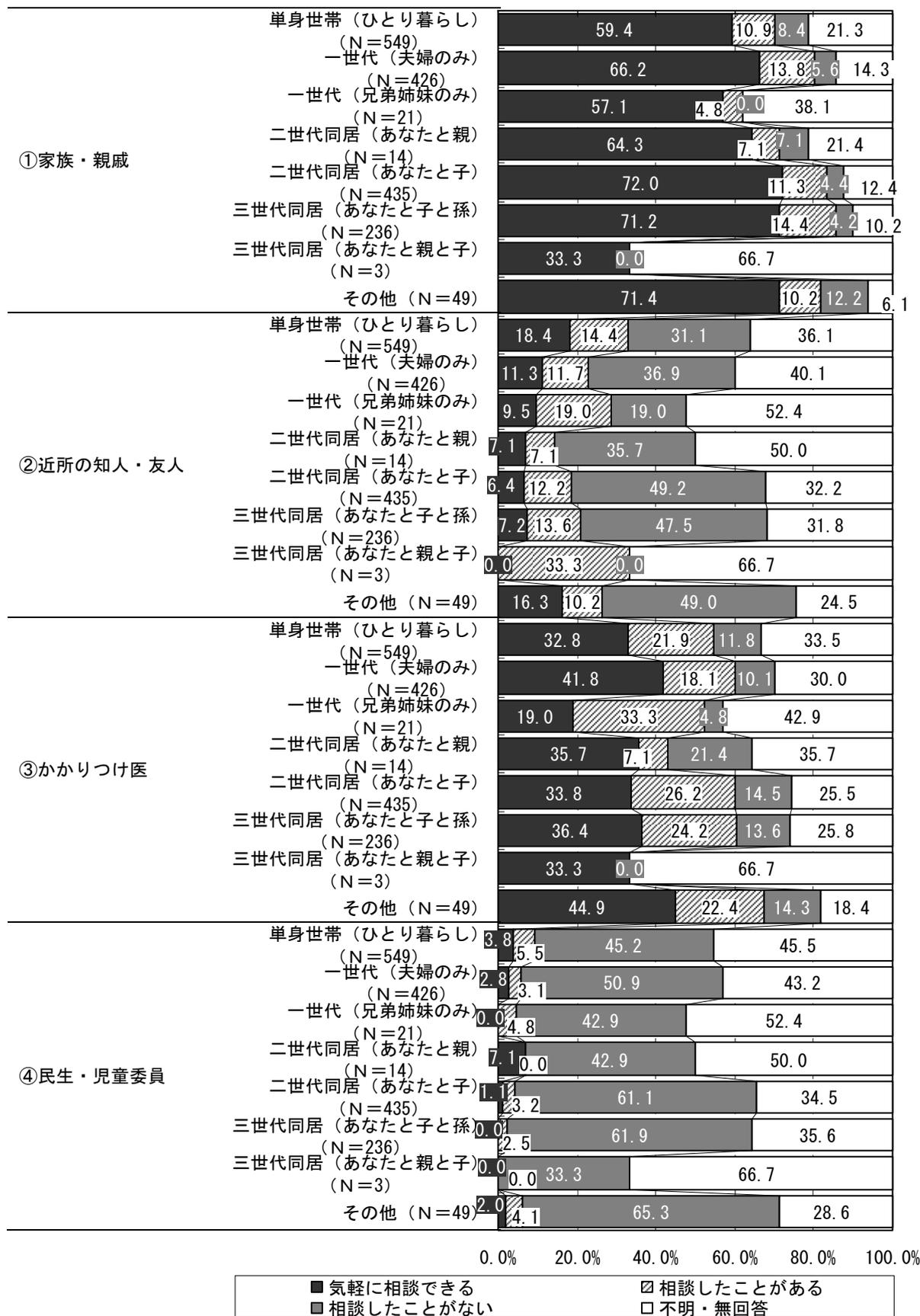
□ 年齢別 問 19×問1

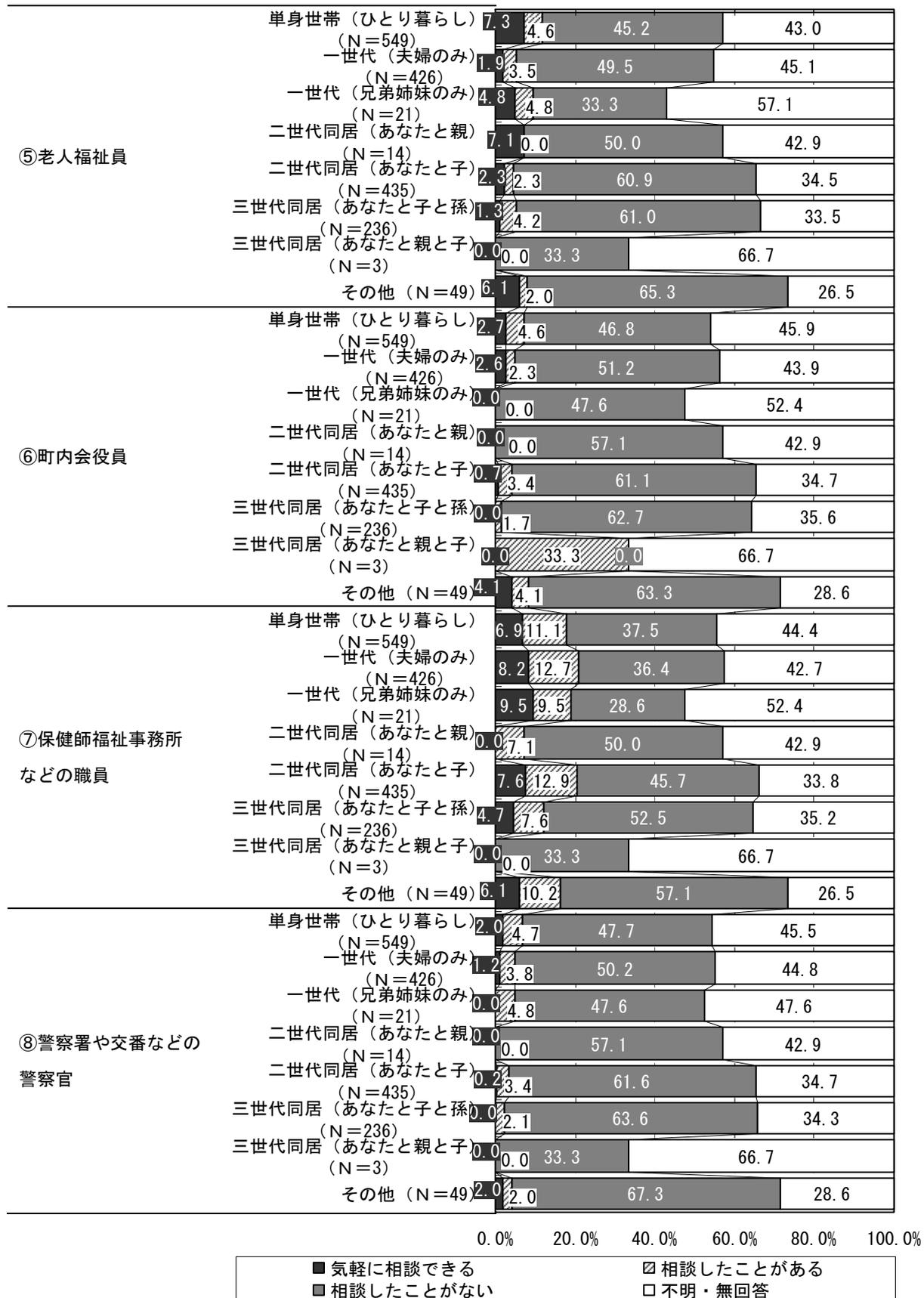


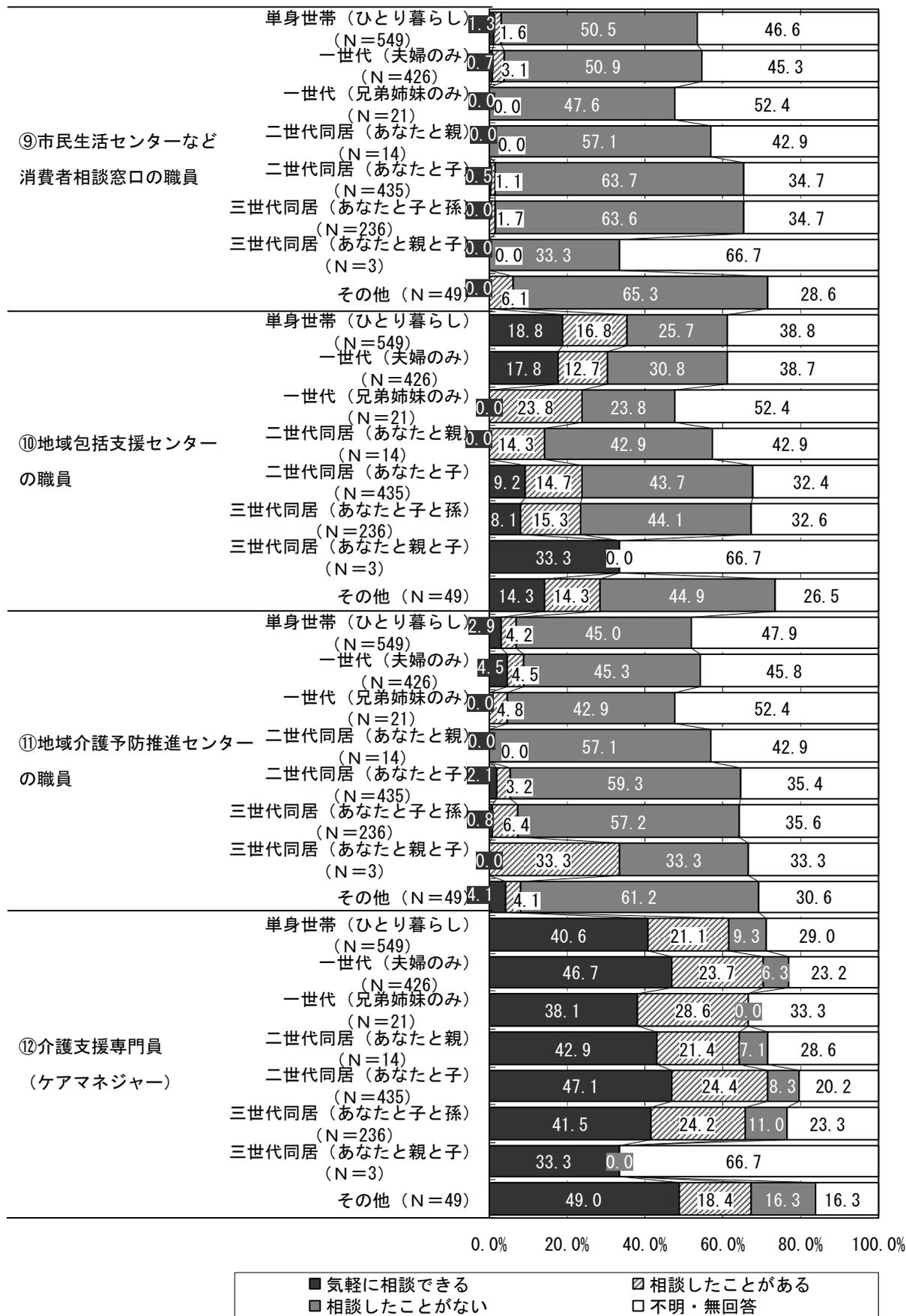


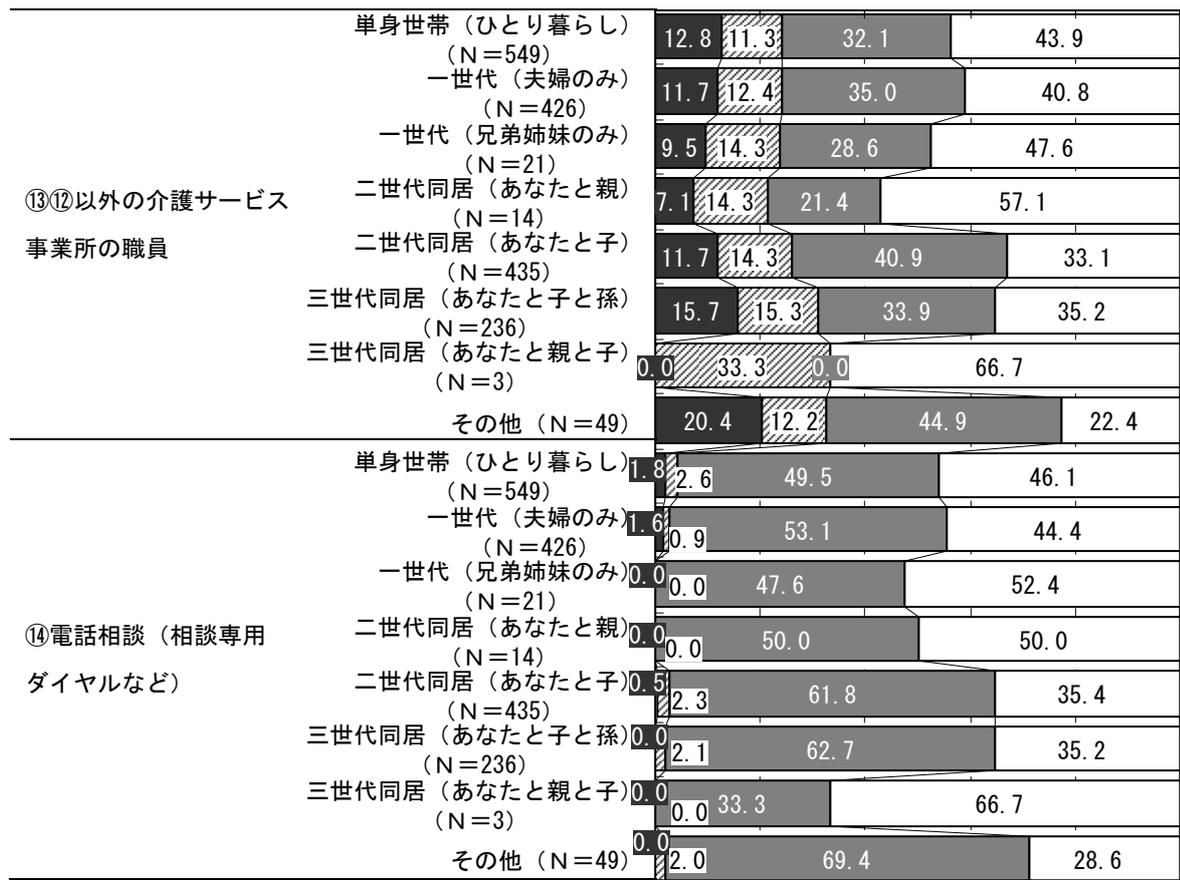


□ 世帯構成別 問 19×問4







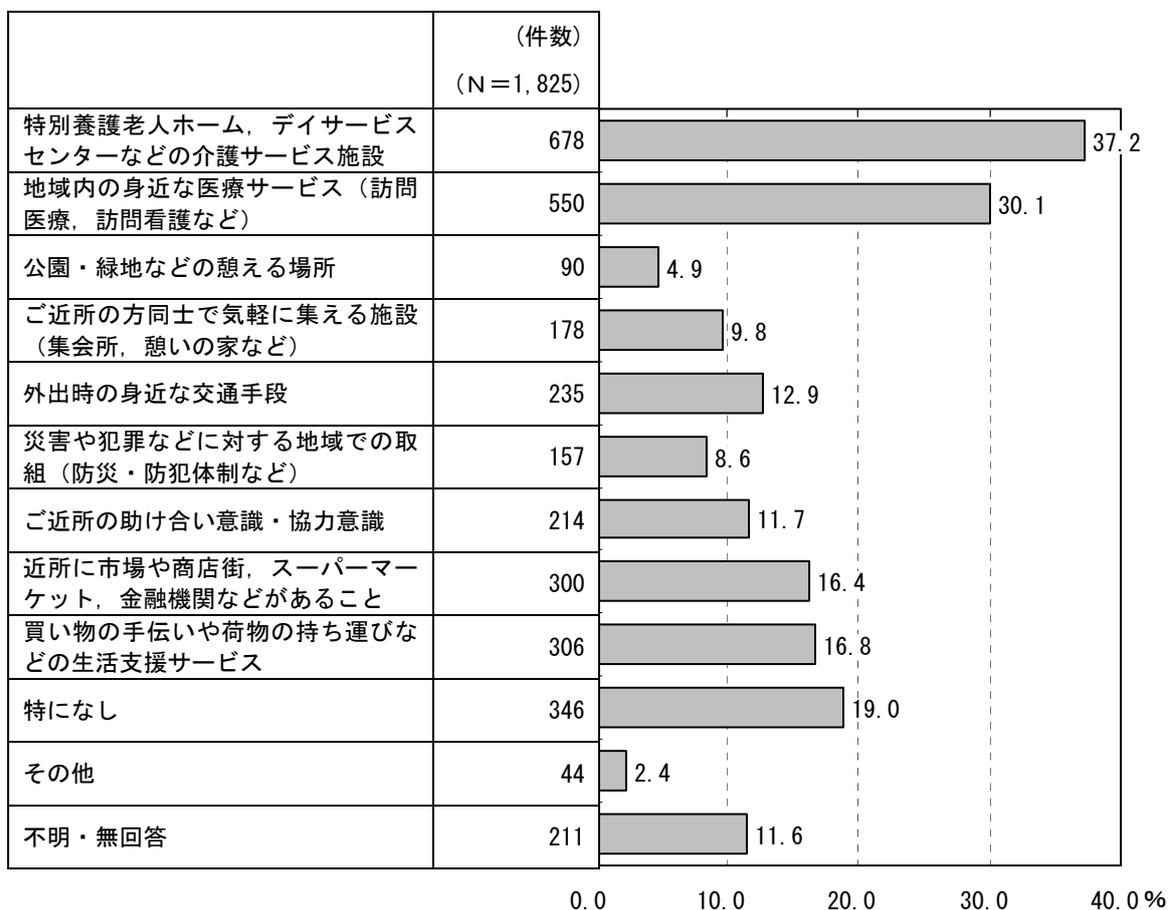


0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



問20 あなたは、今お住まいの地域(中学校区の範囲程度)で生活していく上で、今後、必要とお感じのことは何ですか。(〇は3つまで)

今後、必要と感じることでは、「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」が37.2%と最も高く、次いで「地域内の身近な医療サービス（訪問医療，訪問看護など）」が30.1%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、70歳以上で「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」の割合が4割近くとなっています。

困っていること別では、おおよそ「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」の割合が高く、特に『友人関係、近所づきあいのこと』で5割以上となっています。

□ 年齢別 問 20×問1

単位: %

	回答者数(N)	介護サービス施設	地域内の身近な医療サービス	公園・緑地などの憩える場所	ご近所の方同士で気軽に集える施設	外出時の身近な交通手段	災害や犯罪などに対する地域での取組	ご近所の助け合い意識・協力意識	近所にスーパーマーケット、金融機関	買い物の手伝いなどの生活支援サービス	特になし	その他	不明・無回答
65～69歳	N=76	27.6	26.3	9.2	15.8	13.2	7.9	13.2	7.9	25.0	26.3	1.3	7.9
70～74歳	N=166	40.4	36.7	7.2	10.2	14.5	7.8	15.7	15.1	16.9	12.7	2.4	10.8
75～79歳	N=289	37.4	33.6	4.2	10.7	13.1	8.0	11.8	18.3	15.9	19.7	2.4	11.1
80～84歳	N=460	36.5	29.1	3.7	8.7	15.2	9.6	11.3	21.1	18.9	16.1	2.0	12.8
85歳以上	N=798	38.1	28.9	5.1	9.8	11.2	8.5	11.0	14.0	15.3	21.6	2.8	10.4

□ 困っていること別 問 20×問17

単位: %

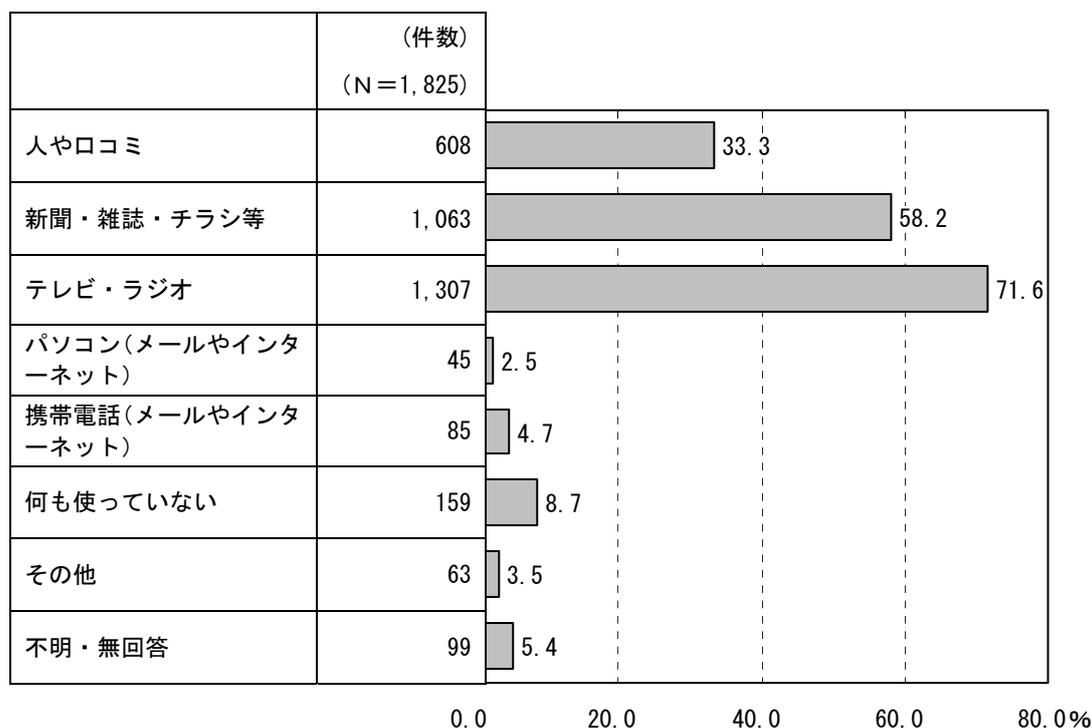
	回答者数(N)	介護サービス施設	地域内の身近な医療サービス	公園・緑地などの憩える場所	ご近所の方同士で気軽に集える施設	外出時の身近な交通手段	災害や犯罪などに対する地域での取組
自分や家族の健康状態のこと	N=834	43.8	40.4	6.6	11.9	17.0	9.8
働く場がないこと	N=14	35.7	42.9	7.1	7.1	7.1	7.1
住宅事情や住環境のこと	N=98	46.9	48.0	10.2	13.3	21.4	10.2
生きがいや楽しみがないこと	N=303	48.2	38.9	8.3	11.9	15.5	8.9
生活費等、経済的なこと	N=316	43.4	36.7	6.0	9.8	17.7	9.8
財産・預金などの管理のこと	N=44	43.2	47.7	4.5	15.9	18.2	13.6
訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	N=63	33.3	33.3	4.8	12.7	17.5	22.2
家族関係のこと	N=89	44.9	36.0	9.0	15.7	16.9	14.6
友人関係、近所づきあいのこと	N=45	51.1	26.7	2.2	15.6	17.8	8.9
身近な相談相手や話し相手がないこと	N=114	39.5	37.7	5.3	19.3	14.9	9.6
災害時などへの対応のこと	N=372	40.3	38.4	6.2	9.9	18.0	21.5
特に困っていることはない	N=497	28.0	22.1	3.2	7.4	8.5	5.6
その他	N=83	34.9	33.7	4.8	10.8	15.7	10.8

	回答者数(N)	ご近所の助け合い意識・協力意識	近所にスーパーマーケット、金融機関	買い物の手伝いなどの生活支援サービス	特になし	その他	不明・無回答
自分や家族の健康状態のこと	N=834	14.0	19.4	19.9	13.5	1.9	7.9
働く場がないこと	N=14	7.1	14.3	28.6	7.1	0.0	21.4
住宅事情や住環境のこと	N=98	20.4	16.3	24.5	8.2	2.0	4.1
生きがいや楽しみがないこと	N=303	12.5	21.1	19.1	13.2	1.0	9.9
生活費等、経済的なこと	N=316	15.5	19.6	20.6	11.4	3.2	10.4
財産・預金などの管理のこと	N=44	22.7	29.5	31.8	9.1	2.3	9.1
訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	N=63	12.7	30.2	31.7	12.7	1.6	9.5
家族関係のこと	N=89	11.2	23.6	27.0	9.0	1.1	6.7
友人関係、近所づきあいのこと	N=45	31.1	31.1	33.3	13.3	4.4	2.2
身近な相談相手や話し相手がないこと	N=114	22.8	29.8	31.6	7.9	3.5	7.9
災害時などへの対応のこと	N=372	19.9	19.1	26.6	9.9	2.4	7.5
特に困っていることはない	N=497	8.0	12.5	10.1	37.0	1.6	9.7
その他	N=83	9.6	16.9	18.1	16.9	16.9	4.8

7 情報入手について

問21 あなたは、ふだん生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手先では、「テレビ・ラジオ」が 71.6%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・チラシ等」が 58.2%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「テレビ・ラジオ」の割合が低くなっています。

□ 年齢別 問21×問1

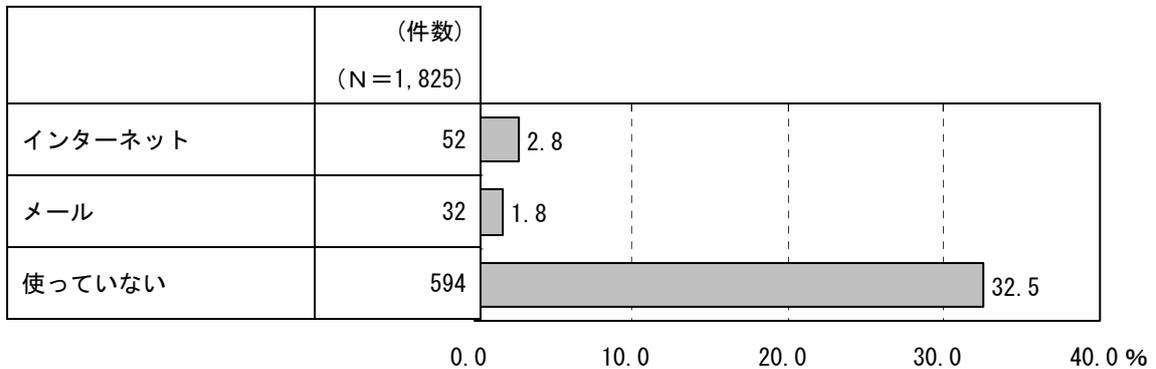
単位: %

	回答者数(N)	人や口コミ	新聞・雑誌・チラシ等	テレビ・ラジオ	パソコン(メールやインターネット)	携帯電話(メールやインターネット)	何も使っていない	その他	不明・無回答
65~69歳	N=76	31.6	57.9	81.6	9.2	10.5	9.2	2.6	0.0
70~74歳	N=166	37.3	54.8	71.7	3.6	4.2	7.2	1.8	7.2
75~79歳	N=289	31.8	61.6	76.5	3.8	7.6	7.3	3.1	5.2
80~84歳	N=460	32.0	65.0	73.0	2.0	5.4	5.7	2.0	5.0
85歳以上	N=798	34.5	54.1	68.4	1.4	2.8	11.4	5.0	5.3

問21-2 自分が使えるパソコンや携帯電話を持っている方にお聞きます。パソコンや携帯電話はどのように使っていますか。(①, ②のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

①パソコン

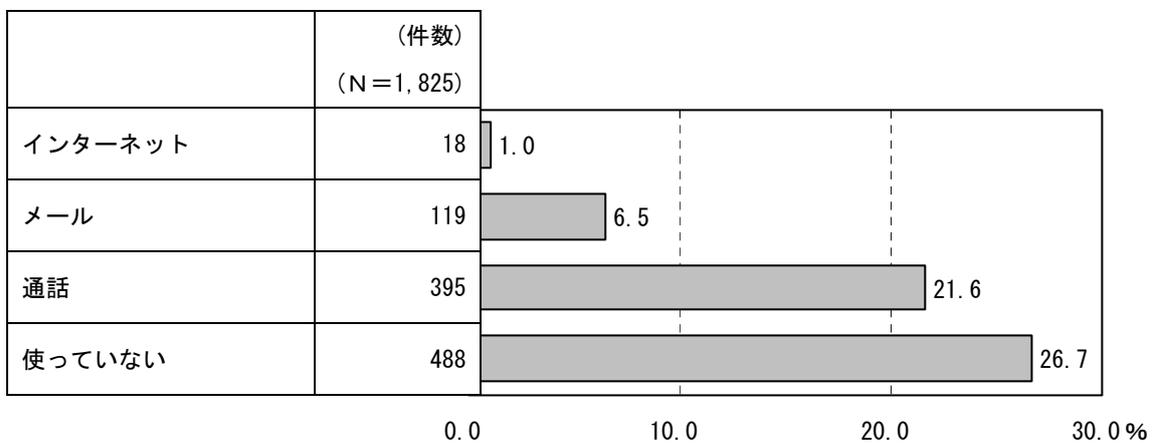
パソコンの利用度では、「使っていない」が32.5%と最も高く、次いで「インターネット」が2.8%となっています。



※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

②携帯電話

携帯電話の利用度では、「使っていない」が26.7%と最も高く、次いで、「通話」が21.6%となっています。

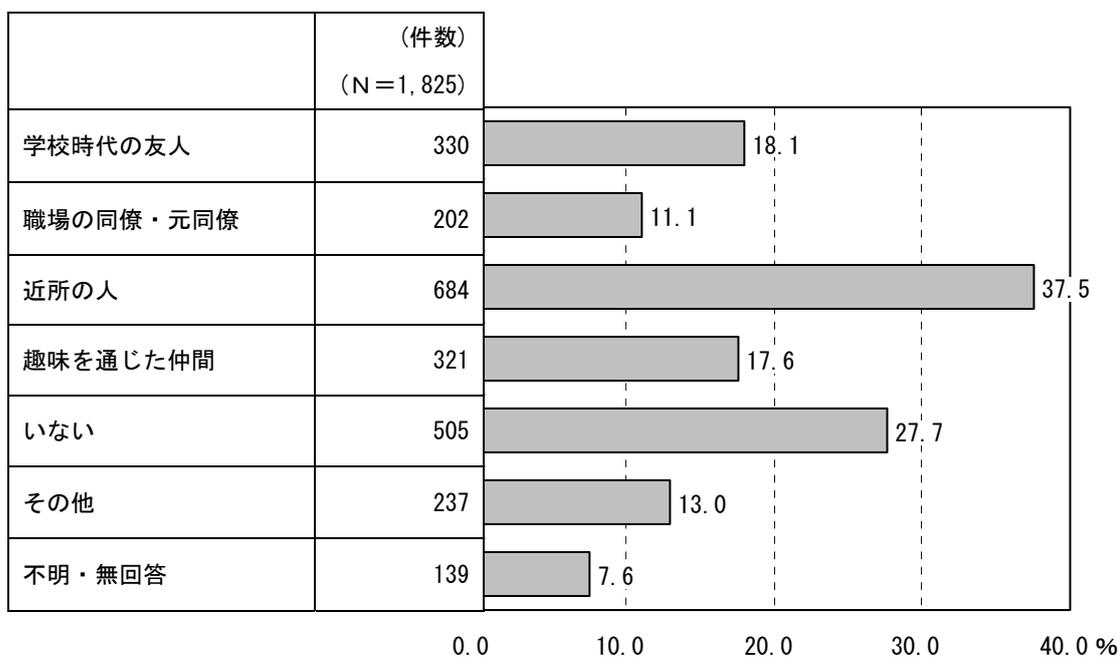


※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について

問22 あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間どのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

親しくしている友人・仲間では、「近所の人」が 37.5%と最も高く、次いで「いない」が 27.7%となっています。



【前回調査との比較】(平成 17 年調査は参考)

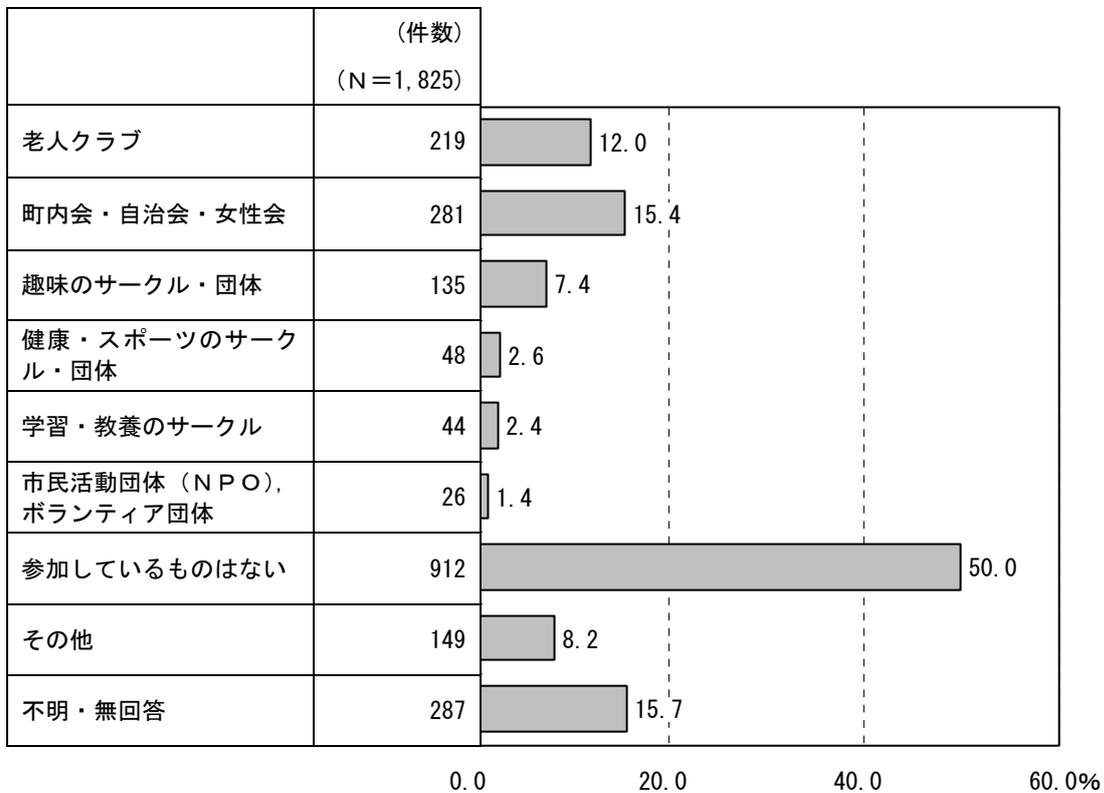
単位：%

	回答者数(N)	学校時代の友人	職場の同僚・元同僚	近所の人	趣味を通じた仲間	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,068	36.2	35.8	53.1	44.4	8.9	1.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

問23 あなたは、現在参加している団体や組織はありますか。(あてはまるものすべてに○)

団体や組織の参加状況では、「参加しているものはない」が50.0%と最も高く、次いで「町内会・自治会・女性会」が15.4%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査との比較では、平成19年調査より「参加しているものはない(平成19年調査では「特にない」)」の割合が低くなっています。

単位: %

	回答者数(N)	旅行	趣味や娯楽のサークル活動	健康づくりやスポーツ活動	学習や教養などを身につける活動	地域の団体や行事への参加	社会奉仕活動	若い世代との交流	その他	特にない	不明・無回答
平成19年調査	N=1,837	5.1	12.0	2.9	4.9	3.4	0.8	4.9	11.3	58.9	7.7

	回答者数(N)	老人クラブ	町内会・自治会・女性会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル	市民活動団体(NPO), ボランティア団体	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	11.6	31.5	18.6	10.9	5.2	4.3	7.8	39.8

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

年齢別では、『65～69 歳』で「参加しているものはない」の割合が6割以上と高くなっています。

□ 年齢別 問 23×問1

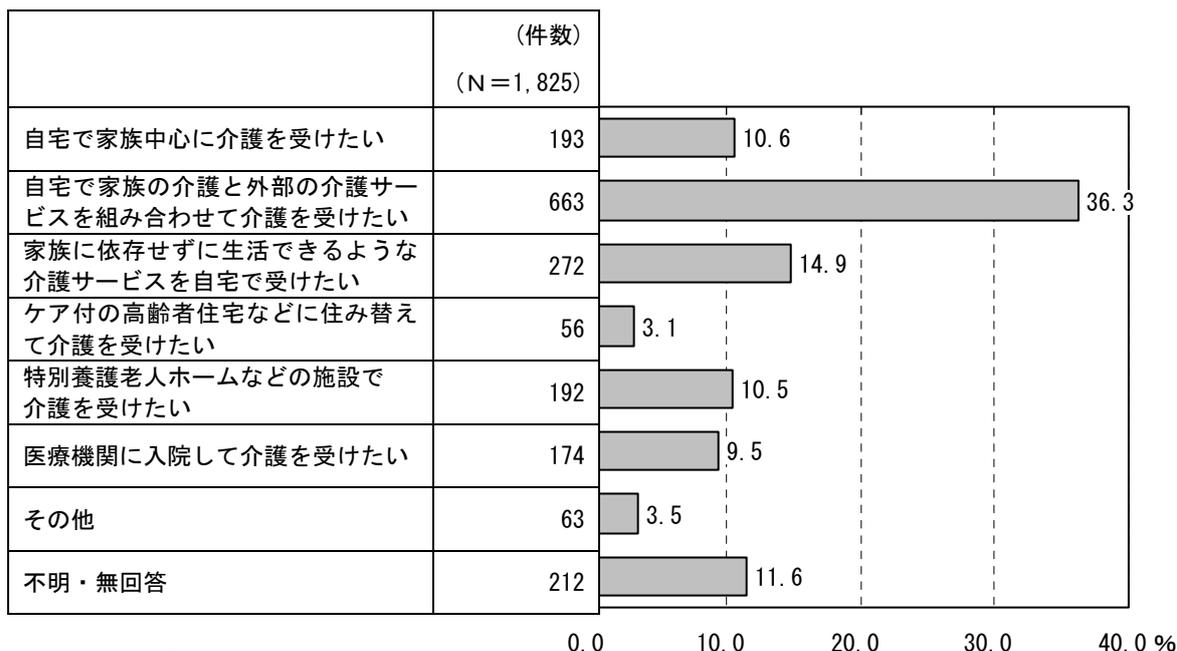
単位：%

	回答者数(N)	老人クラブ	町内会・自治会・女性会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル	市民活動団体(NPO), ボランティア団体	参加しているものはない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=76	1.3	11.8	3.9	1.3	2.6	3.9	61.8	6.6	11.8
70～74歳	N=166	8.4	18.1	7.8	3.6	3.0	3.0	47.0	10.2	19.3
75～79歳	N=289	8.0	16.6	9.0	4.5	4.2	1.7	47.1	7.6	17.0
80～84歳	N=460	15.0	17.2	10.2	3.0	2.0	1.1	46.3	8.0	15.7
85歳以上	N=798	13.5	14.0	5.8	1.6	2.0	1.0	53.5	8.0	13.8

9 介護が必要な場合への支援について

問24 もし、あなた自身に介護が必要になった場合、あなたはどのような介護を希望しますか。(〇は1つ)

今後の介護に対する希望では、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が36.3%と最も高く、次いで「家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい」が14.9%となっています。

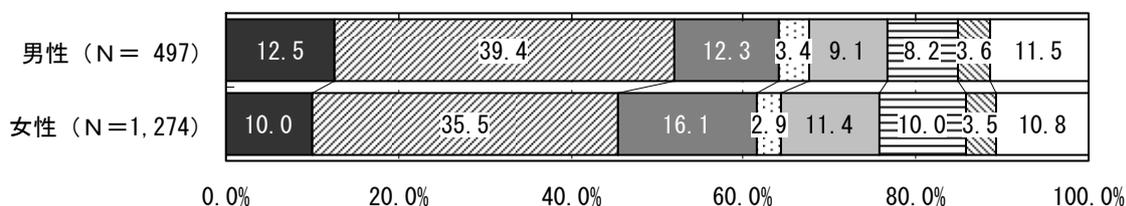


【クロス集計結果】

男女別では、『男性』で「自宅で家族中心に介護を受けたい」と「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」の割合が『女性』と比べて高くなっています。

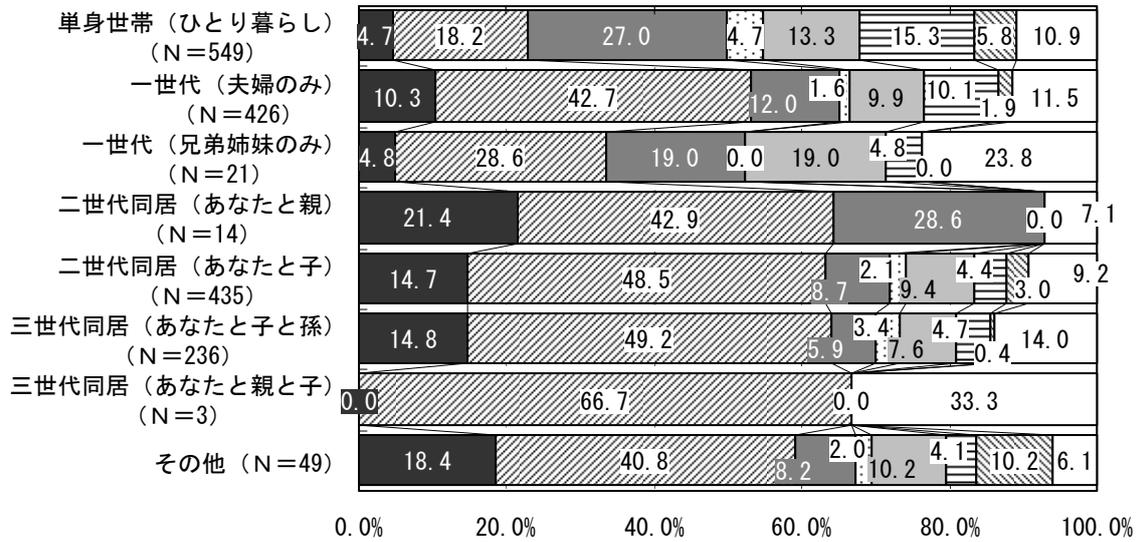
世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』『二世帯同居（あなたと子）』で「家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい」の割合が高くなっています。

□ 男女別 問24×問2



- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- ▨ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい
- ケア付の高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
- 医療機関に入院して介護を受けたい
- ▨ その他
- 不明・無回答

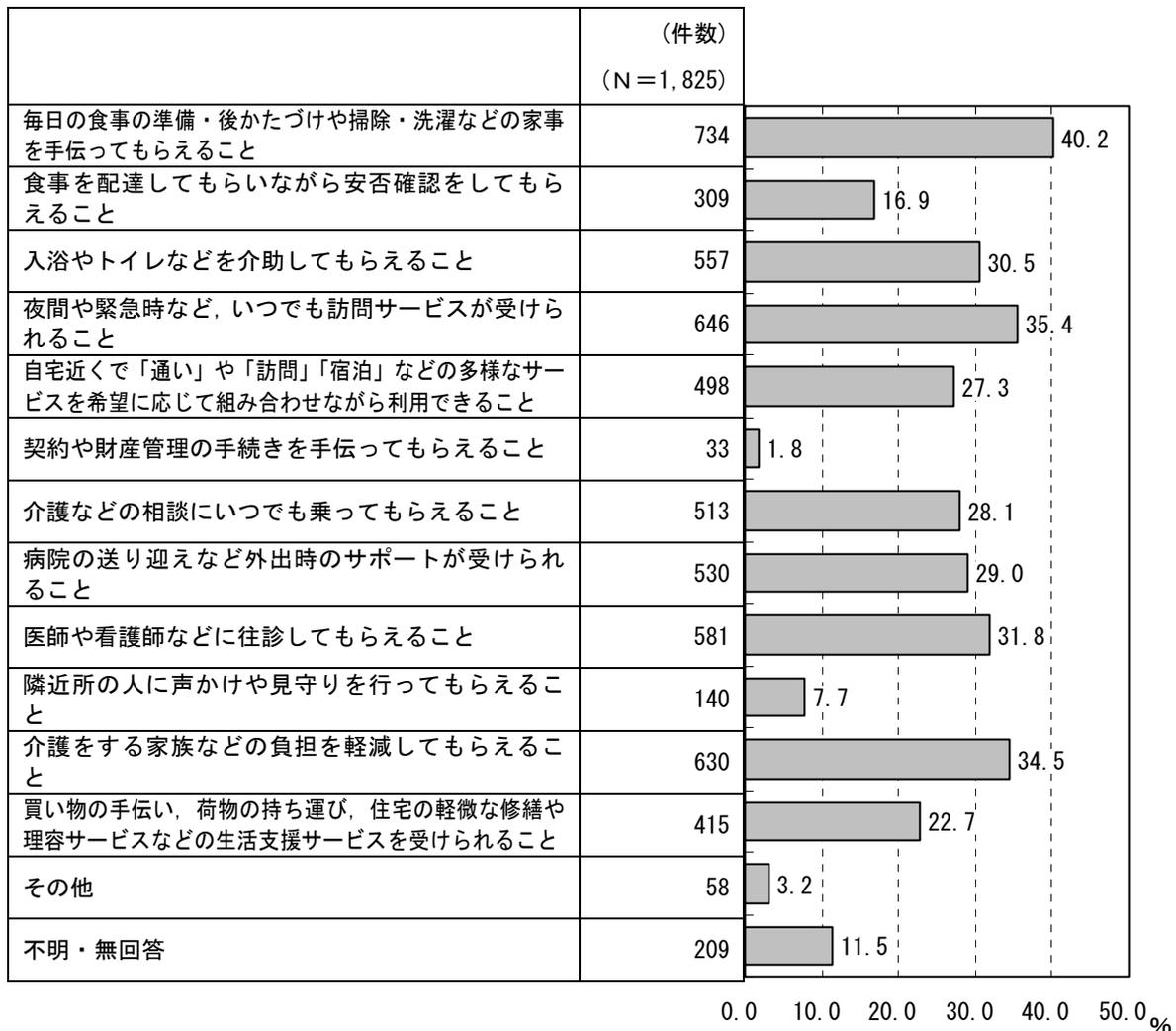
□ 世帯構成別 問 24×問4



- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- ▨ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に依存せずに生活できるような介護サービスを自宅で受けたい
- ケア付の高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
- 医療機関に入院して介護を受けたい
- ▨ その他
- 不明・無回答

問25 自宅での生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

充実すべき支援内容では、「毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が40.2%と最も高く、次いで「夜間や緊急時など、いつでも訪問できるサービスが受けられること」が35.4%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『二世帯同居(あなたと子)』と『三世帯同居(あなたと子と孫)』で「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」の割合が高く、5割を超えています。

要介護度別では、『要支援1・2』と『要介護1』で「毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」の割合が高いのに対して、『要介護2・3・4・5』では「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」の割合が高くなっています。

□ 世帯構成別 問 25×問4

単位：%

	回答者数(N)	毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること	食事を配達してもらいながら安否確認をしてもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること	自宅近くで多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	介護などの相談にいつでも乗ってもらえること
単身世帯(ひとり暮らし)	N=549	47.7	25.3	23.1	41.7	20.8	2.7	27.3
一世代(夫婦のみ)	N=426	43.2	18.1	31.2	36.4	24.9	2.1	30.3
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=21	42.9	4.8	42.9	28.6	9.5	0.0	38.1
二世帯同居(あなたと親)	N=14	28.6	14.3	42.9	28.6	35.7	0.0	35.7
二世帯同居(あなたと子)	N=435	31.3	11.0	34.3	34.0	34.0	0.7	28.5
三世帯同居(あなたと子と孫)	N=236	35.6	10.6	39.8	28.4	38.6	1.7	25.8
三世帯同居(あなたと親と子)	N=3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	N=49	46.9	6.1	28.6	32.7	32.7	4.1	24.5

	回答者数(N)	病院の送り迎えなど外出時のサポートが受けられること	医師や看護師などに往診してもらえること	隣近所の人に声かけや見守りを行ってもらえること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	生活支援サービスを受けられること	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=549	28.8	29.9	13.8	13.3	35.5	4.4	11.1
一世代(夫婦のみ)	N=426	28.2	33.8	7.0	37.6	22.5	1.6	11.5
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=21	23.8	33.3	0.0	38.1	14.3	4.8	19.0
二世帯同居(あなたと親)	N=14	35.7	42.9	0.0	28.6	35.7	7.1	0.0
二世帯同居(あなたと子)	N=435	30.3	33.8	3.2	50.3	14.0	2.5	10.6
三世帯同居(あなたと子と孫)	N=236	32.6	33.9	4.2	50.8	10.6	3.8	8.9
三世帯同居(あなたと親と子)	N=3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
その他	N=49	26.5	32.7	4.1	53.1	10.2	6.1	10.2

□ 要介護度別 問 25×問6

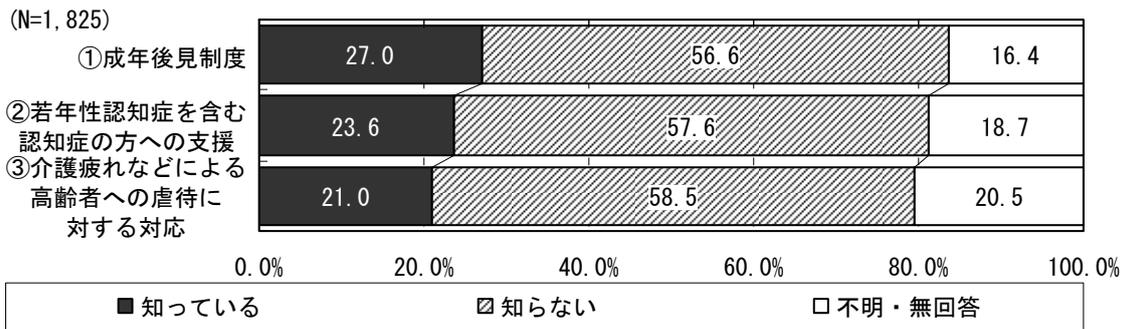
単位：%

	回答者数(N)	毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること	食事を配達してもらいながら安否確認してもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること	自宅近くで多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	介護などの相談にいつでも乗ってもらえること
要支援1	N=320	41.6	21.3	13.4	35.9	25.0	0.6	31.3
要支援2	N=332	44.0	20.5	24.1	31.6	22.0	1.8	29.2
要介護1	N=197	39.6	15.7	23.4	34.5	28.9	2.5	26.9
要介護2	N=218	43.6	18.3	39.0	37.6	28.0	2.8	33.5
要介護3	N=217	41.9	13.8	40.6	36.9	30.0	1.8	23.0
要介護4	N=227	39.2	12.3	48.0	37.9	35.7	0.9	28.2
要介護5	N=216	29.6	11.6	39.4	40.3	30.1	2.8	22.7

	回答者数(N)	病院の送り迎えなど外出時のサポートが受けられること	医師や看護師などに往診してもらえること	隣近所の人に声かけや見守りを行ってもらえること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	生活支援サービスを受けられること	その他	不明・無回答
要支援1	N=320	26.3	31.3	14.1	19.4	33.8	2.5	13.4
要支援2	N=332	31.9	31.6	8.1	22.9	33.1	4.2	9.9
要介護1	N=197	33.0	25.9	8.1	31.5	24.4	3.0	12.7
要介護2	N=218	37.2	33.9	7.3	44.0	24.3	3.2	8.3
要介護3	N=217	25.8	22.1	5.1	44.7	12.4	2.3	10.1
要介護4	N=227	27.3	40.1	4.0	52.4	11.0	4.0	8.4
要介護5	N=216	23.6	40.3	4.2	44.9	8.8	3.2	12.0

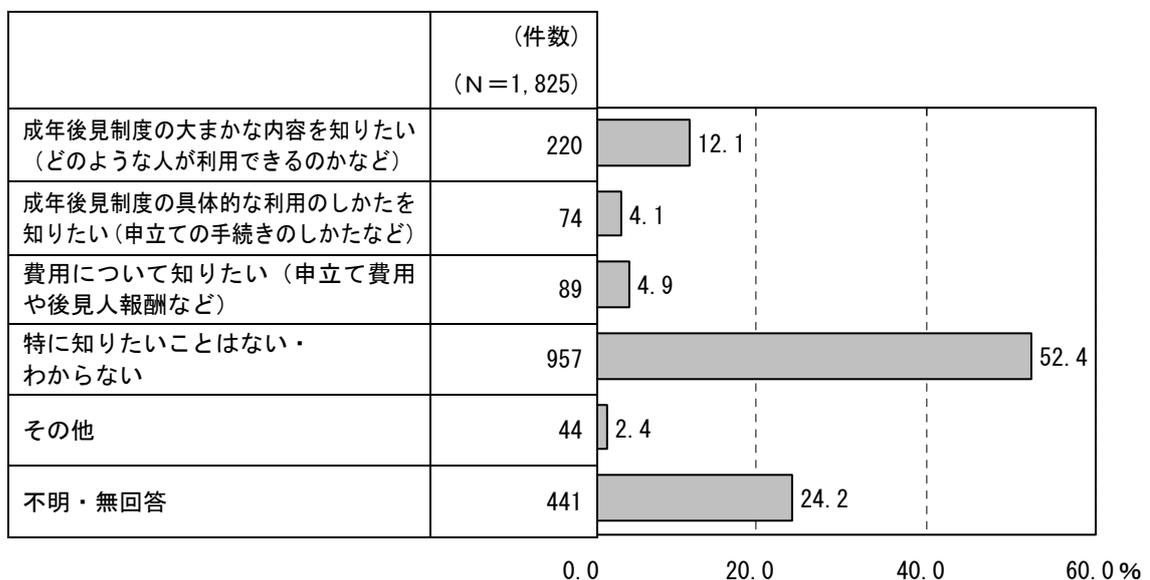
問26 あなたは、次のようなことについて知っていますか。(①～③のそれぞれについて 1.知っている, 2.知らない のどちらかに○)

施策に対する認知度では、『①成年後見制度』の「知っている」が27.0%、『②若年性認知症を含む認知症の方への支援』の「知っている」が23.6%、『③介護疲れなどによる高齢者への虐待に対する対応』の「知っている」が21.0%となっています。また、①～③の全ての施策において「知らない」が5割以上となっています。



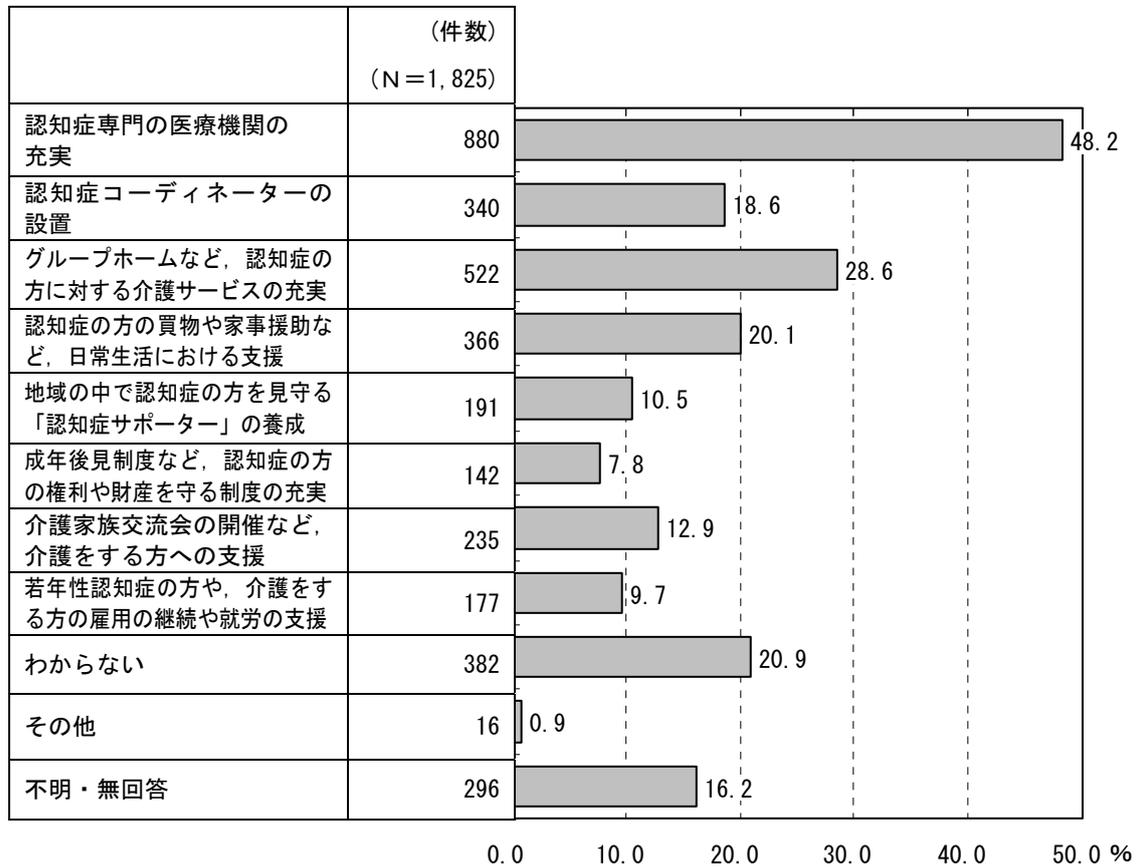
問27 あなたは、成年後見制度について知りたいことが何かありますか。(○は1つ)

成年後見制度について知りたいことでは、「特に知りたいことはない・わからない」が52.4%と最も高く、次いで「成年後見制度の大まかな内容を知りたい(どのような人が利用できるのかなど)」が12.1%となっています。



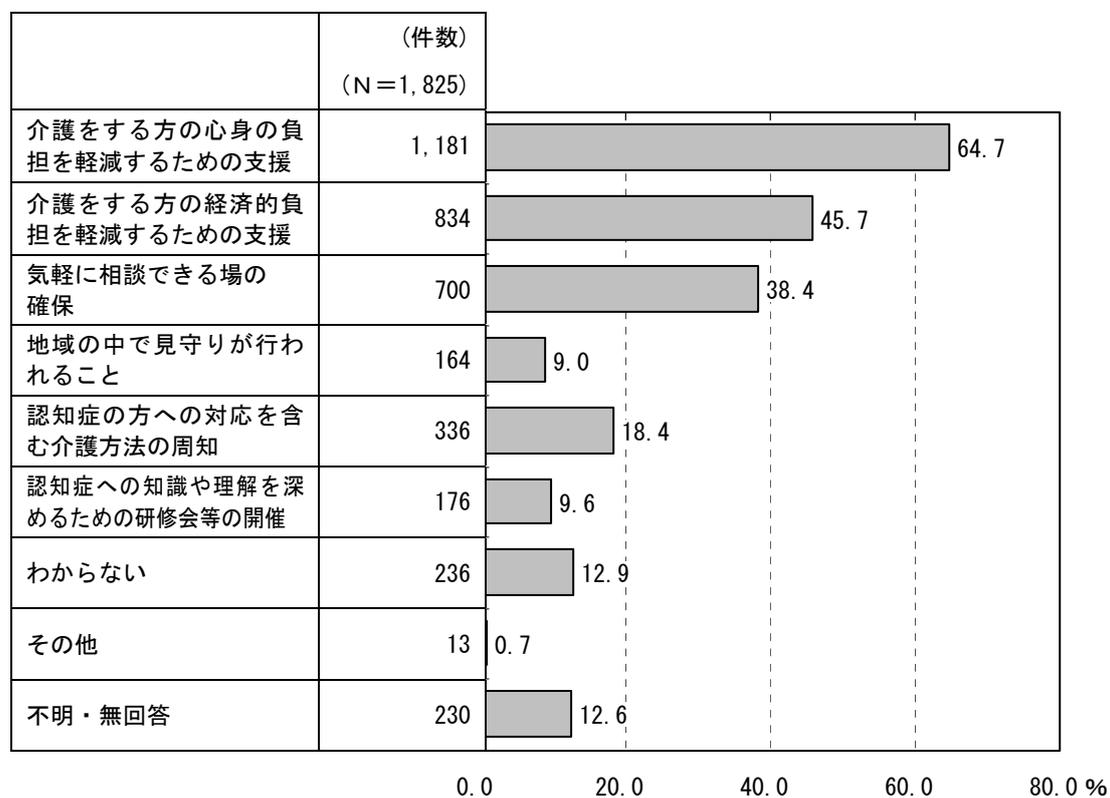
問28 若年性認知症を含む認知症の方への対策が課題となっていますが、あなたや、あなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

認知症になった場合の支援体制では、「認知症専門の医療機関の充実」が 48.2%と最も高く、次いで「グループホームなど、認知症の方に対する介護サービスの充実」が 28.6%となっています。



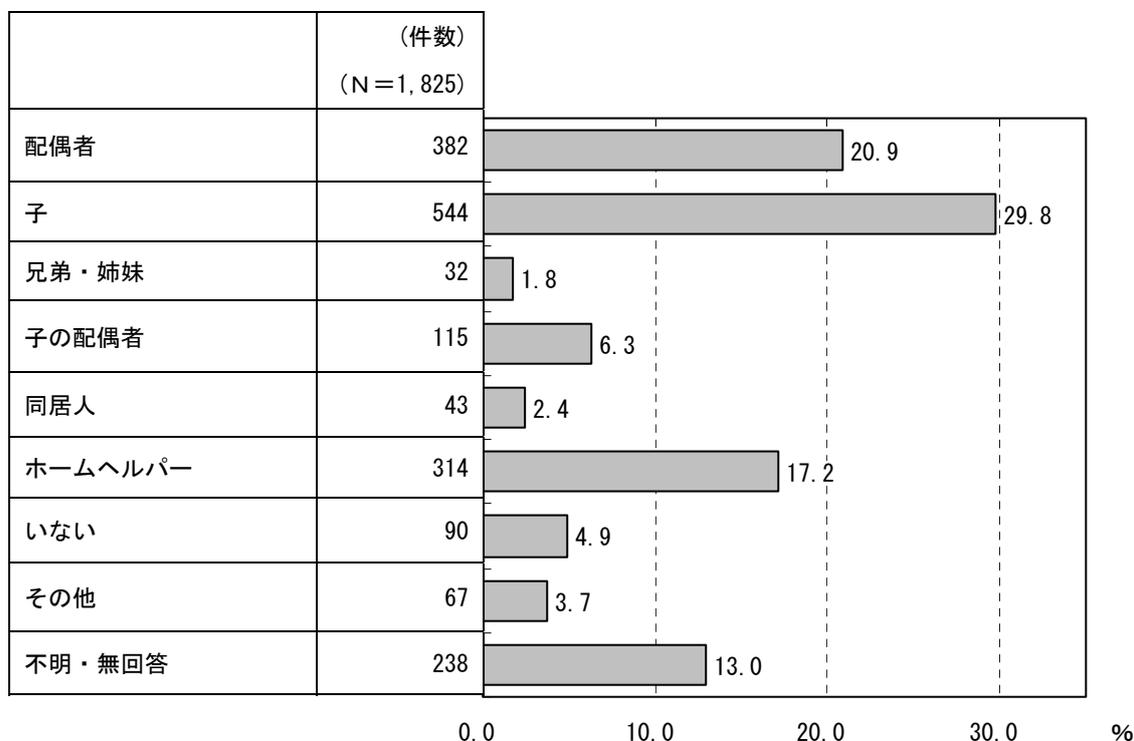
問29 介護疲れなどによる高齢者虐待を未然に防ぐために、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

高齢者虐待の予防支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が64.7%と最も高く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が45.7%となっています。



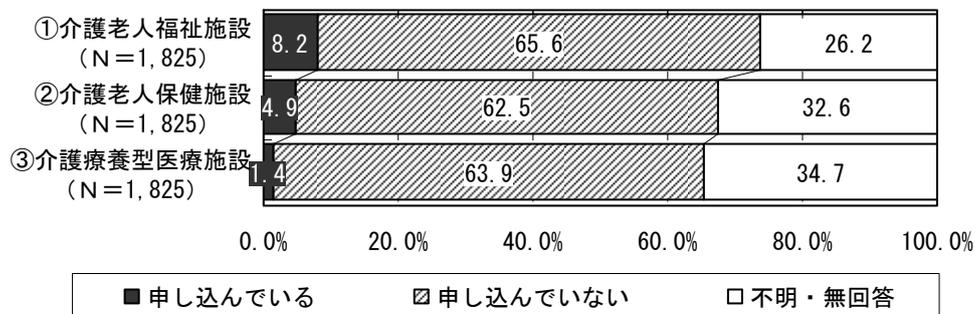
問30 あなたは、主にどなたに介護されていますか。(〇は1つ)

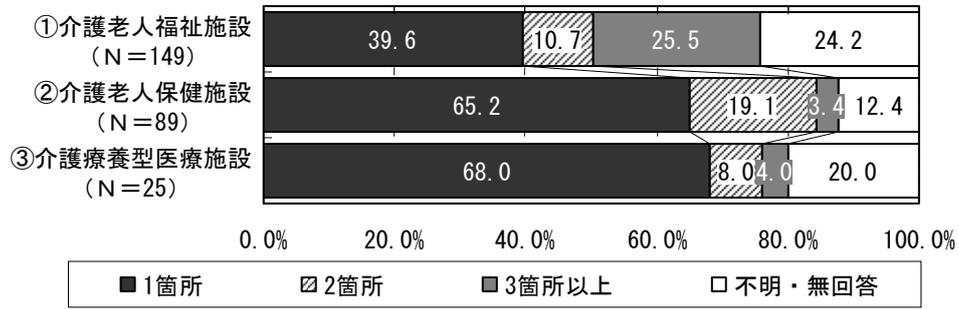
主な介護者では、「子」が29.8%と最も高く、次いで「配偶者」が20.9%となっています。



問31 現在、介護保険施設に入所(入院)の申込みをしていますか。①～③のそれぞれの施設について申込みの有無と、申し込んでいる場合は申し込んだ施設の数をお答えください。

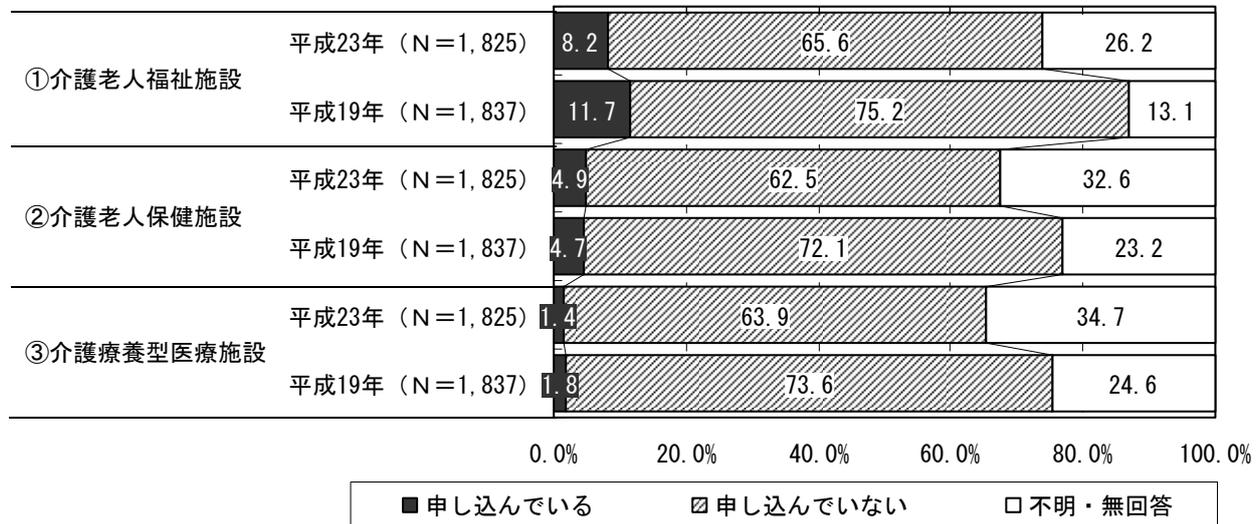
施設への申込みの有無では、『①介護老人福祉施設』で「申し込んでいる」が8.2%、『②介護老人保健施設』で「申し込んでいる」が4.9%、『③介護療養型医療施設』で「申し込んでいる」が1.4%となっています。申込み箇所数では、『①介護老人福祉施設』で「1箇所」が39.6%、『②介護老人保健施設』で「1箇所」が65.2%、『③介護療養型医療施設』で「1箇所」が68.0%と最も高くなっています。



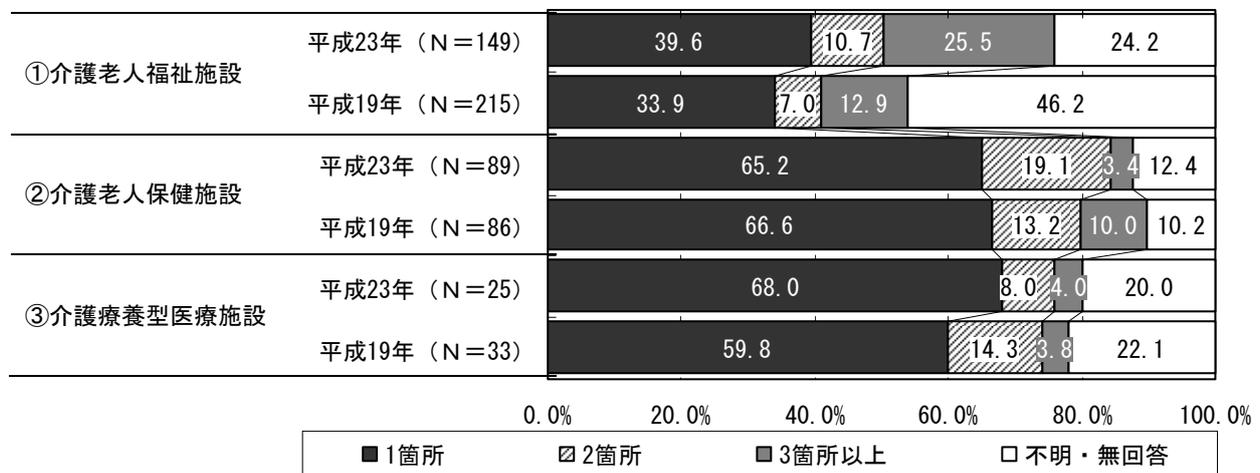


【申し込みの有無／前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より申込みの有無で『①介護老人福祉施設』の「申し込んでいる」の割合が低くなっています。また、申込み箇所数で『①介護老人福祉施設』の「3箇所以上」の割合が高くなっています。



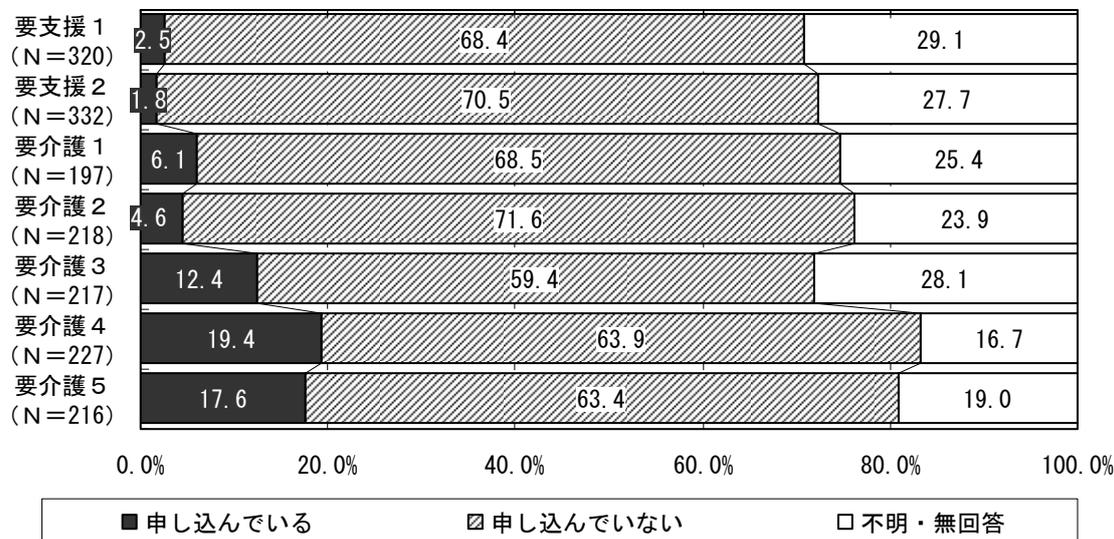
【申し込み箇所数／前回調査との比較】



【クロス集計結果】

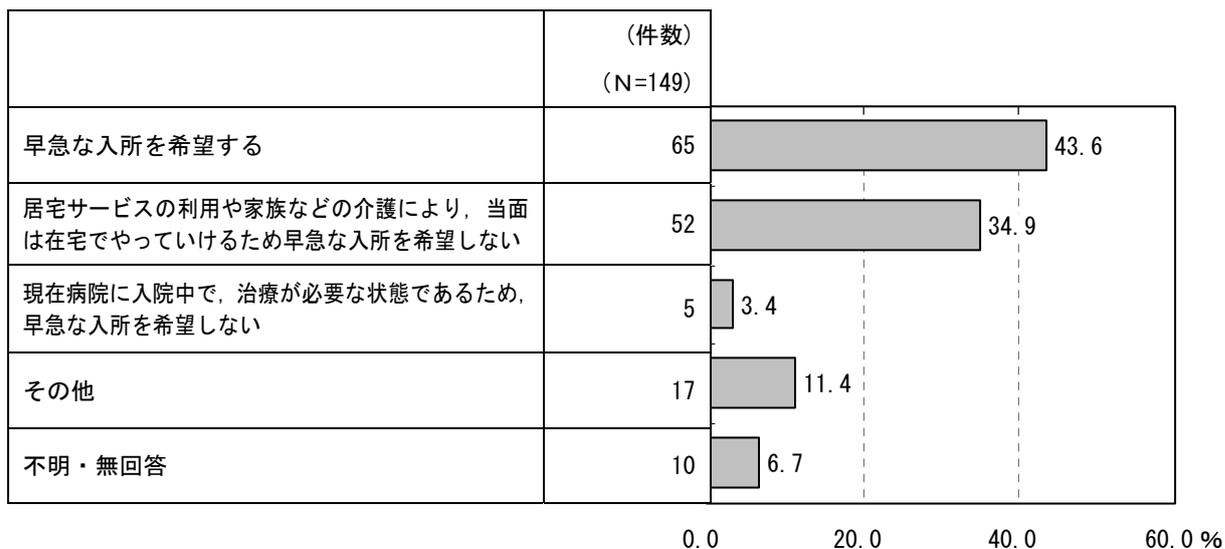
要介護度別では、『要介護3・4・5』で「申し込んでいる」の割合が高くなっています。

□ 要介護度別 問 31×問6



**問 31-2 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所申込みをされた方のみ
施設への早急な入所を希望しますか。(○は1つ)**

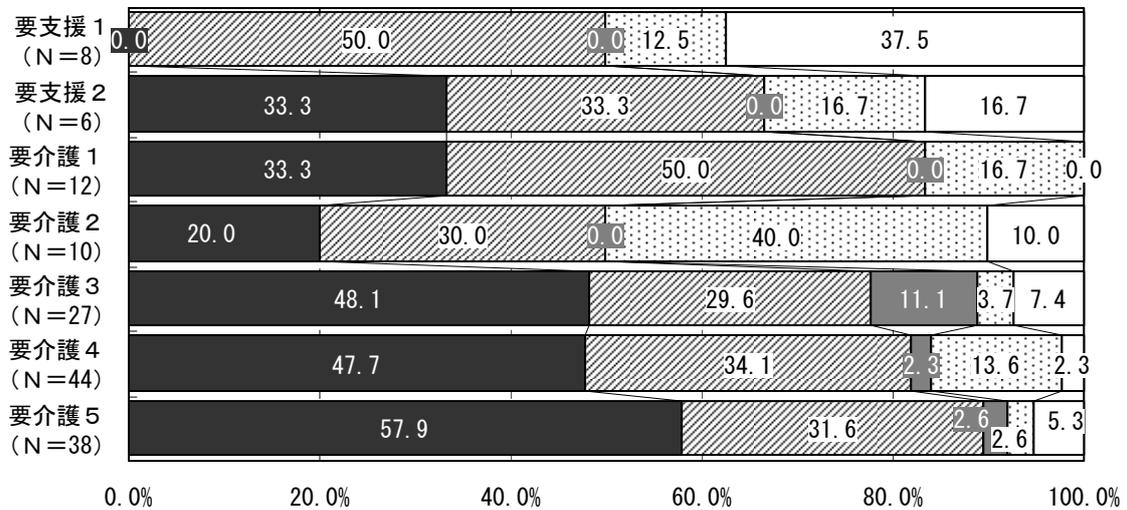
早急な入所希望では、「早急な入所を希望する」が 43.6%と最も高く、次いで「居宅サービスの利用や家族などの介護により、当面は在宅でやっていけるため早急な入所を希望しない」が 34.9%となっています。



【クロス集計結果】

要介護度別では、『要介護5』で「早急な入所を希望する」が5割以上となっています。

□ 要介護度別 問 31-2×問6

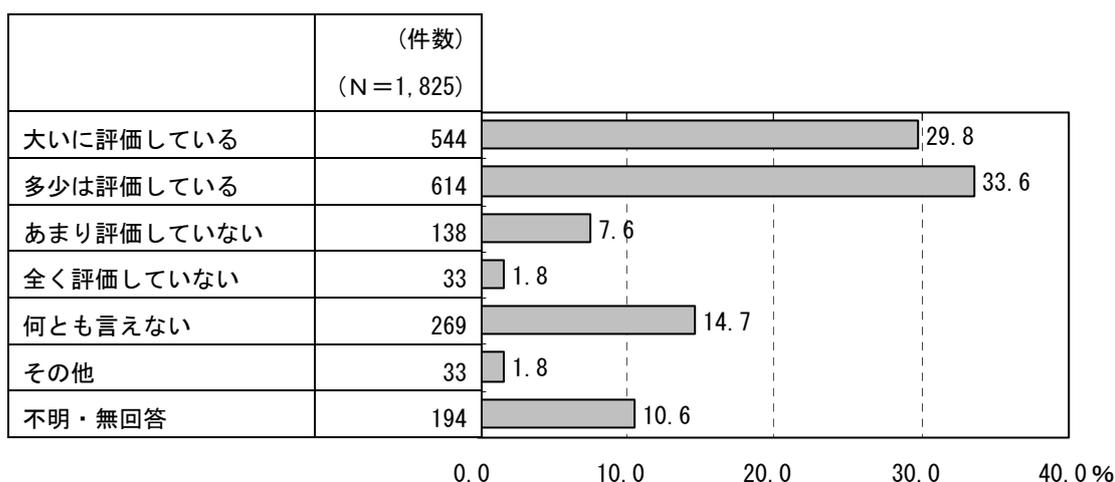


- 早急な入所を希望する
- ☑ 居宅サービスの利用や家族などの介護により、当面は在宅でやっていけるため早急な入所を希望しない
- 現在病院に入院中で、治療が必要な状態であるため、早急な入所を希望しない
- その他
- 不明・無回答

10 介護保険制度について

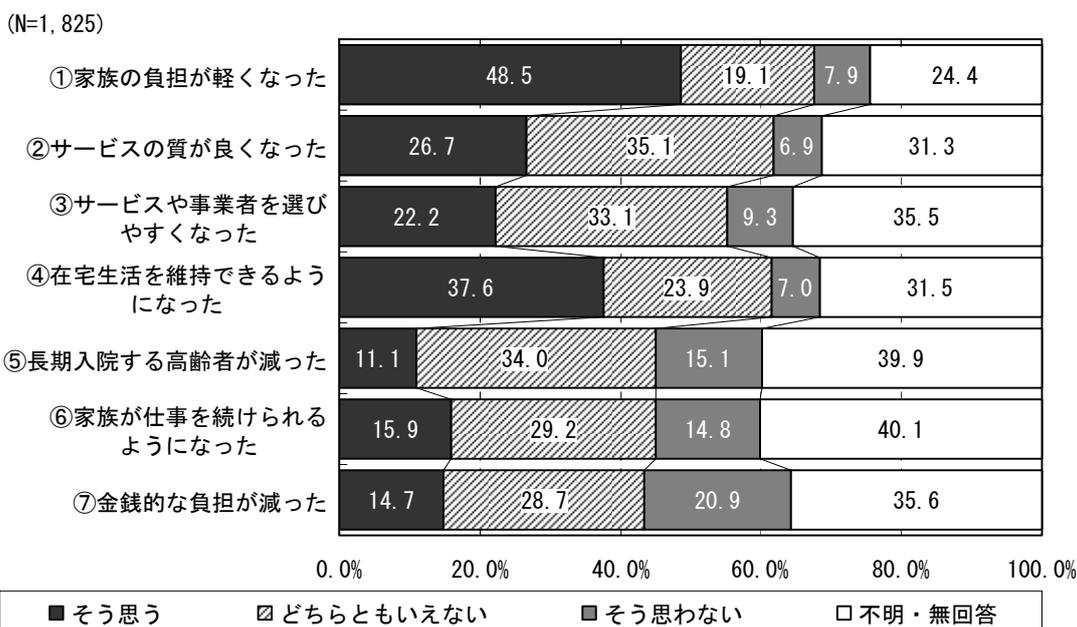
問33 介護保険制度が創設されて、今年で11年目を迎えました。介護保険制度への評価として、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護保険制度への評価では、『評価している(「大いに評価している」と「多少は評価している」の合計)』が63.4%となっています。また、「何とも言えない」が14.7%となっています。



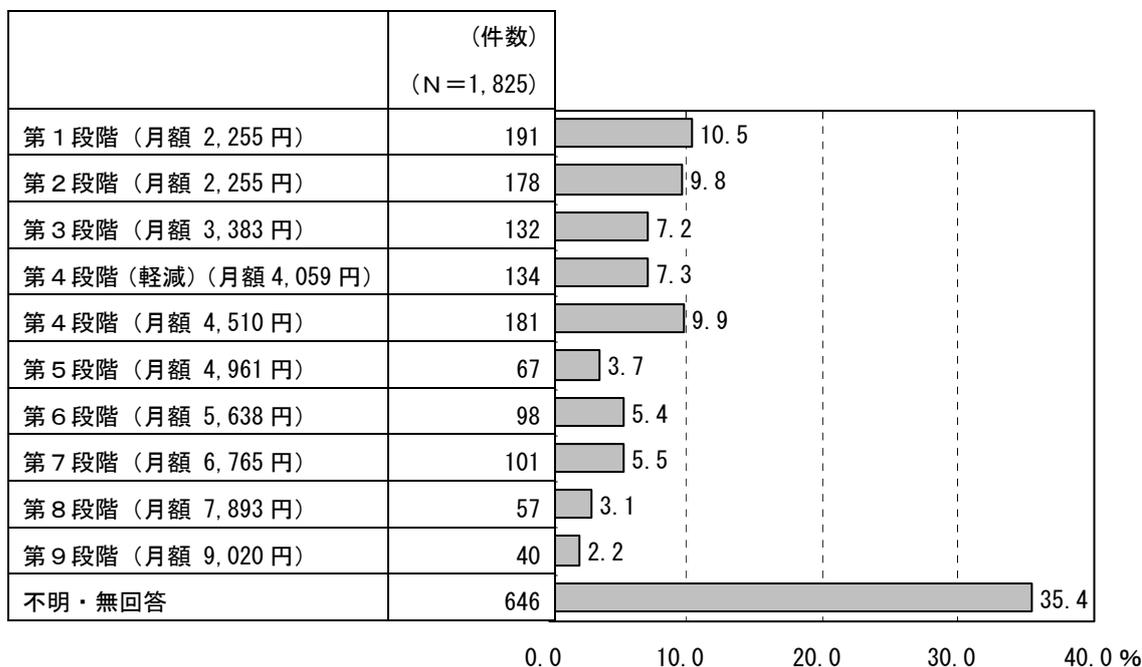
問34 介護保険制度によってどのような効果があったと考えますか。(①～⑦それぞれについて、あなたの考えに最も近い、1.そう思う、2.どちらともいえない、3.そう思わない のどれか1つに○)

介護保険制度の効果では、『①家族の負担が軽くなった』の「そう思う」が48.5%と最も高く、次いで『④在宅生活を維持できるようになった』の「そう思う」が37.6%となっています。



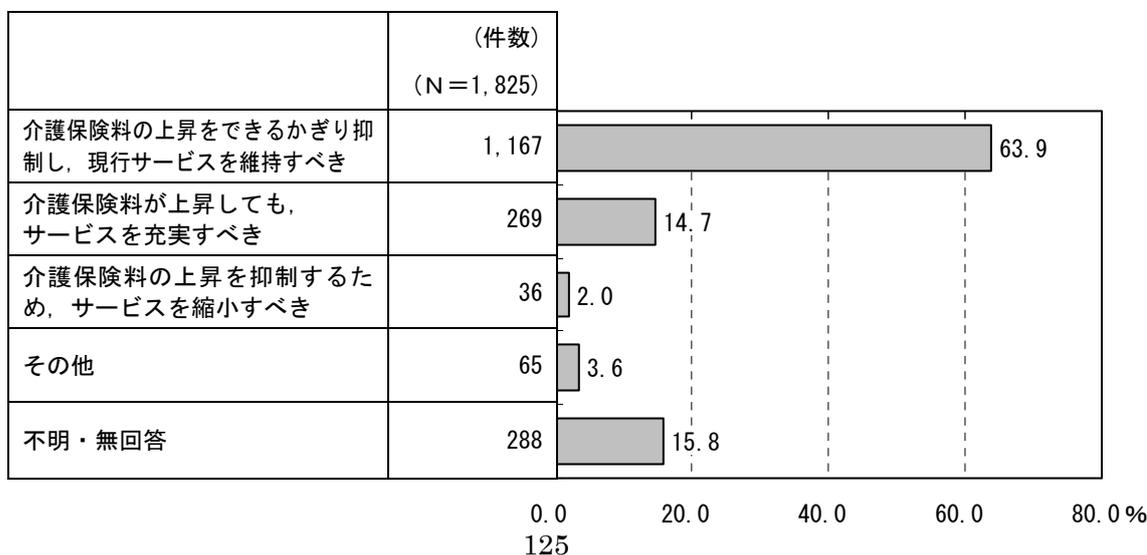
問35 あなたの、介護保険料の段階はどれですか。(〇は1つ)

介護保険料の段階では、「不明・無回答」をのぞくと「第1段階（月額2,255円）」が10.5%と最も高く、次いで「第4段階（月額4,510円）」が9.9%となっています。



問36 高齢化の進展等に伴う介護サービスの利用者増等によって、介護保険を運用していくための費用は年々増加しており、保険料上昇の主な原因となっています。今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

今後の保険料とサービスのあり方では、「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」が63.9%と特に高くなっています。次いで「介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき」が14.7%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」（平成19年調査では「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」）の割合が、約2割から6割と特に高くなっています。

単位：％

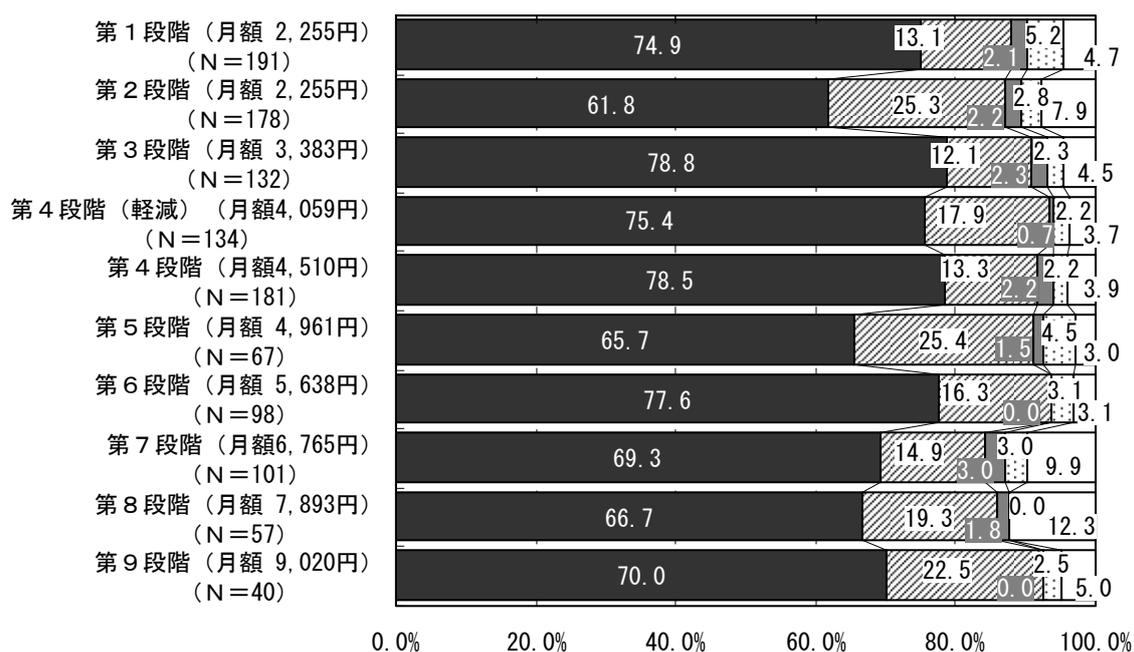
	回答者数(N)	保険料がある程度高くなって、サービスの量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	不明・無回答
平成19年調査	N=1,837	16.5	21.1	4.4	36.4	21.5

※選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

介護保険料別では、『第2段階（月額2,255円）』と『第5段階（月額4,961円）』で「介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき」の割合が高くなっています。

□ 介護保険料別 問36×問35



- 介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき
- ▨ 介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき
- ▩ 介護保険料の上昇を抑制するため、サービスを縮小すべき
- その他
- 不明・無回答

問37 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見欄には、261人から（記入率14.3%）から延べ329件の回答がありました。回答内容では、「介護保険制度全般」に関する意見が、特に多くあがっています。

介護保険料の負担	22
介護保険料が高い・安くしてほしい	19
介護保険料が年金から引かれるのが負担	1
介護保険料のためとかいって金銭物を強要しないでほしい	1
現在のサービスを保ちつつ介護保険料を増やさないでほしい	1

サービス利用料の負担	9
利用料が高くサービスが受けられない・生活が厳しい	7
要介護度が上がるとデイサービス利用料が上がり大変	1
デイサービス利用は一律一割でなく収入に応じた負担がよい	1

介護保険制度全般	138
本人や介護者の意向を反映した制度・サービス利用ができるよう見直してほしい	22
介護保険制度は本当にありがたい・感謝している	21
利用者の状態に応じた柔軟なサービスが受けられるよう改善してほしい	17
ヘルパーやケアマネジャーの質の向上を望む	11
自立支援・在宅支援に結び付くサービス提供・制度となることを望む	11
介護者に対するケアが必要	10
公平・公正に制度やサービスが利用できるようにしてほしい	10
保険適用範囲の見直しや利用助成等、利用料の軽減策を検討してほしい	9
介護従事者に対する待遇を改善してほしい	8
介護に関する情報がほしい	7
現状の制度を維持・継続できるようにしてほしい	5
介護にもボランティアを活用できるよう望む	2
介護内容の規制緩和を望む	2
個人情報の保護が徹底されるようにしてほしい	1
その他	2

要介護認定	9
介護認定に不満・基準が不明	7
介護認定はケアマネジャー2人で行ってほしい	1
介護認定（更新時含む）に時間がかかりすぎる	1

在宅サービスの充実	7
利用方法・範囲を拡大するなど在宅サービスを充実してほしい	5
生活援助サービスの利用方法を改善してほしい	2

施設サービスの充実	38
介護施設（特別養護老人ホーム・高齢者施設等）を増設してほしい	21
すぐに対応できる短期間の入所施設を増やしてほしい	5
介護施設への早急な入所の実現を希望する	4
低料金で入所できる施設を増設してほしい	3
施設設備や施設におけるサービスの充実を希望する	2
職員数の増員・育成をしてほしい	1
リハビリ、体質改善出来る施設を増やしてほしい	1
精神疾患の入院施設が必要	1

高齢者保健福祉施策について	25
高齢者保健福祉制度、介護保険事業の充実	10
入院時に3ヶ月で退院させられる制度を改正してほしい	3
医療費について	3
認知症に関する情報・啓発	3
在宅介護家族に全く支援が無く厳しい政策となっている	3
引きこもり老人に対する政策が遅れている	2
地区により、民生委員の対応に差がある	1

市行政について	34
高齢者にやさしい温かい市政・福祉を望む	9
各種手続きを簡略化してほしい	6
国民年金について	3
相談場所の確保・充実	2
健全な行政運営をしてほしい	2
積極的に事業者への指導を行ってほしい	2
制度の変化に追いつけない	2
生活環境の改善	1
地域の特性を理解した上でそれに見合う施策を作るべき	1
国民健康保険制度について不満	1
生活保護制度の見直し	1
その他、市行政に関する意見	4

アンケートについて	16
設問数が多く，理解ができない	13
アンケート調査方法の見直しが必要	2
家族用のアンケートもあれば良い	1

その他の意見	31
現状で満足している	4
今後も自宅で暮らしたい	2
高齢者の働く場がほしい	1
孤独死をなくすための対策を検討してほしい	1
将来に不安がたくさんある	1
ポイント制ボランティア（将来自分に還元）の実施	1
特になし	5
その他	16

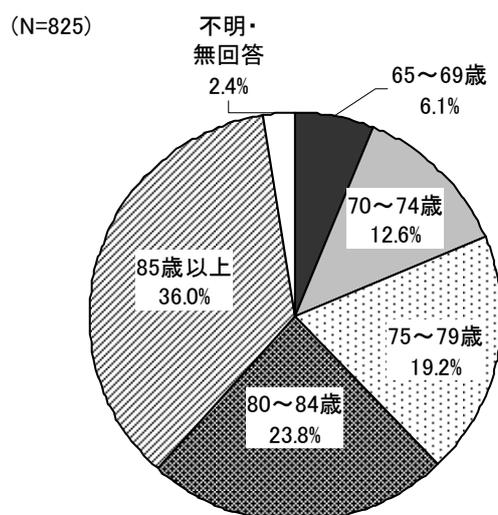
第4章 居宅サービス未利用者調査結果

第4章 居宅サービス未利用者調査結果

1 対象者の基本属性について

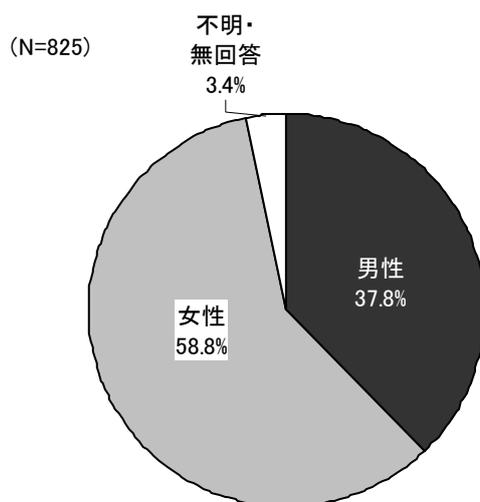
問1 あなた(あて名のご本人:以下の問も同じ)の年齢は。(○は1つ)

年齢では、「85歳以上」が36.0%と最も高く、次いで「80～84歳」がともに23.8%となっています。



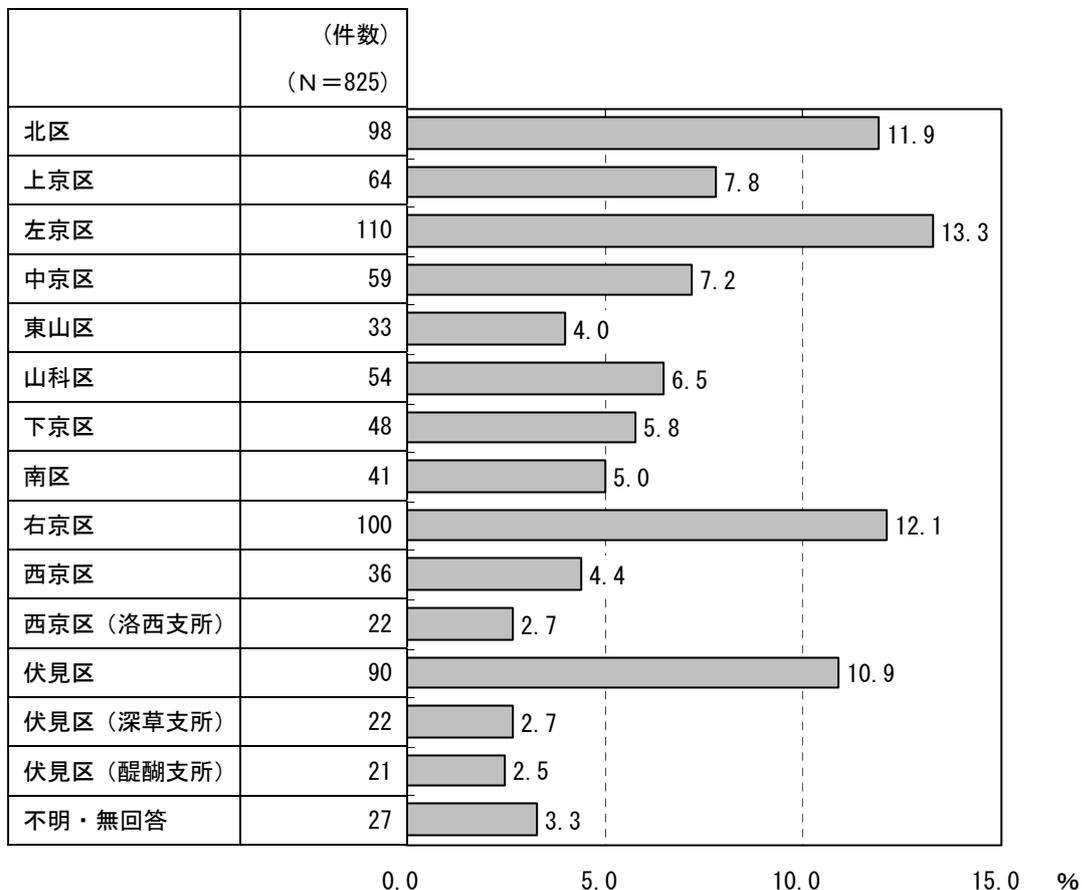
問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

性別では、「男性」が37.8%、「女性」が58.8%となっています。



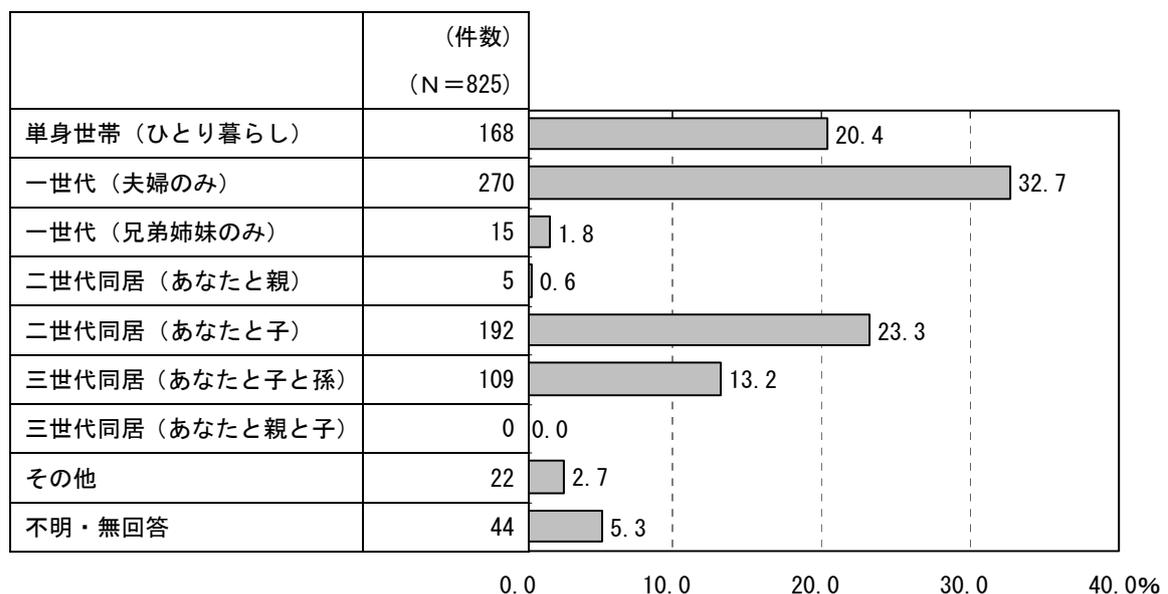
問3 あなたがお住まいの区・支所は。(〇は1つ)

居住地区では、「左京区」が13.3%と最も高く、次いで「右京区」が12.1%となっています。



問4 あなたの同居者(家族)の構成は。(〇は1つ)

家族構成では、「一世代(夫婦のみ)」が32.7%と最も高く、次いで「二世世代同居(あなたと子)」が23.3%となっています。



【前回調査との比較】（平成17年調査は参考）

前回調査との比較では、平成19年調査とは特に目立った差はみられませんでした。

単位：%

	回答者数(N)	ひとり暮らし	夫婦のみ(2人とも65歳以上)	夫婦のみ(左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ(左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親(二世帯同居)	あなたと子供(二世帯同居)	あなたと子供と孫(三世帯同居)	あなたと親と子供(三世帯同居)	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=670	20.7	31.8	1.7	0.8	0.2	1.1	26.8	10.9	0.2	2.4	3.5
	回答者数(N)	単身世帯(ひとり暮らし)	一世代(夫婦のみ)	一世代(兄弟姉妹のみ)	二世帯同居(あなたと親)	二世帯同居(あなたと子)	三世帯同居(あなたと子と孫)	三世帯同居(あなたと親と子)	その他	不明・無回答		
平成17年調査	N=3,633	17.0	38.9	1.8	2.7	22.9	10.6	1.3	2.8	2.0		

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

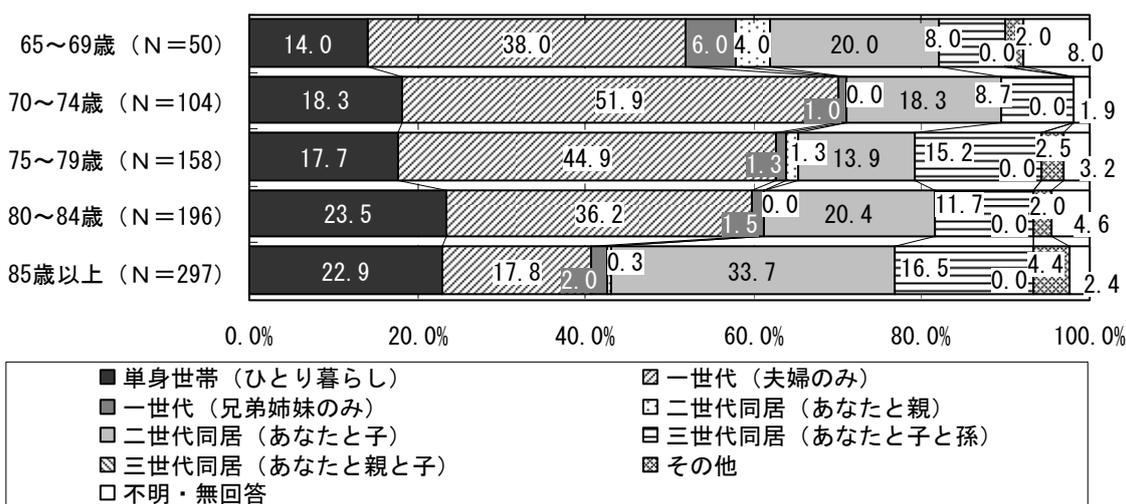
【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「二世帯同居(あなたと子)」の割合が特に高くなっています。

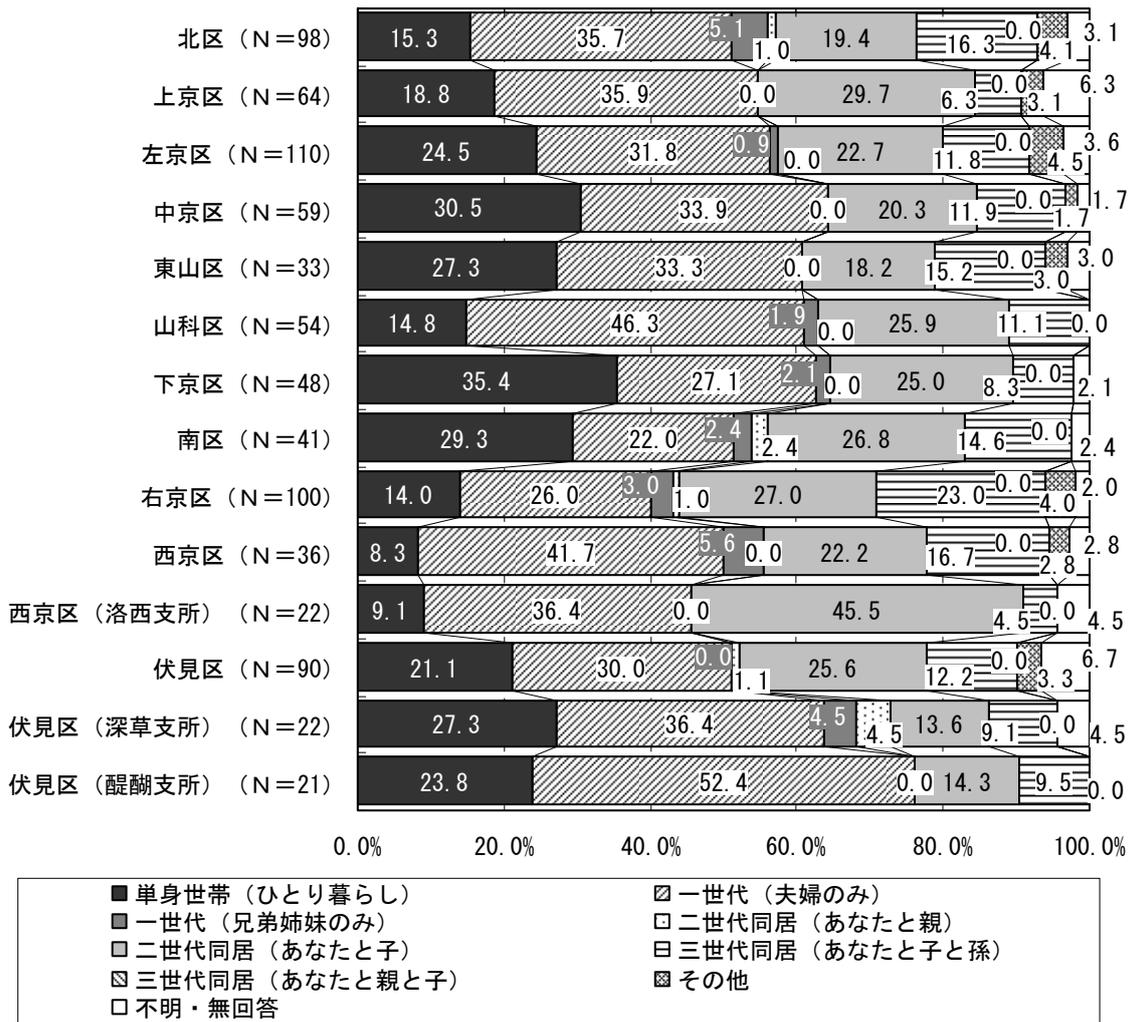
居住地区別では、『中京区』と『下京区』で「単身世帯(ひとり暮らし)」が3割を超えているのに対して、『西京区』と『西京区(洛西支所)』では1割以下となっています。

また、『伏見区(醍醐支所)』で「一世代(夫婦のみ)」が5割以上となっています。

□ 年齢別 問4×問1

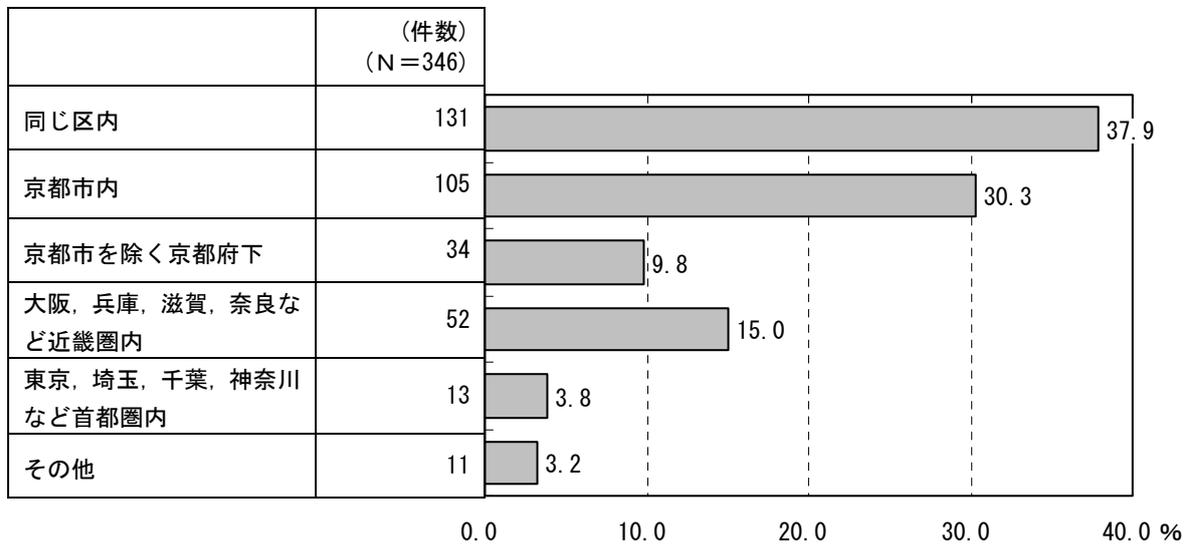


□ 居住地区別 問4×問3



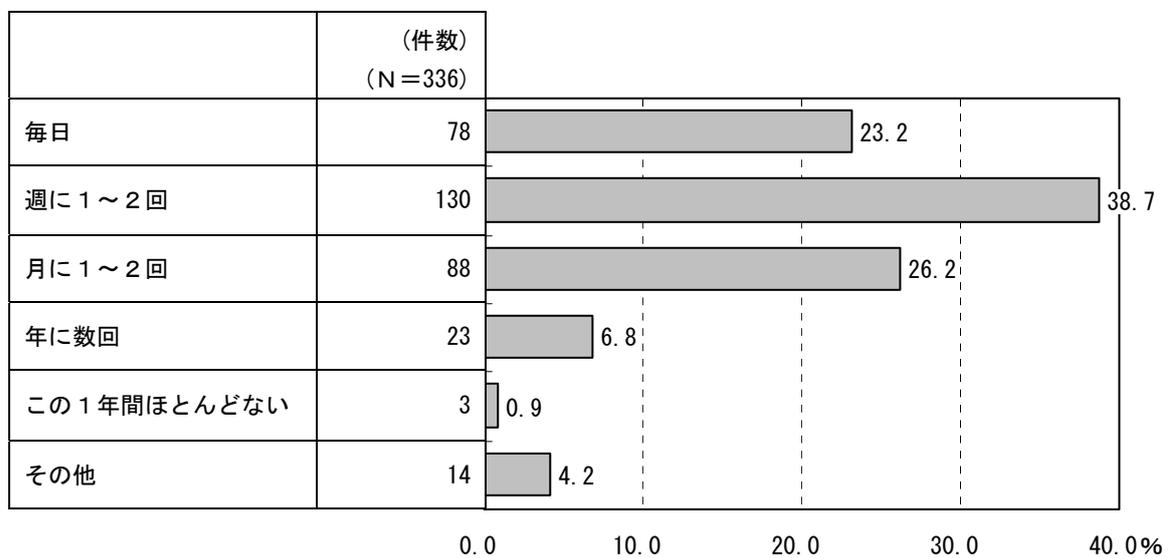
問4-2 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子はどこに住んでおられますか。(最も近くにお住まいの子の居住地1つに○)

子の住まいでは、「同じ区内」が 37.9%と最も高く、次いで「京都市内」が 30.3%となっています。



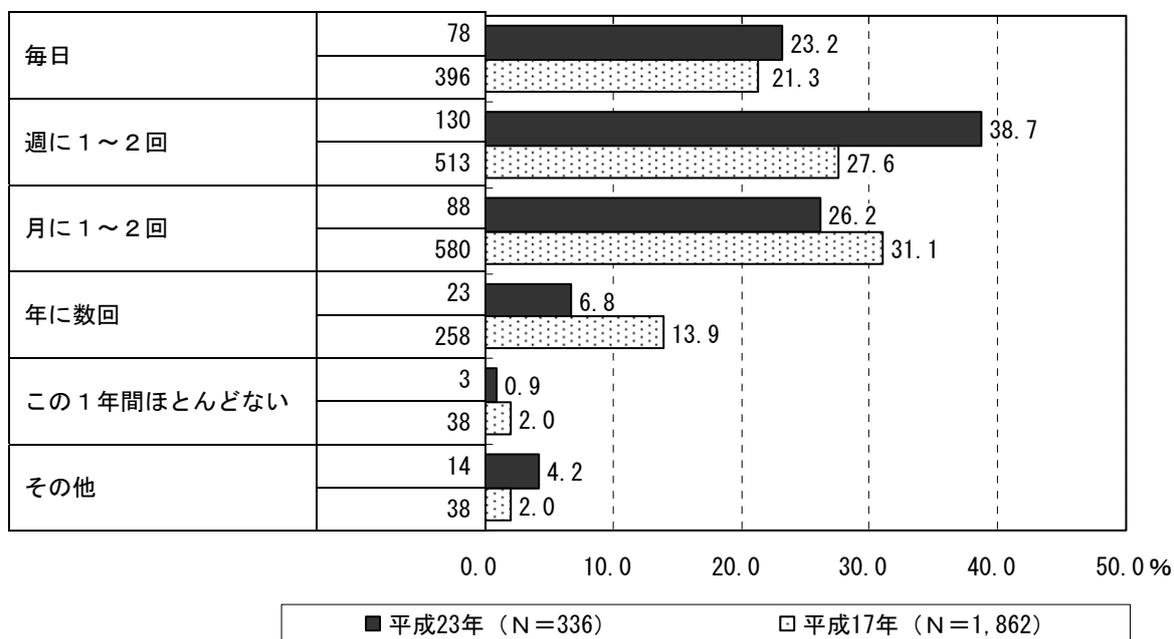
問4-3 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子との交流頻度は。(手紙や電話等も含みます。)(○は1つ)

子との交流頻度では、「週に1~2回」が 38.7%と最も高く、次いで「月に1~2回」が 26.2%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

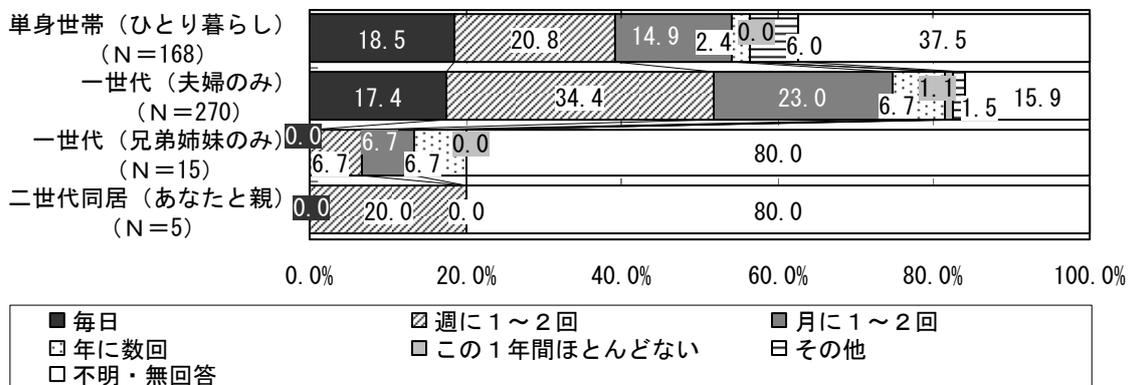
前回調査との比較では、前回より「月に1～2回」の割合が低くなったのに対して、「毎日」と「週に1～2回」の割合が高くなっています。



【クロス集計結果】

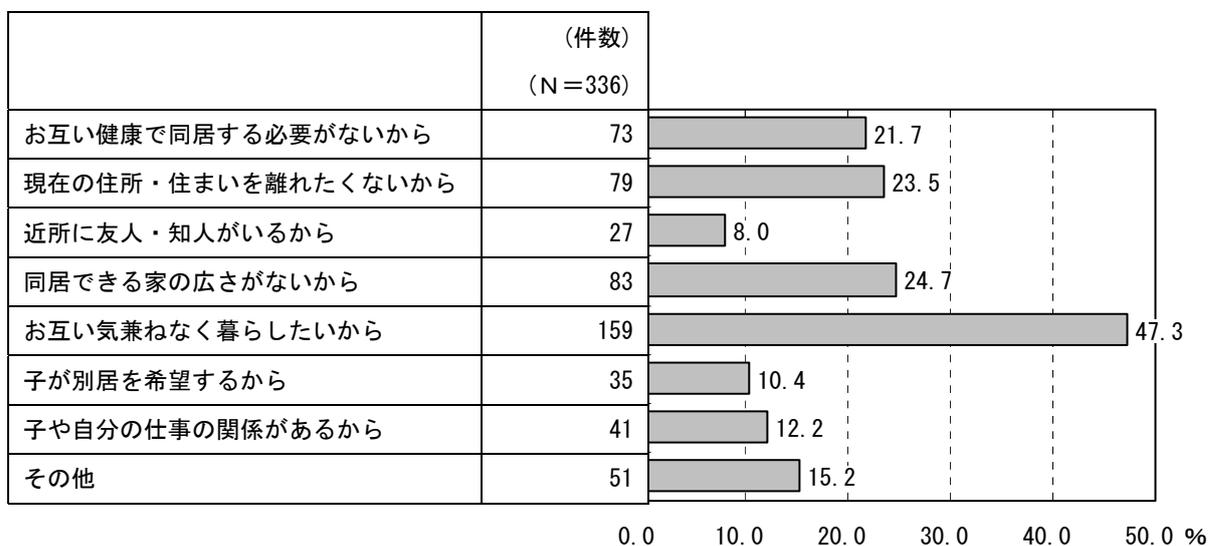
世帯構成別では、『一世代(夫婦のみ)』で「週に1～2回」の割合が特に高くなっています。

□ 世帯構成別 問4-3×問4



問4-4 子がいる方で、子と同居をしていない方のみ 子と同居していない理由は。(○は3つまで)

子と同居していない理由では、「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が47.3%と最も高く、次いで「同居できる家の広さがないから」が24.7%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』と『一世代（夫婦のみ）』で「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が3割以上と、特に高くなっています。

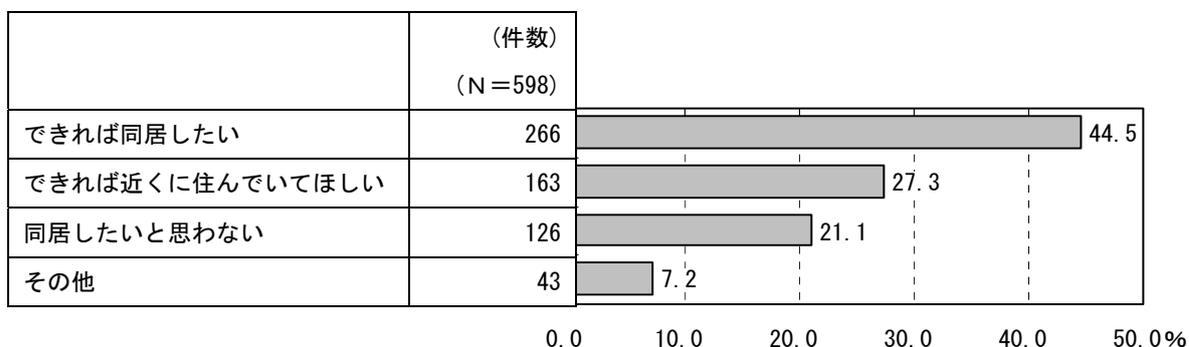
□ 世帯構成別 問 4-4×問4

単位：%

	回答者数(N)	お互い健康で同居する必要がないから	現在の住所・住まいを離れたいから	近所に友人・知人がいるから	同居できる家の広さがないから	お互い気兼ねなく暮らしたいから	子が別居を希望するから	子や自分の仕事の関係があるから	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=168	11.3	19.6	6.5	19.0	34.5	6.5	4.2	10.1	33.9
一世代(夫婦のみ)	N=270	20.0	17.0	5.9	18.9	37.4	8.5	12.2	11.9	18.1
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	80.0
二世帯同居(あなたと親)	N=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

問5 子がいる方のみ あなたは子と同居したい(し続けたい)ですか。(○は1つ)

子との同居希望では、「できれば同居したい」が 44.5%と最も高く、次いで「できれば近くに住んでいてほしい」が 27.3%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

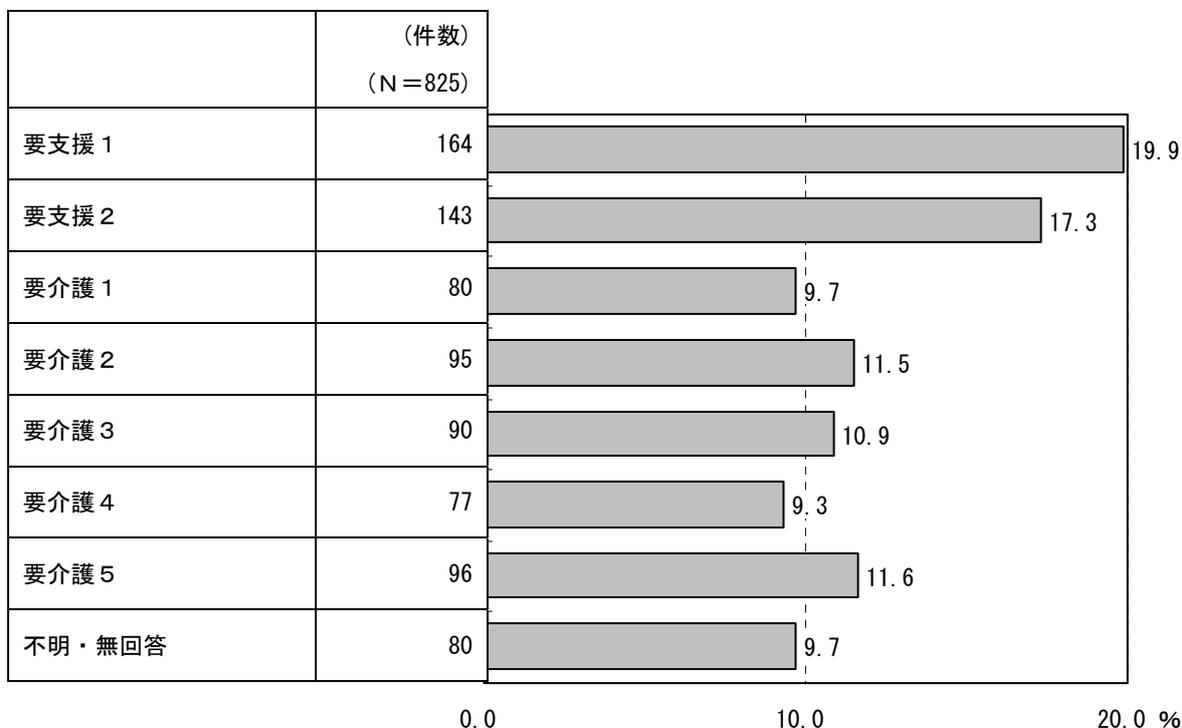
単位：%

	回答者数(N)	できれば同居したいと思う	同居したいと思わないが、近くに住んでいてほしい	同居したいと思わない	その他	わからない	不明・無回答
平成17年調査	N=1,862	10.3	53.6	25.0	4.3	3.2	3.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

問6 あなたの要介護度は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

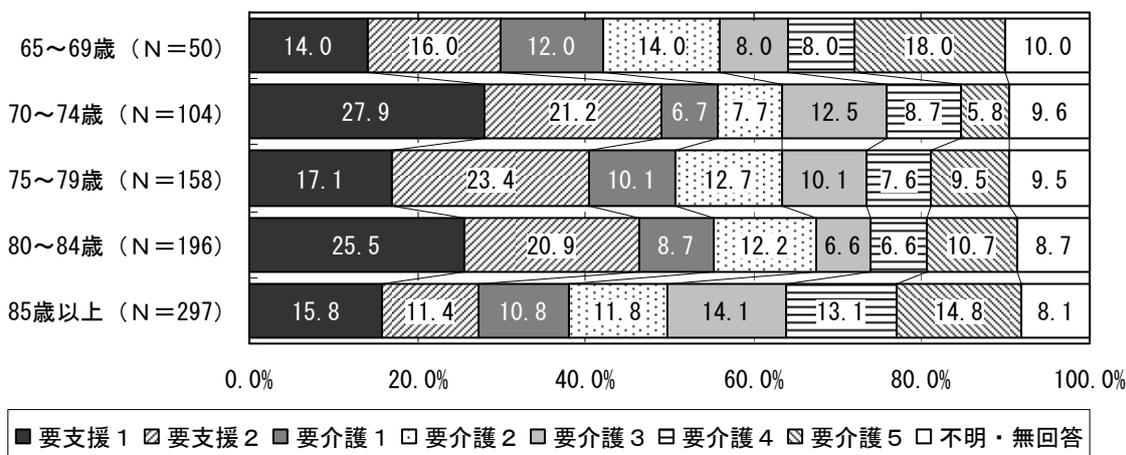
要介護度では、「要支援1」が19.9%と最も高く、次いで「要支援2」が17.3%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、『70～74歳』『75～79歳』『80～84歳』で「要支援1」と「要支援2」を合わせた軽度の割合が4割を超え、高くなっています。

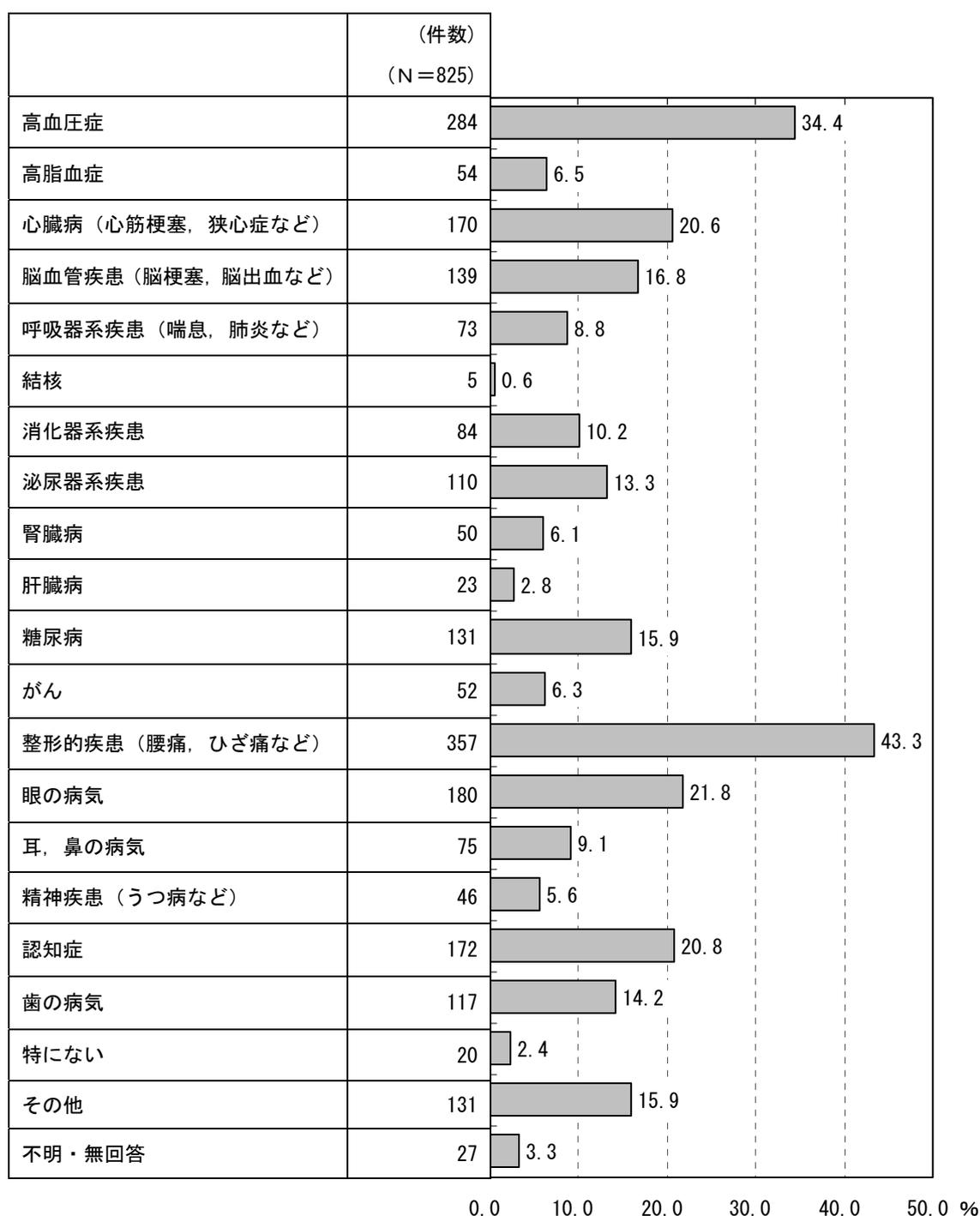
□ 年齢別 問6×問1



2 健康に関することについて

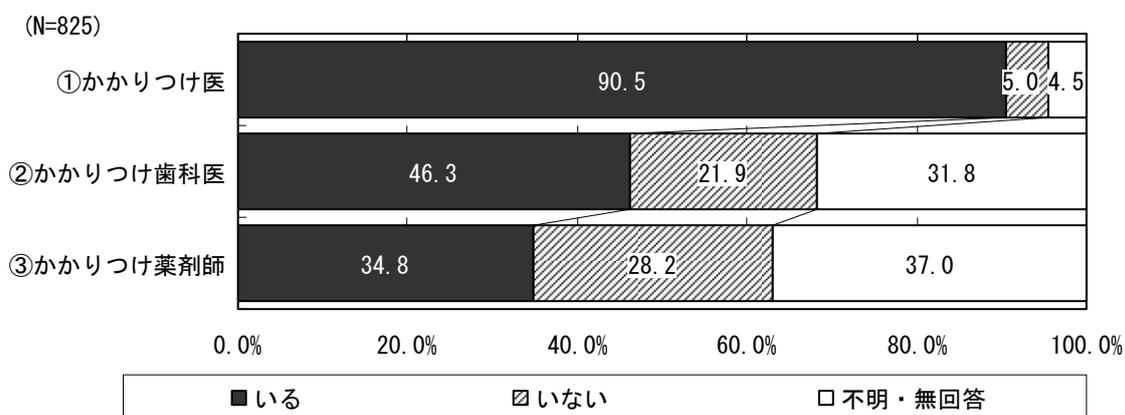
問7 あなたは現在、治療中又は日常生活に支障がある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

治療中または支障がある病気では、「整形的疾患（腰痛，ひざ痛など）」が43.3%と最も高く，次いで「高血圧症」が34.4%となっています。



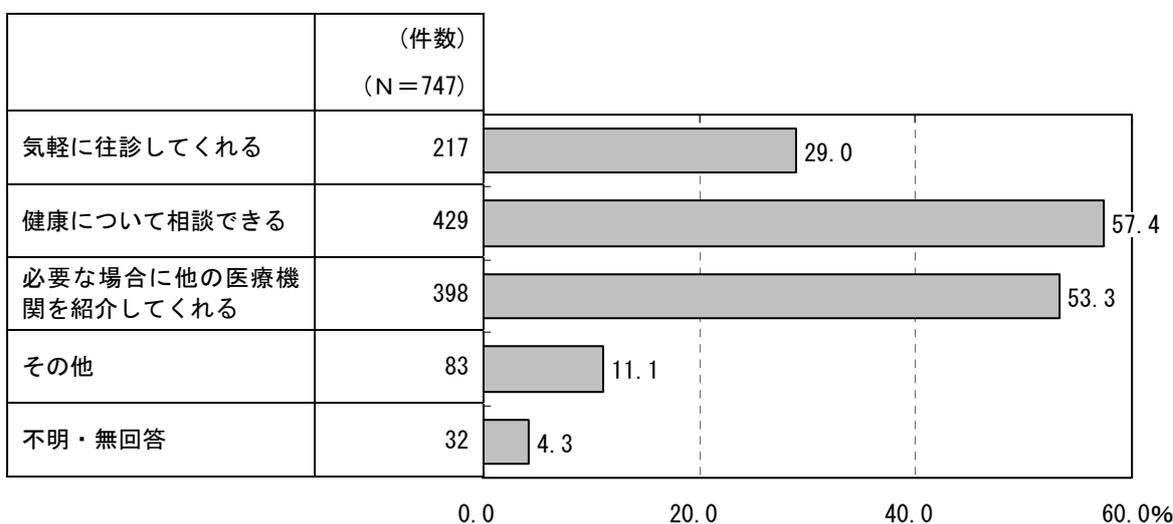
問8 あなたは、ふだんから健康について相談や指導を受けられる身近なかかりつけ医などはいませんか。(①～③のそれぞれについて、1.いる、2.いない のどちらか1つに○)

かかりつけ医の有無では、『①かかりつけ医』の「いる」が90.5%と特に高く、『②かかりつけ歯科医』の「いる」が46.3%、『③かかりつけ薬剤師』の「いる」が34.8%となっています。



問8-2 かかりつけ医がいる方のみ その方はどのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

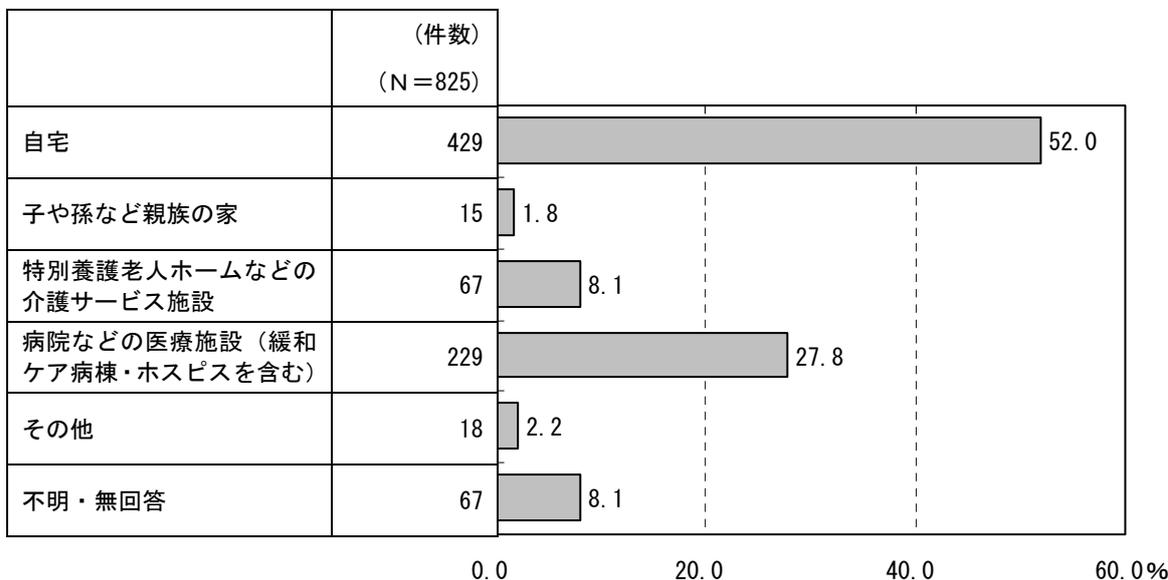
かかりつけ医がどのような方かでは、「健康について相談できる」が57.4%と最も高く、次いで「必要な場合に他の医療機関を紹介してくれる」が53.3%となっています。



問9 心身両面からの医療・介護を行い、個人の尊厳の保障に重点をおく「ターミナルケア」や「緩和ケア」という考え方があります。

このようなケアを受けられるとすれば、あなたは、人生の終末をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

人生の終末の迎えかたでは、「自宅」が 52.0%と最も高く、次いで「病院などの医療施設(緩和ケア病棟・ホスピスを含む)」が 27.8%となっています。



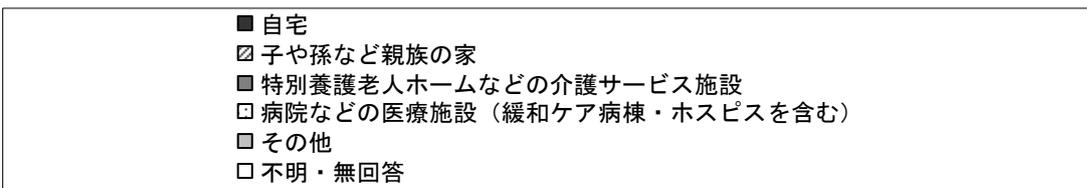
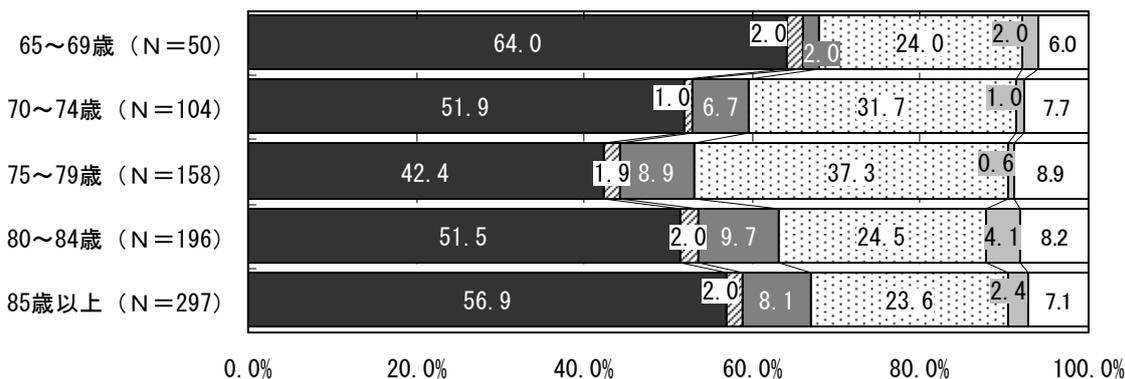
【クロス集計結果】

年齢別では、『75～79歳』で「自宅」の割合が低くなっています。

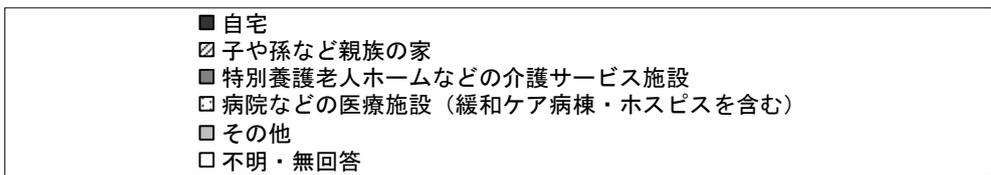
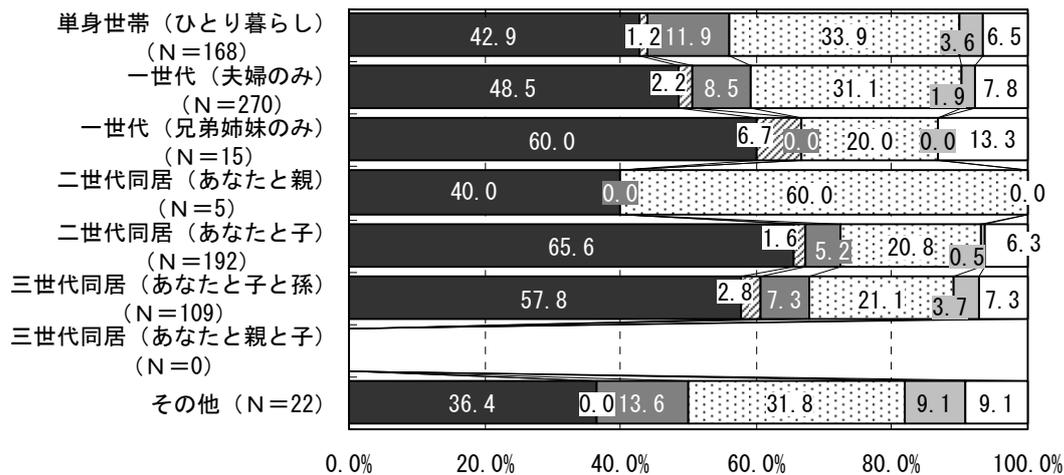
世帯構成別では、『二世帯同居(あなたと子)』で「自宅」の割合が高くなっています。

居住地区別では、『西京区(洛西支所)』で「自宅」が3割弱と低いのに対して、「特別養護老人ホームなどの介護サービス施設」の割合が高くなっています。

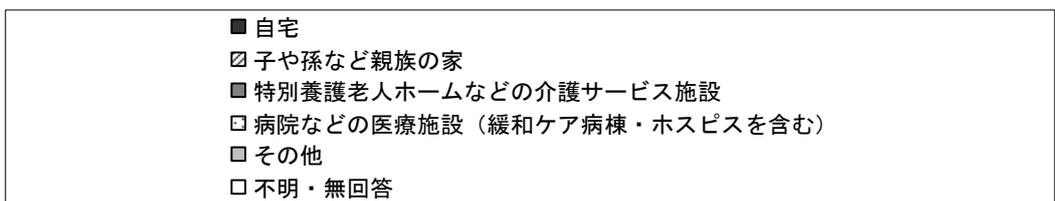
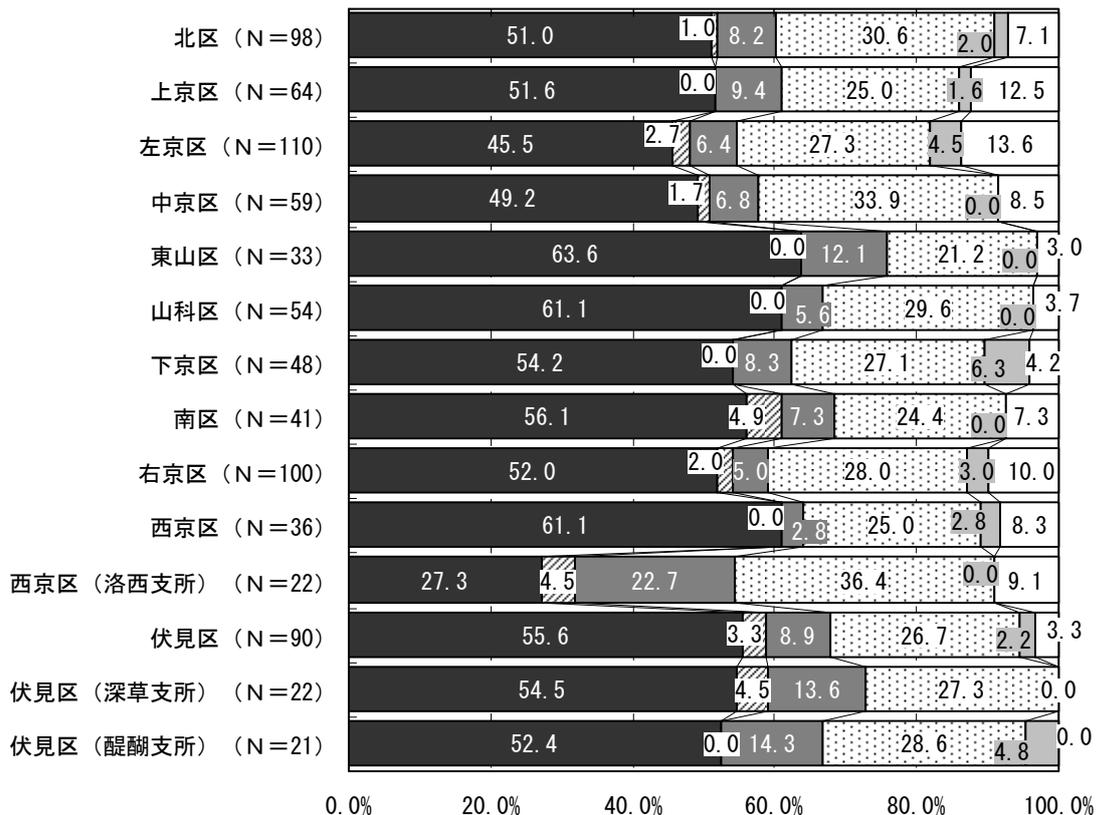
□ 年齢別 問9×問1



□ 世帯構成別 問9×問4



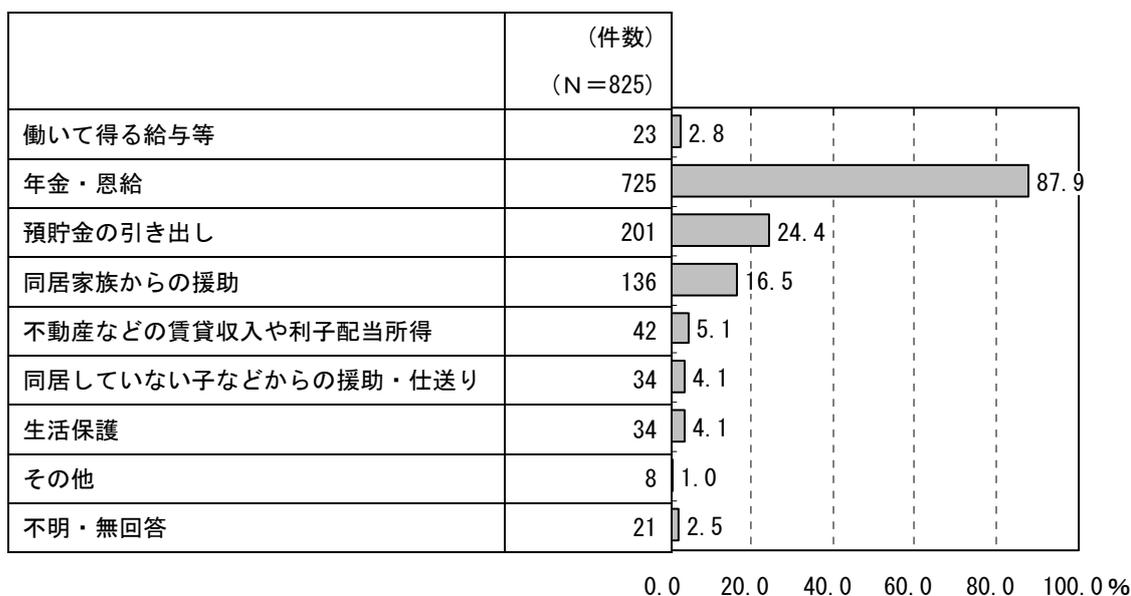
□ 居住地区別 問9×問3



3 収入に関することについて

問10 あなたは生活費をどのようにして得ていますか。(○は3つまで)

生活費をどのようにして得ているかでは、「年金・恩給」が87.9%と最も高く、次いで「預貯金の引き出し」が24.4%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、平成19年調査より「年金・恩給」の割合が低くなっているのに対して、「預貯金の引き出し」の割合が高くなっています。

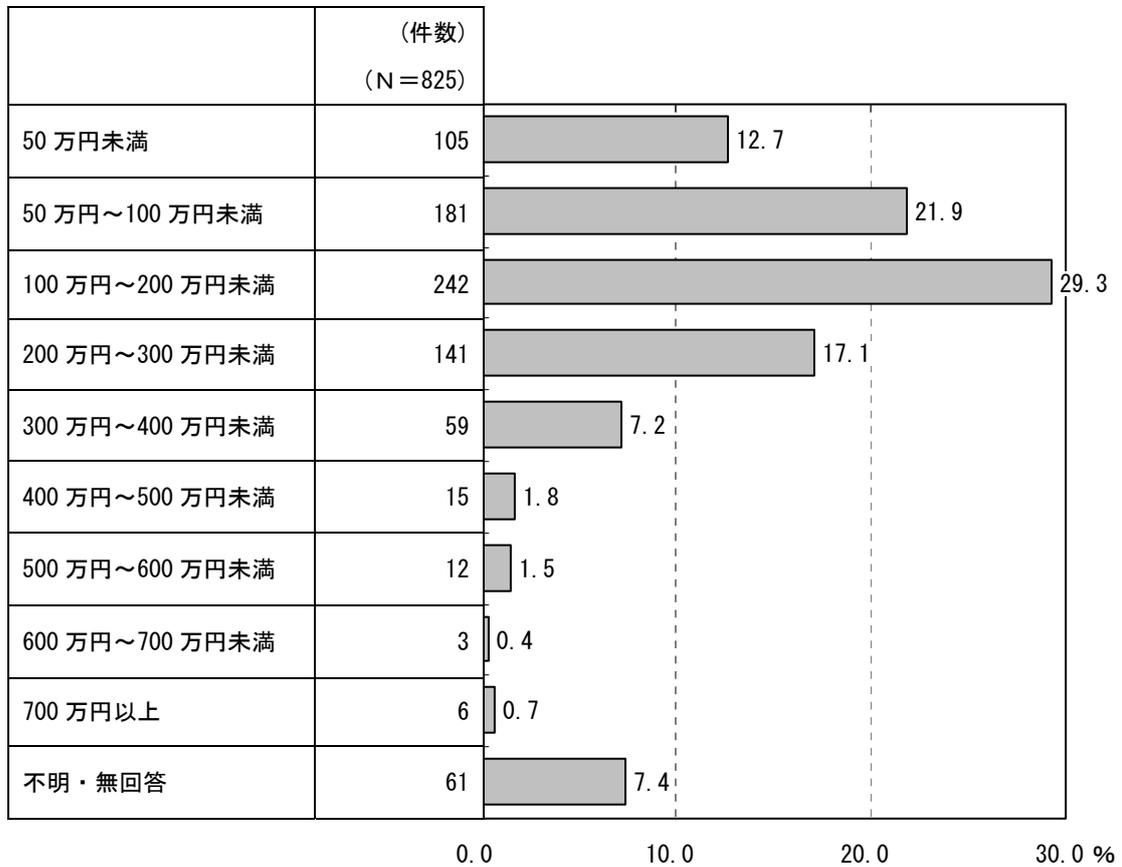
単位：%

	回答者数(N)	働いて得る給与等	国民年金など公的年金	恩給	企業年金等私的年金	預貯金の引き出し	持家などの賃貸収入や利子配当所得	同居家族の収入	子どもからの援助	生活保護	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=670	2.9	86.3	6.6	4.1	12.6	3.7	13.4	5.1	3.2	0.6	2.5
平成17年調査	N=3,633	25.5	75.9	3.1	9.5	18.0	6.8	14.1	3.4	2.6	2.0	2.3

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

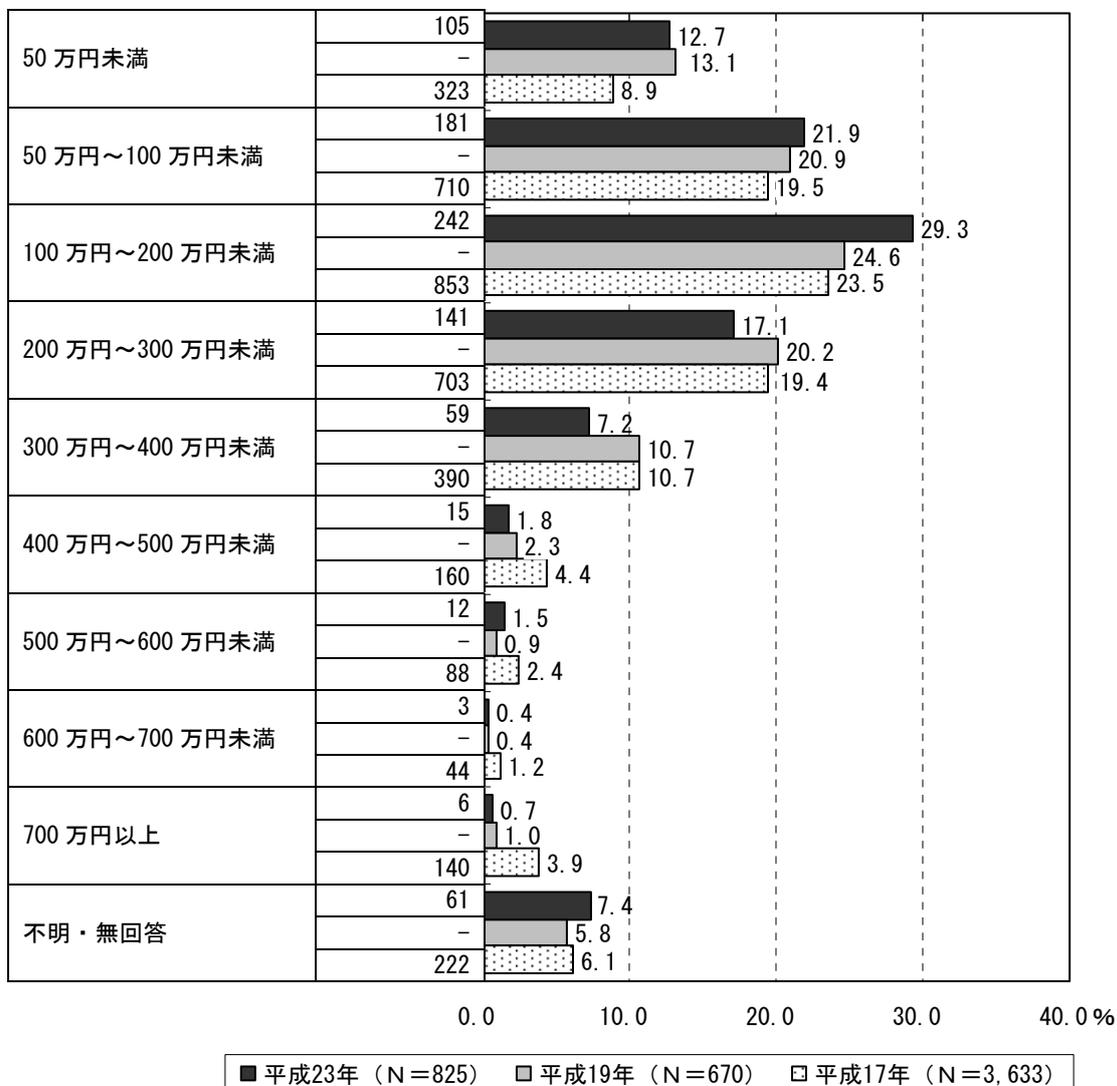
問11 あなた個人の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

個人の総年収では、「100万円～200万円未満」が29.3%と最も高く、次いで「50万円～100万円未満」が21.9%となっています。



【前回調査との比較】（平成 17 年調査は参考）

前回調査との比較では、前回より「200万円～300万円未満」の割合が低くなっているのに対して「50万円～100万円未満」と「100万円～200万円未満」の割合が高くなっています。また、「700万円以上」の割合は年々低くなっています。



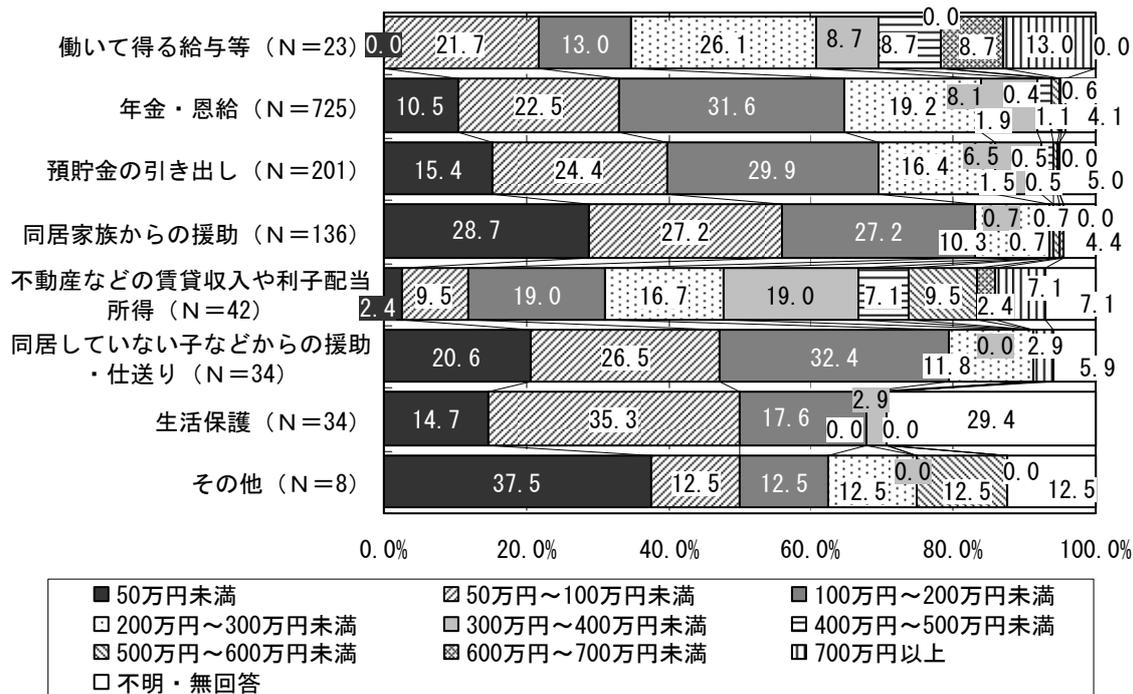
※調査対象等が異なるため、比較時には注意

※平成 19 年調査の回答数についてはデータがないため、未表記となっています

【クロス集計結果】

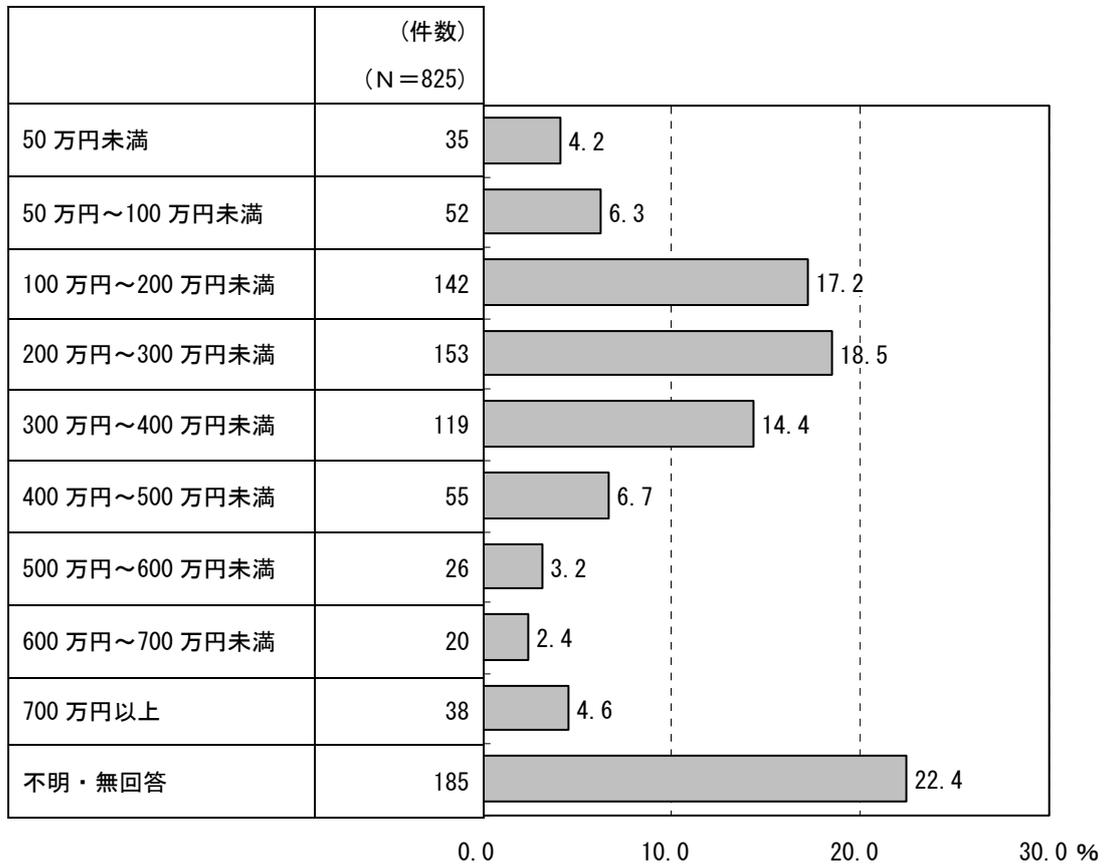
収入源別では、『働いて得る給与等』で「200万円～300万円未満」の割合が高く、『年金・恩給』と『預貯金の引き出し』、『同居していない子などからの援助・仕送り』では「100万円～200万円未満」の割合が高くなっています。また、『同居家族からの援助』では「50万円未満」の割合が高く、『不動産などの賃貸収入や利子配当所得』では他の世帯と比べて200万円以上の割合が高くなっています。

□ 収入源別 問11×問10



問12 あなたの世帯(同居して同一生計を営む世帯)の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(〇は1つ)

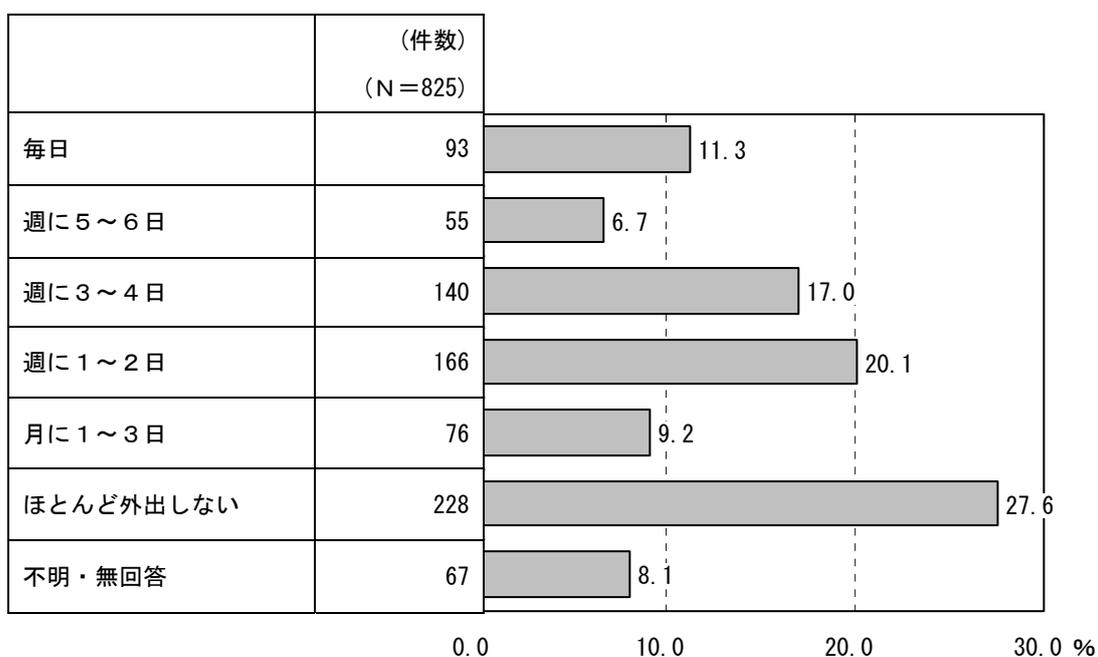
世帯の総収入では、「200万円～300万円未満」が18.5%と最も高く、次いで「100万円～200万円未満」が17.2%となっています。



4 近所づきあい・外出に関することについて

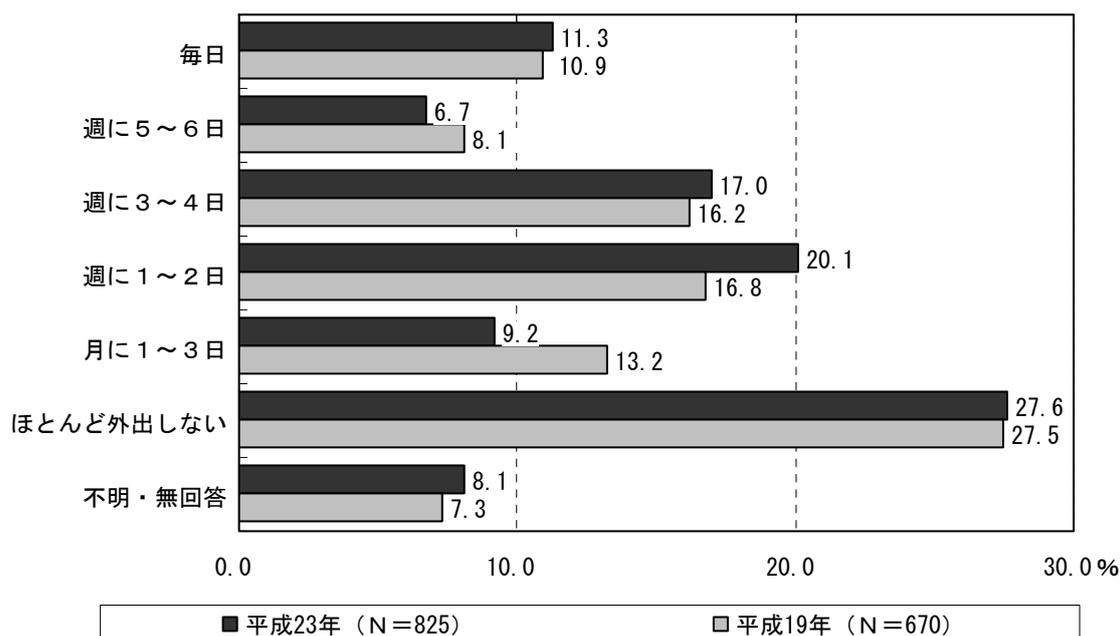
問13 あなたの外出頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

外出頻度では、「ほとんど外出しない」が 27.6%と最も高く、次いで「週に1～2日」が 20.1%となっています。



【前回調査との比較】

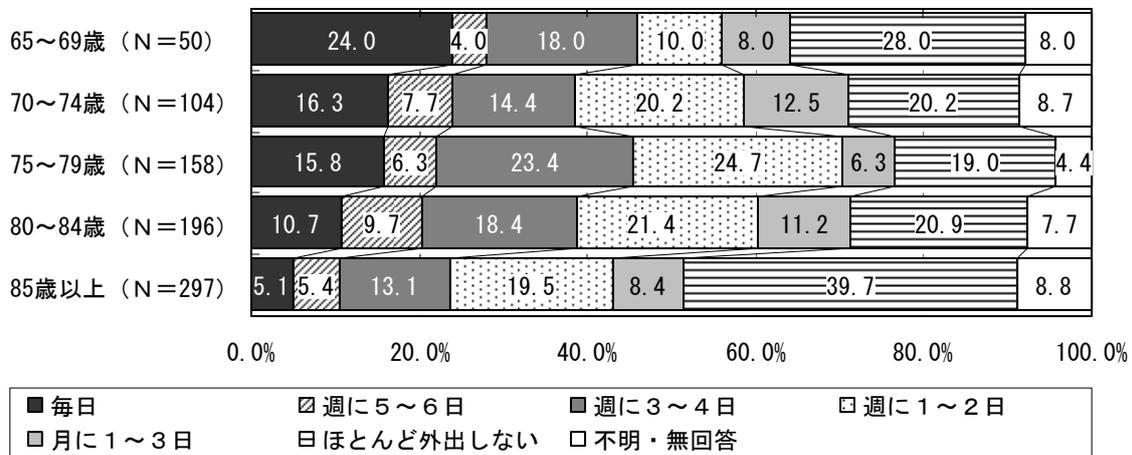
前回調査との比較では、前回よりも「月に1～3日」の割合が低くなっているのに対して、「週に1～2日」の割合が高くなっています。



【クロス集計結果】

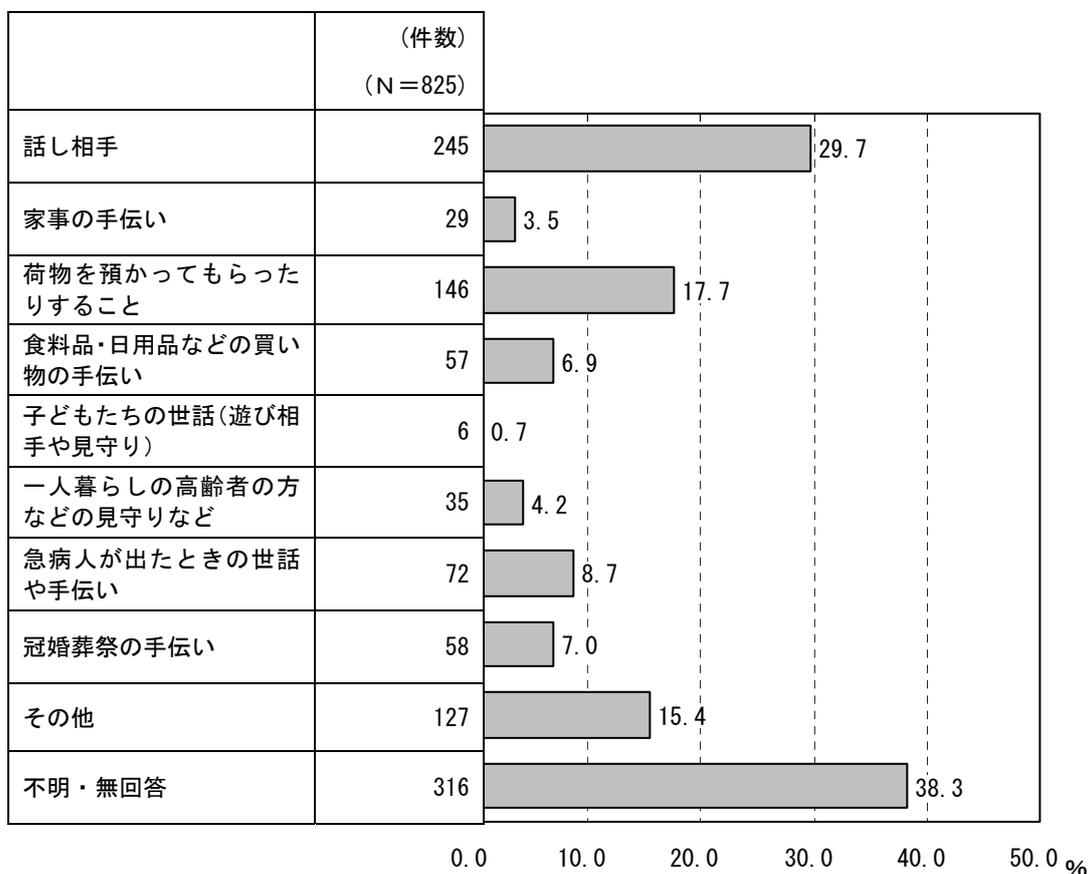
年齢別では、年代が上がるにつれて「毎日」の割合が低くなっています。また、『85歳以上』で「ほとんど外出しない」の割合が特に高くなっています。

□ 年齢別 問13×問1



問14 あなた自身がお近所に頼むことができそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

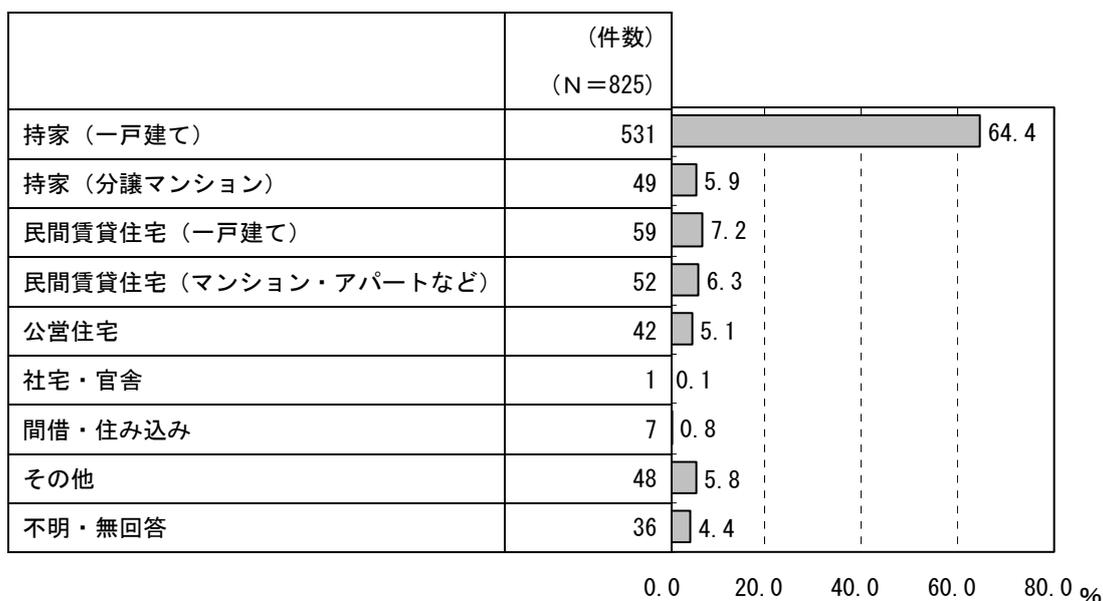
近所に頼むことができそうなことでは、「話し相手」が29.7%と最も高く、次いで「荷物を預かってもらったりすること」が17.7%となっています。



5 住まいに関することについて

問15 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

現在の住まいでは、「持家（一戸建て）」が64.4%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（一戸建て）」が7.2%となっています。



【前回調査との比較】（平成17年調査は参考）

前回調査との比較では、平成19年調査より「持家（一戸建て）」の割合が低くなっています。

単位：%

	回答者数(N)	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	不明・無回答
平成19年調査	N=670	71.9	5.2	5.3	4.8	4.4	0.0	0.3	3.3	4.9

	回答者数(N)	持家（一戸建て）	持家（長屋棟）	持家（マンション）	民間の貸家（一戸建て）	民間の貸家（長屋棟）	民間の貸家（木造アパート・文化住宅）	民間の貸家（マンション）	府営・市営住宅	公団・公社の賃貸住宅
平成17年調査	N=3,633	63.3	6.8	6.0	5.0	2.9	2.4	2.7	4.0	2.1

	回答者数(N)	社宅・公務員住宅など	間借り	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,633	0.2	0.3	1.7	2.7

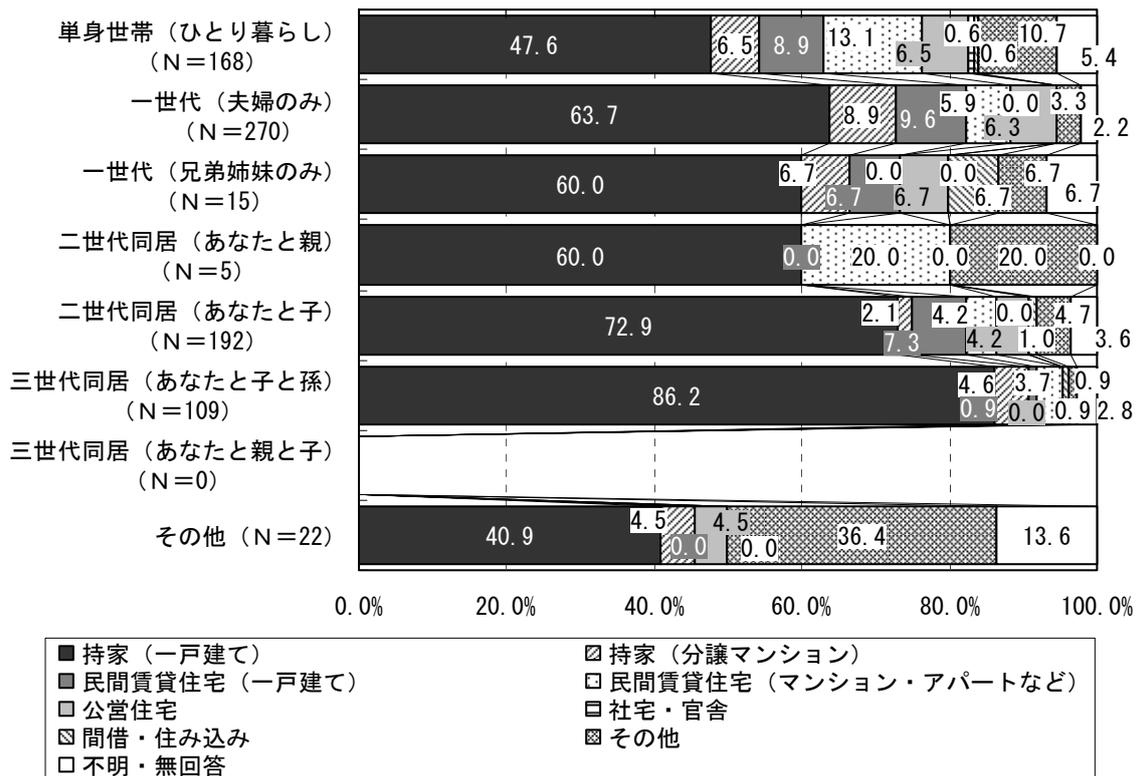
※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

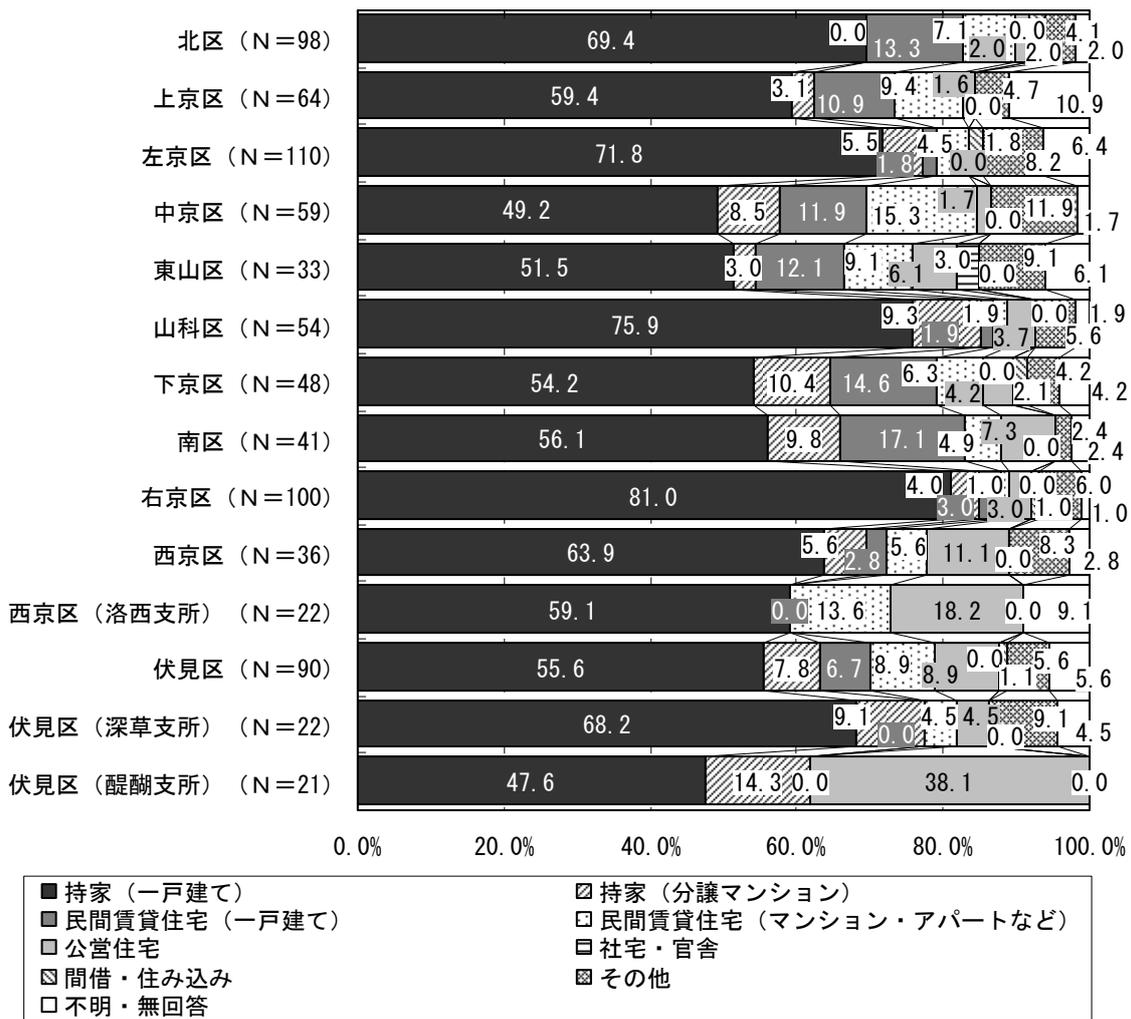
世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』で「持家（一戸建て）」が5割弱に対して、『三世帯同居（あなたと子と孫）』では9割近くとなっています。

居住地区別では、『右京区』で「持家（一戸建て）」が8割強と高くなっているのに対して、『伏見区(醍醐支所)』では「持家（一戸建て）」が5割弱と低くなっています。また、『伏見区(醍醐支所)』では「公営住宅」の割合が4割弱と特に高くなっています。

□ 世帯構成別 問 15×問4

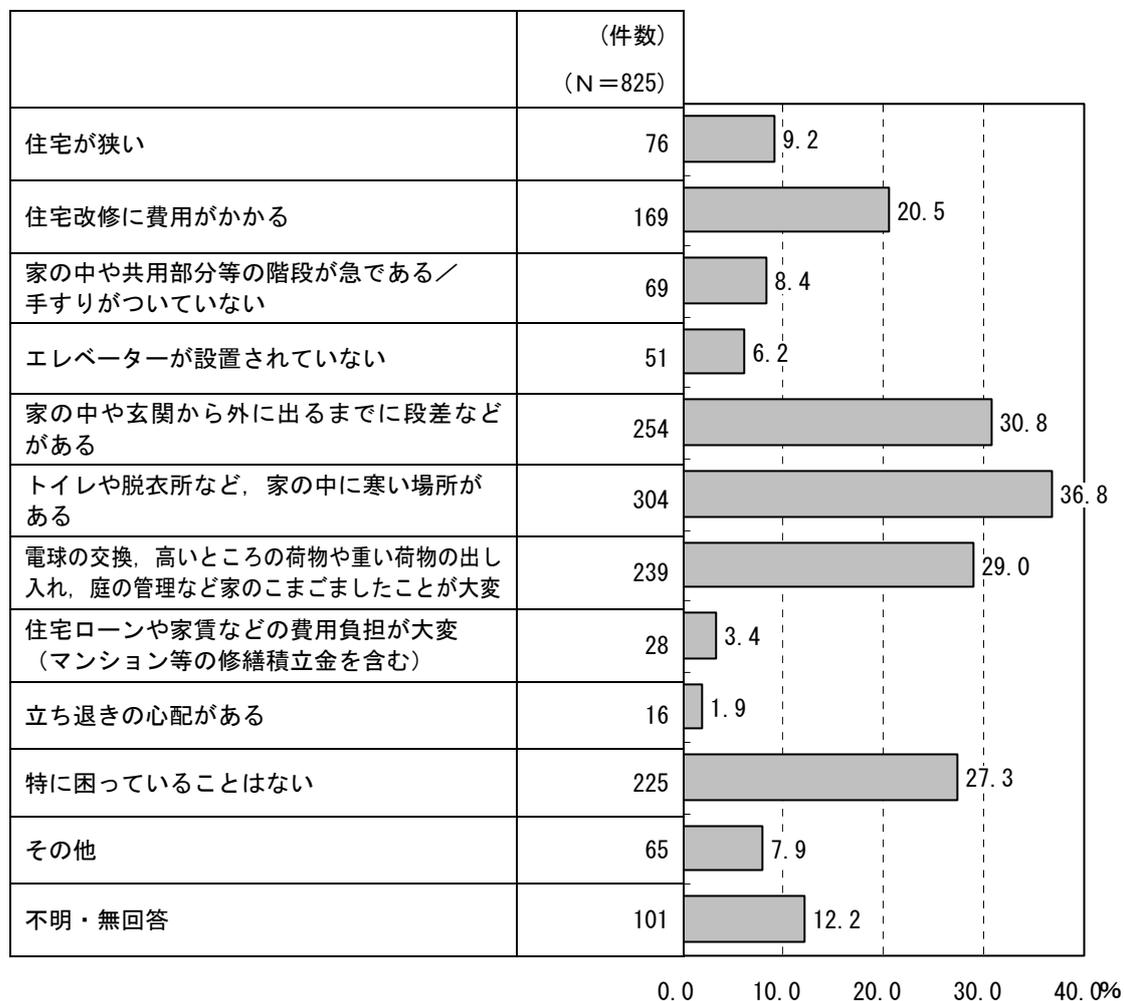


□ 居住地区別 問 15×問3



問16 現在のお住まいについて困りごとはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

住まいについての困りごとでは、「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が36.8%と最も高く、次いで「家の中や玄関から外に出るまでに段差などがある」が30.8%となっています。



【クロス集計結果】

住まいの形態別では、『持家（分譲マンション）』で「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」の割合が特に低くなっています。

□ 住まいの形態別 問 16×問 15

単位：%

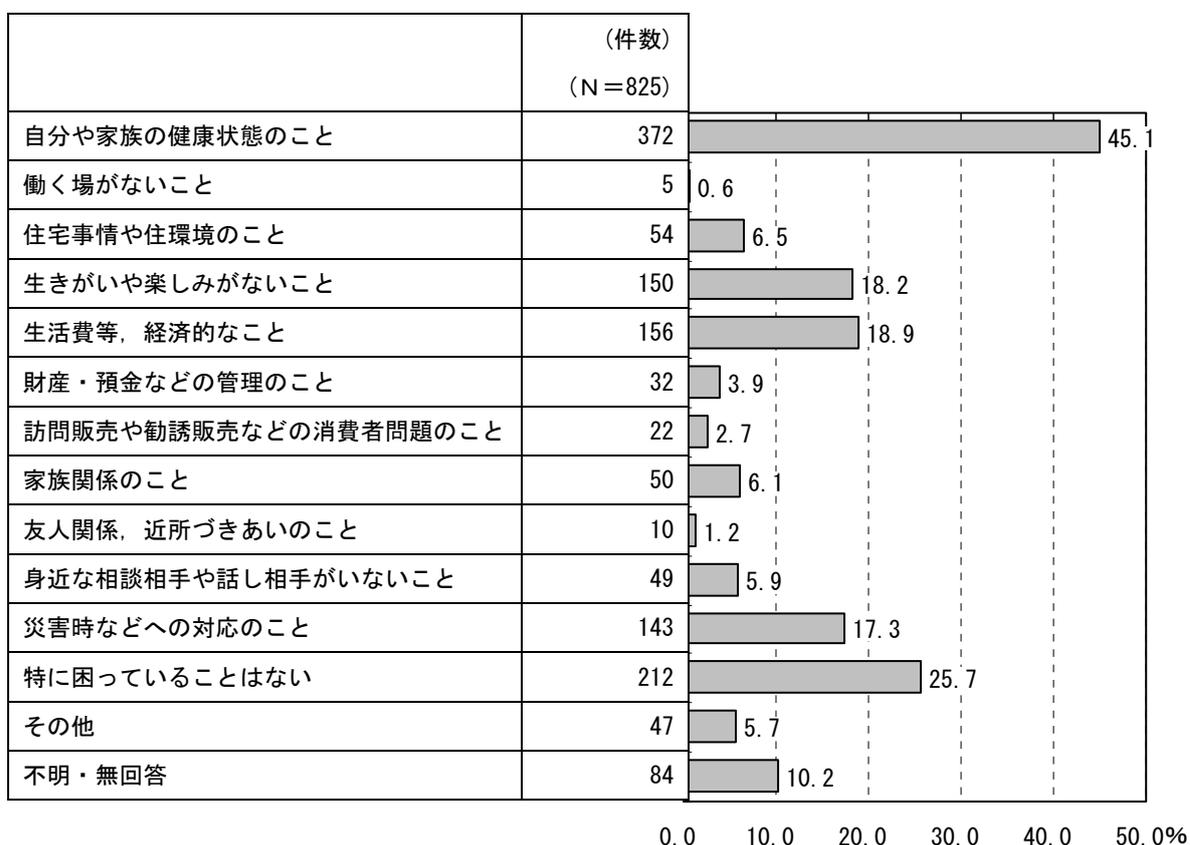
	回答者数(N)	住宅が狭い	住宅改修に費用がかかる	家の中や共用部分等の階段が急である／手すりがついていない	エレベーターが設置されていない	家の中や玄関から外に出るまでに段差などがある	トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある
持家(一戸建て)	N=531	8.1	25.4	9.0	7.3	37.9	40.9
持家(分譲マンション)	N=49	4.1	14.3	2.0	2.0	14.3	18.4
民間賃貸住宅(一戸建て)	N=59	5.1	27.1	15.3	0.0	33.9	45.8
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	N=52	23.1	3.8	7.7	5.8	13.5	30.8
公営住宅	N=42	16.7	7.1	7.1	16.7	16.7	45.2
社宅・官舎	N=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
間借・住み込み	N=7	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	42.9
その他	N=48	12.5	10.4	6.3	2.1	16.7	20.8

	回答者数(N)	電球の交換、荷物の出し入れ、庭の管理など家のこまごまことが大変	住宅ローンや家賃などの費用負担が大変	立ち退きの心配がある	特に困っていることはない	その他	不明・無回答
持家(一戸建て)	N=531	31.8	1.1	0.4	29.4	7.3	8.3
持家(分譲マンション)	N=49	28.6	8.2	0.0	30.6	8.2	12.2
民間賃貸住宅(一戸建て)	N=59	30.5	8.5	13.6	23.7	8.5	5.1
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	N=52	28.8	15.4	3.8	15.4	5.8	7.7
公営住宅	N=42	26.2	7.1	0.0	31.0	9.5	7.1
社宅・官舎	N=1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
間借・住み込み	N=7	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3
その他	N=48	18.8	2.1	4.2	33.3	20.8	18.8

6 生活の困りごと・相談相手について

問17 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(〇は3つまで)

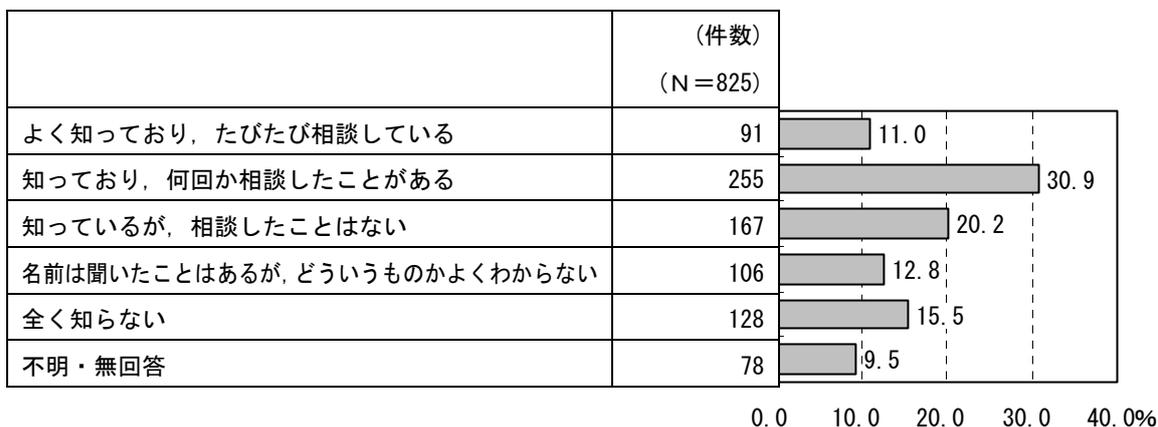
現在の生活で困っていることでは、「自分や家族の健康状態のこと」が45.1%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が25.7%となっています。



問18 地域包括支援センターは、高齢者の方の総合的な生活支援の窓口となるところであり、介護予防の拠点として、高齢者ご本人やご家族からの相談に応じる機関です。

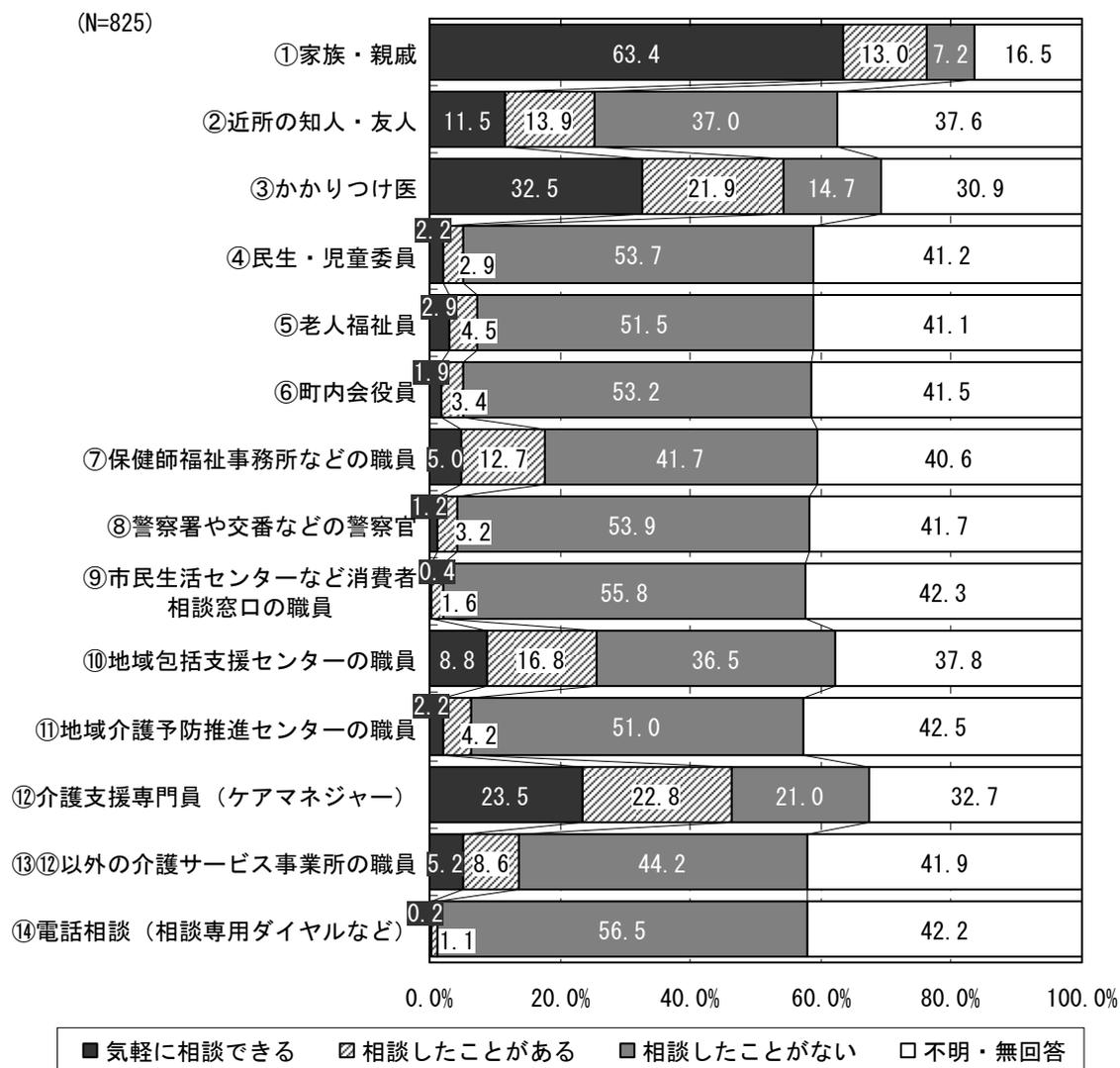
地域包括支援センターを知っていますか。また、相談したことはありますか。(〇は1つ)

地域包括支援センターの認知度では、「知っており、何回か相談したことがある」が30.9%と最も高く、次いで「知っているが、相談したことはない」が20.2%となっています。



問19 あなたに悩みや心配ごとがある場合、相談できる相手はどのような人ですか。(①～⑭のそれぞれについて、1.気軽に相談できる、2.相談したことがある、3.相談したことがない のどれか1つに○)

相談相手では、『①家族・親戚』の「気軽に相談できる」が63.4%と最も高く、次いで『③かかりつけ医』の「気軽に相談できる」が32.5%となっています。

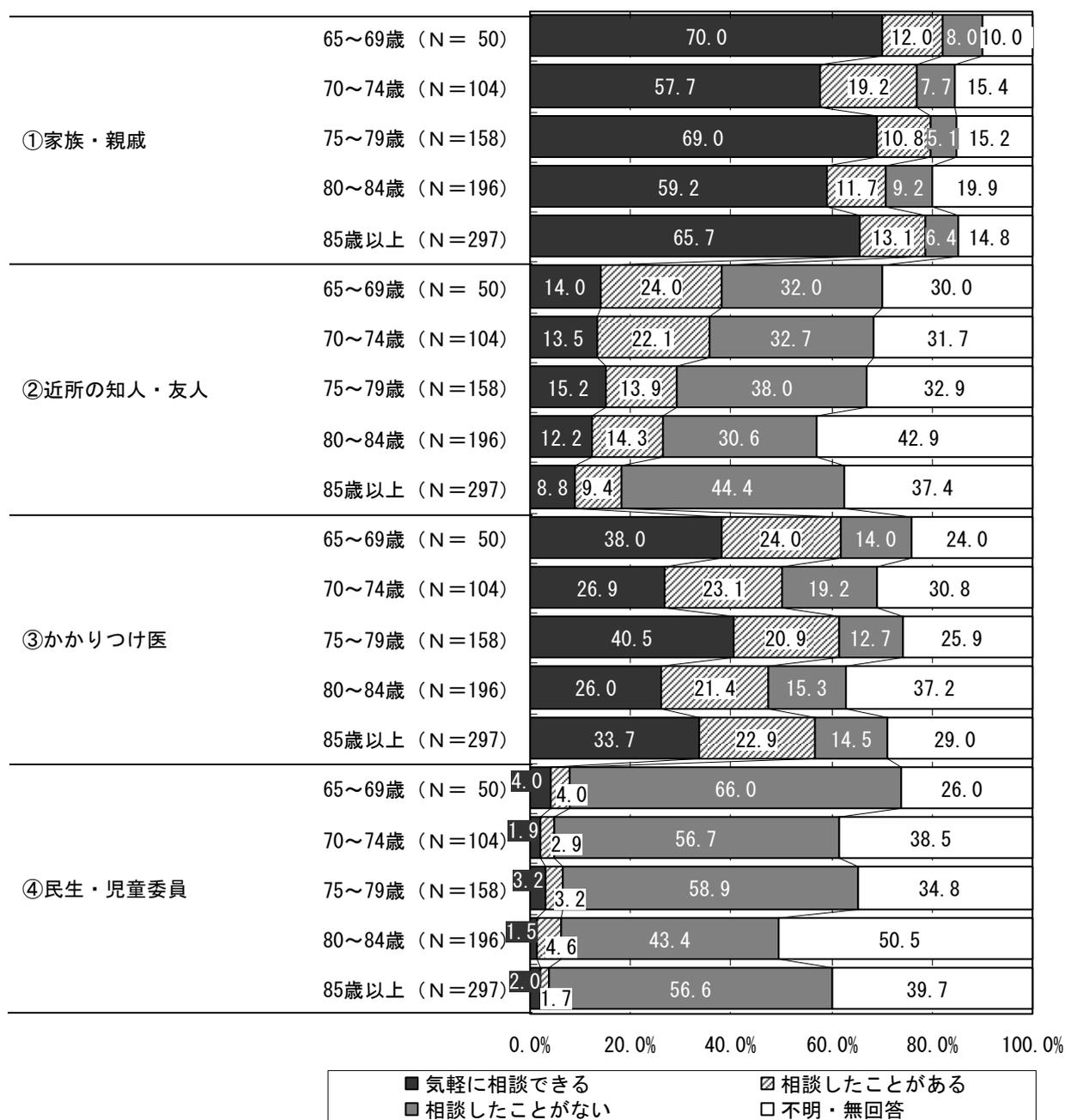


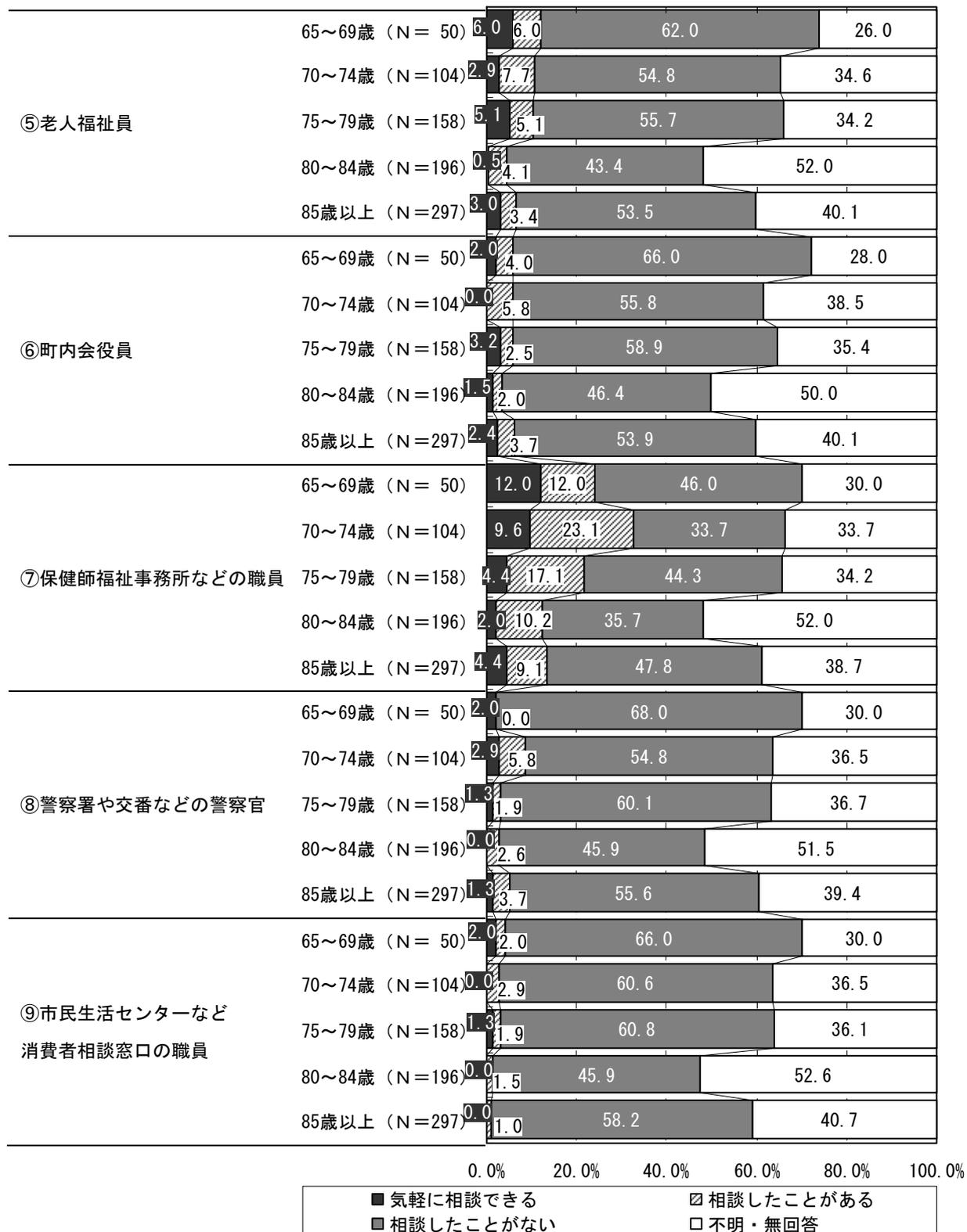
【クロス集計結果】

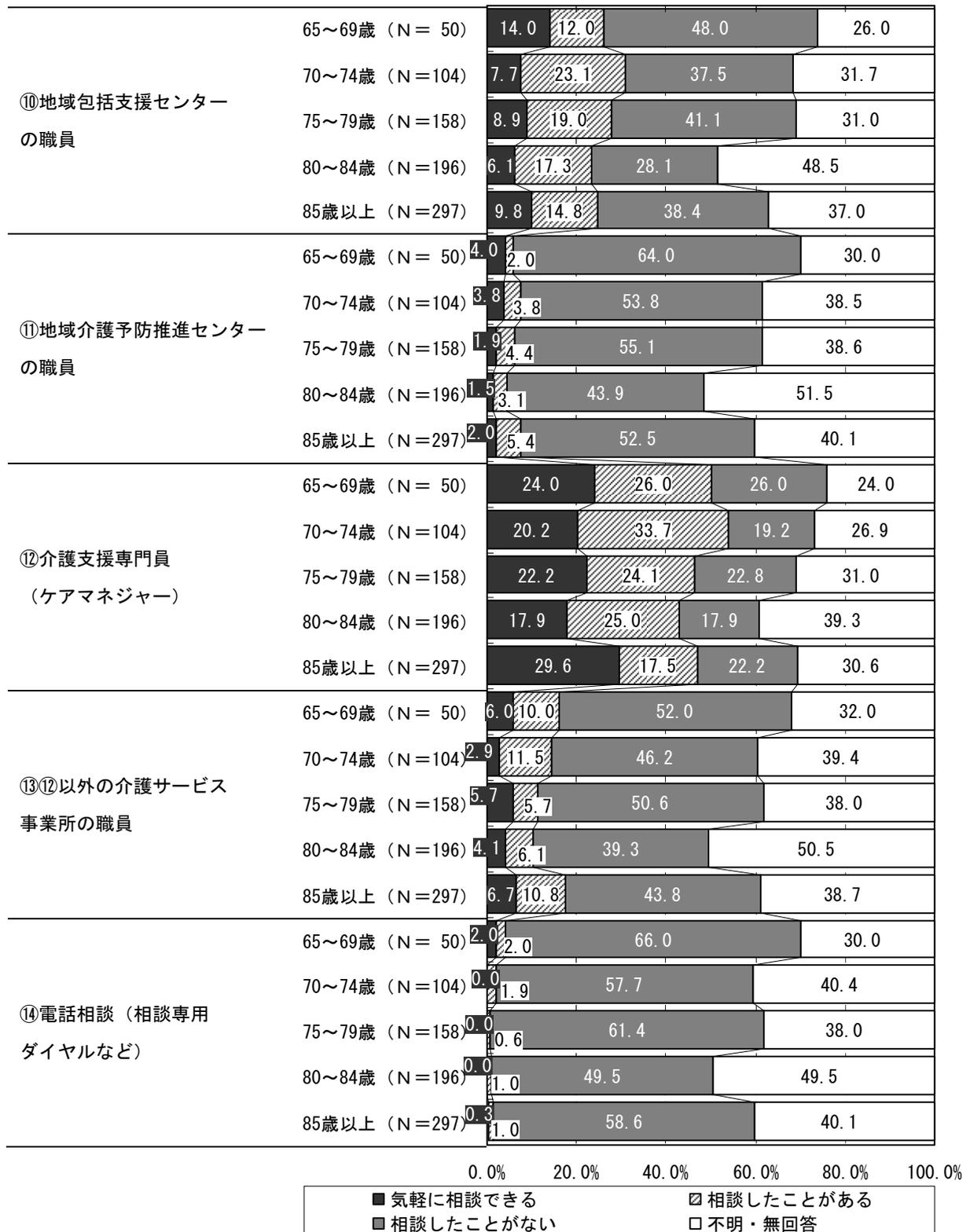
年齢別では、「①家族・親戚」「③かかりつけ医」「⑩介護支援専門員(ケアマネジャー)」において世代に関係なく「気軽に相談できる」割合が高くなっています。

世帯構成別では、「⑩介護支援専門員(ケアマネジャー)」に「気軽に相談できる」割合が『二世帯同居(あなたと子)』において低くなっています。

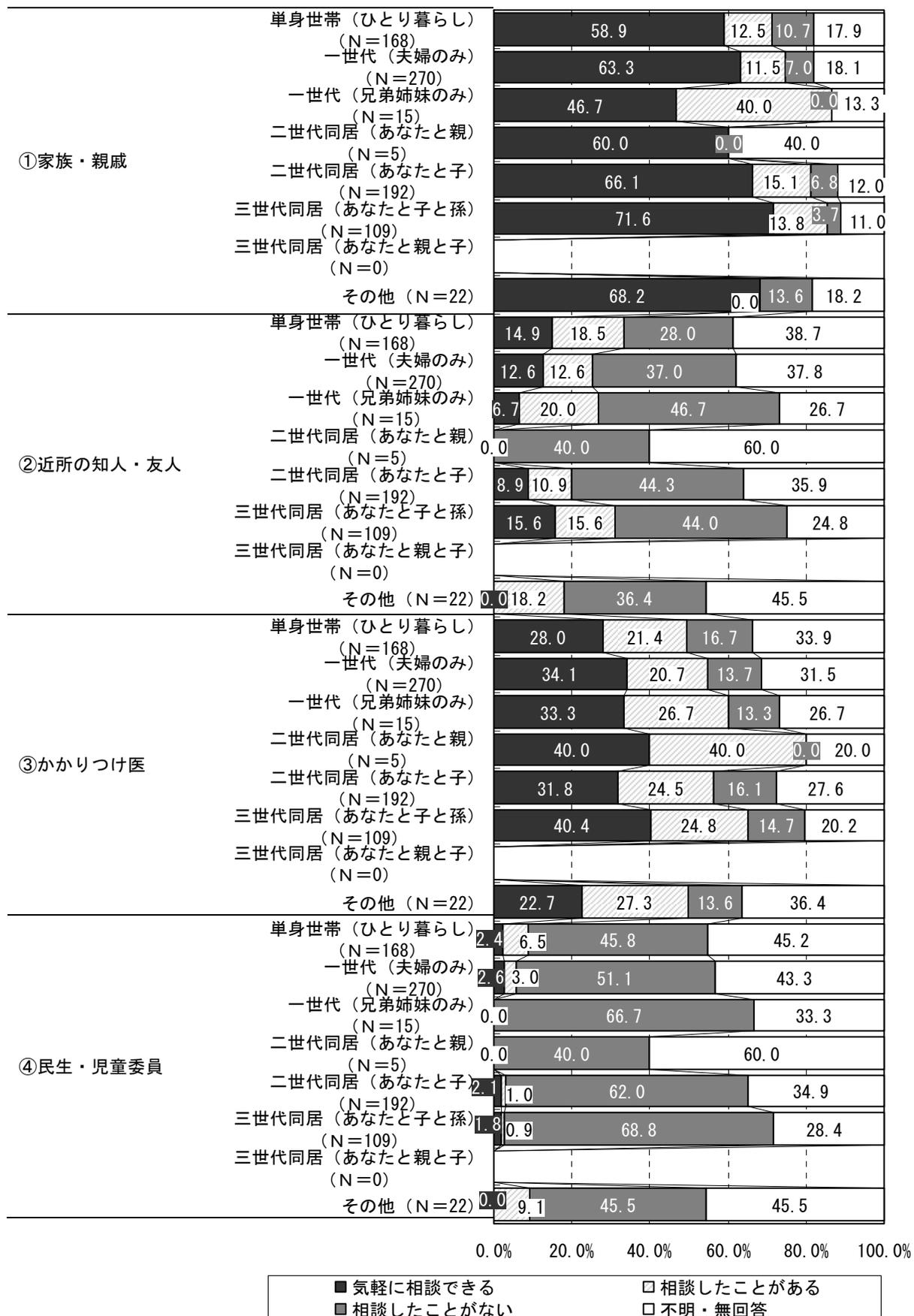
□ 年齢別 問19×問1

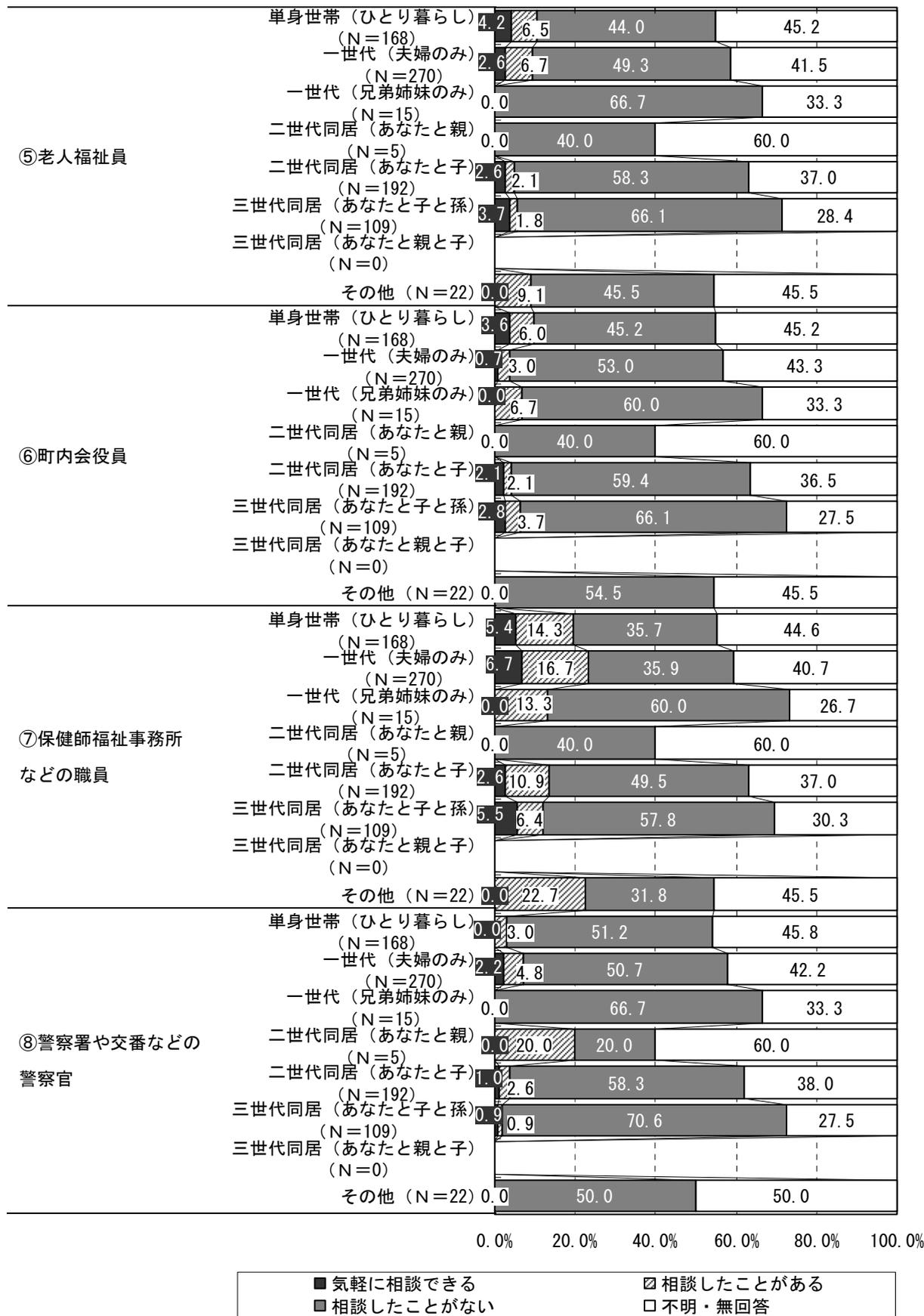


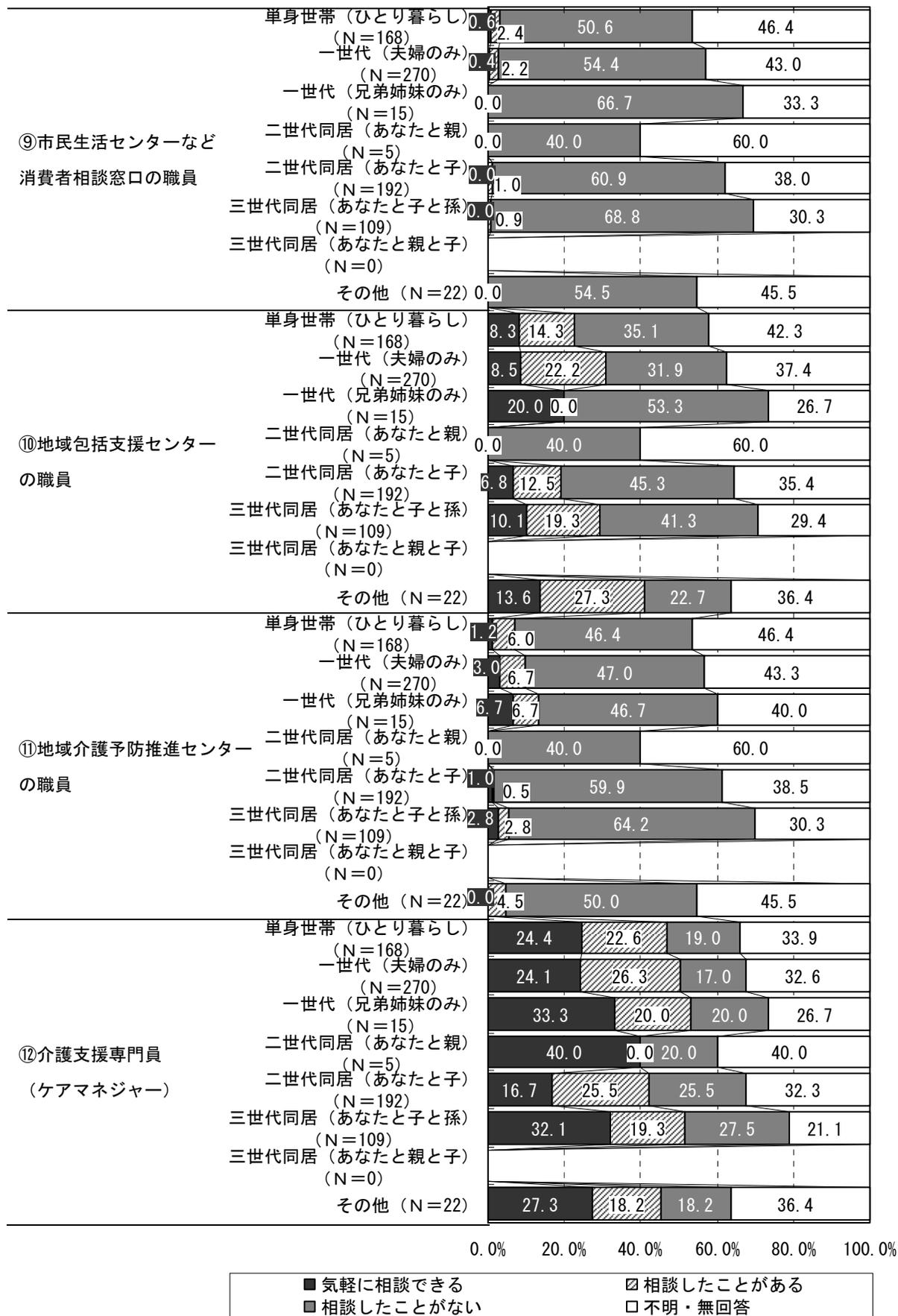


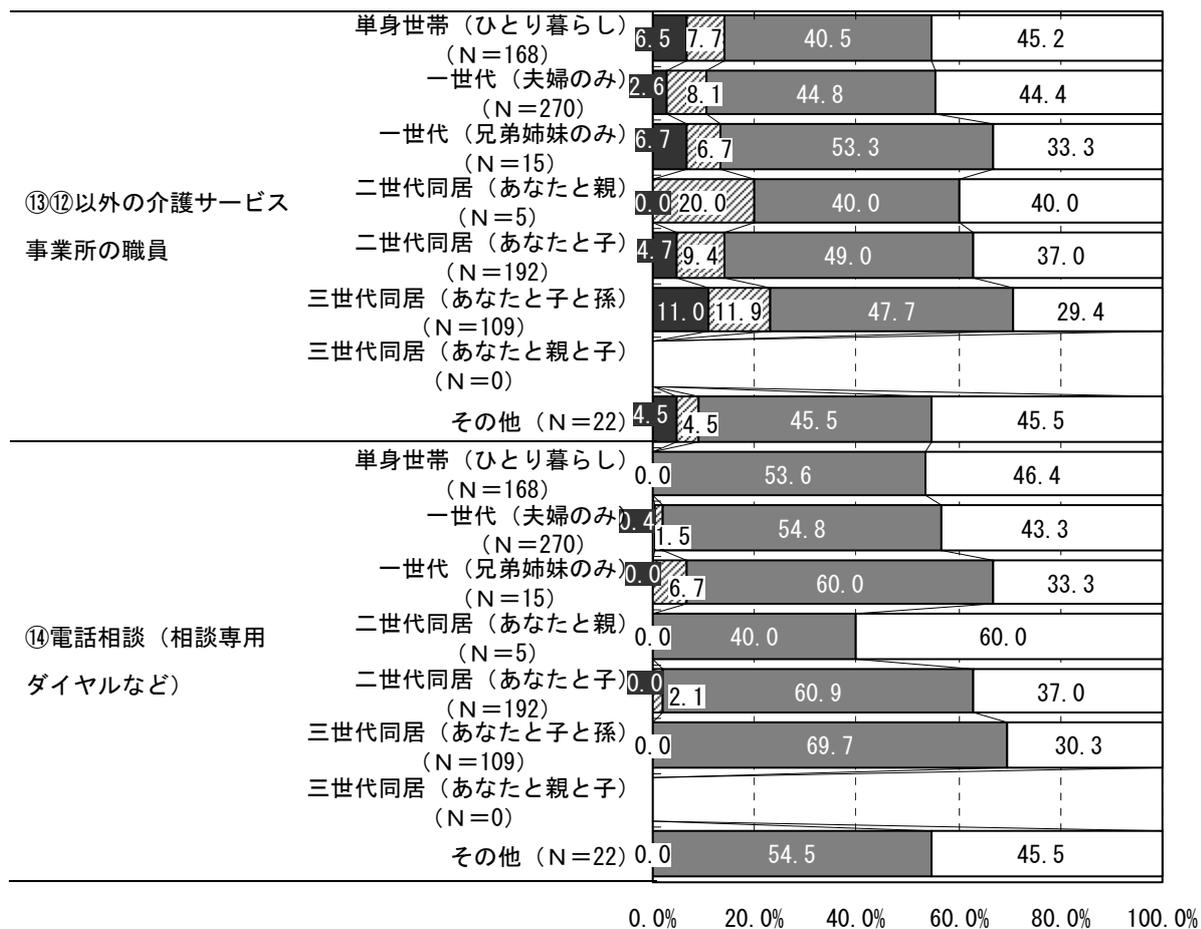


□ 世帯構成別 問 19×問4



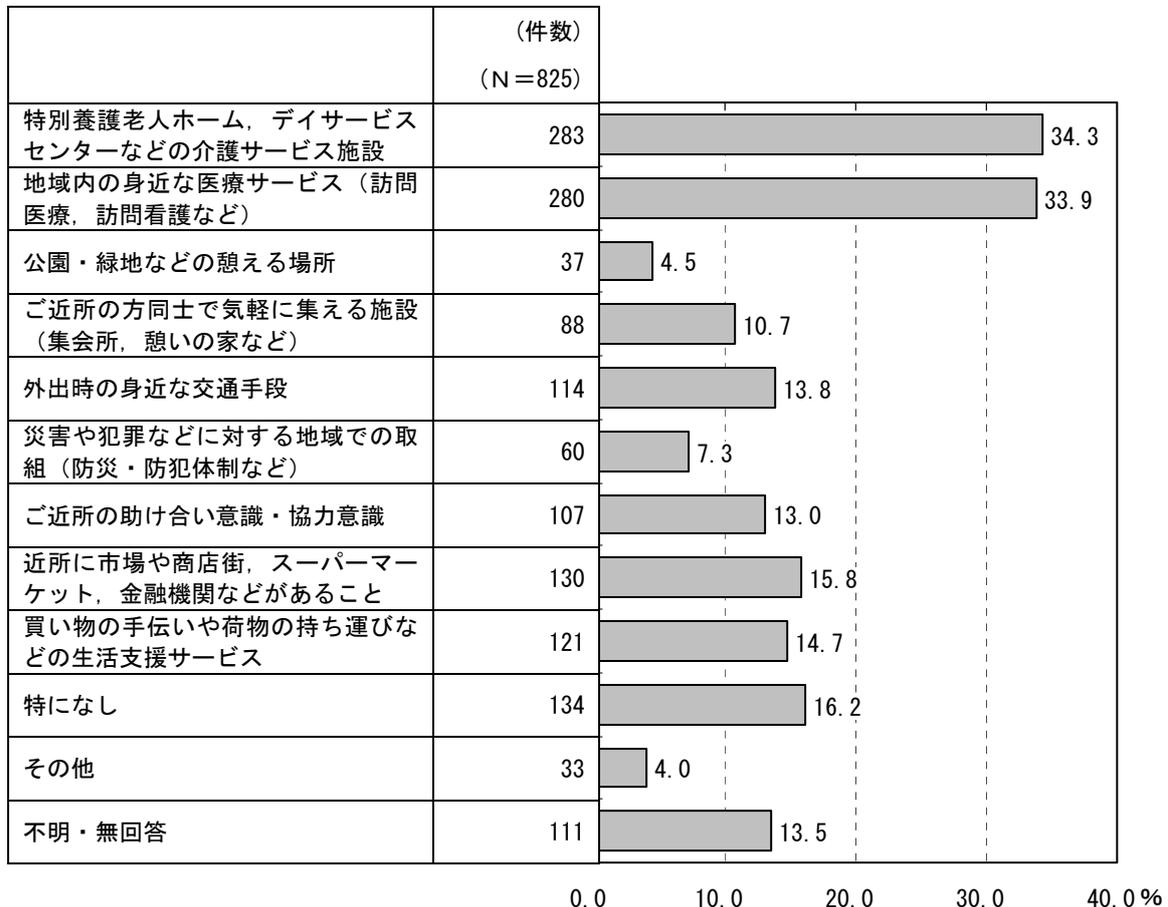






問 20 あなたは、今お住まいの地域(中学校区の範囲程度)で生活していく上で、今後、必要とお感じのことは何ですか。(〇は3つまで)

今後、必要と感じることで、「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」が34.3%と最も高く、次いで「地域内の身近な医療サービス（訪問医療、訪問看護など）」が33.9%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、特に目立った差はみられませんでした。

困っていること別では、『財産・預金などの管理のこと』で「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」が6割以上と特に高くなっています。

□ 年齢別 問20×問1

単位:%

	回答者数(N)	介護サービス施設	地域内の身近な医療サービス	公園・緑地などの憩える場所	ご近所の方向士で気軽に集える施設	外出時の身近な交通手段	災害や犯罪などに対する地域での取組	ご近所の助け合い意識・協力意識	近所にスーパーマーケット、金融機関	買い物の手伝いや荷物の持ち運びなどの生活支援サービス	特になし	その他	不明・無回答
65～69歳	N=50	32.0	34.0	4.0	14.0	8.0	4.0	20.0	14.0	10.0	12.0	4.0	18.0
70～74歳	N=104	37.5	37.5	4.8	5.8	19.2	10.6	11.5	26.9	15.4	13.5	1.0	11.5
75～79歳	N=158	29.7	32.3	6.3	13.3	11.4	10.8	13.9	13.3	13.9	18.4	5.7	12.7
80～84歳	N=196	35.7	38.3	4.6	11.7	16.3	6.6	14.8	19.4	19.9	11.7	5.1	10.7
85歳以上	N=297	35.7	32.3	3.7	9.8	12.5	5.7	11.1	11.8	12.5	20.2	3.4	14.1

□ 困っていること別 問 20×問 17

単位：%

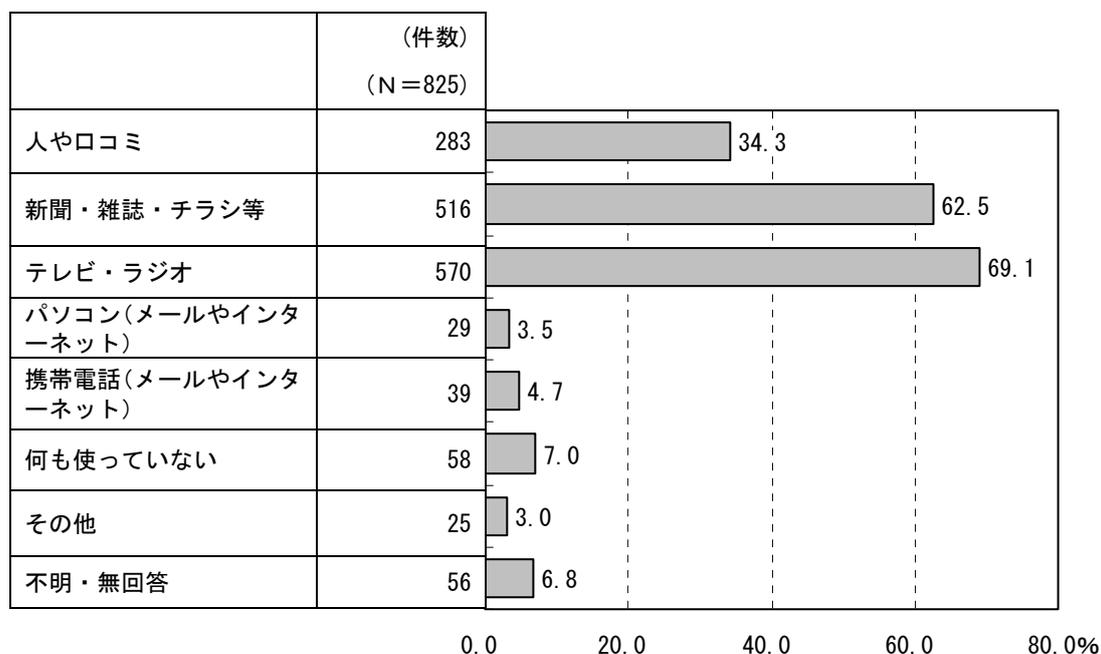
	回答者数(N)	介護サービス施設	地域内の身近な医療サービス	公園・緑地などの憩える場所	ご近所の方同士で気軽に集える施設	外出時の身近な交通手段	災害や犯罪などに対する地域での取組
自分や家族の健康状態のこと	N=372	40.9	40.9	5.6	12.6	18.0	7.3
働く場がないこと	N=5	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0
住宅事情や住環境のこと	N=54	48.1	55.6	9.3	5.6	24.1	7.4
生きがいや楽しみがないこと	N=150	44.0	46.0	5.3	16.0	14.7	6.0
生活費等、経済的なこと	N=156	43.6	44.2	3.8	10.3	16.7	6.4
財産・預金などの管理のこと	N=32	62.5	46.9	6.3	15.6	15.6	6.3
訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	N=22	45.5	59.1	9.1	22.7	40.9	22.7
家族関係のこと	N=50	50.0	50.0	2.0	16.0	12.0	12.0
友人関係、近所づきあいのこと	N=10	40.0	50.0	10.0	30.0	30.0	0.0
身近な相談相手や話し相手がないこと	N=49	51.0	38.8	6.1	22.4	8.2	4.1
災害時などへの対応のこと	N=143	35.7	44.8	8.4	12.6	18.2	14.7
特に困っていることはない	N=212	26.9	27.8	3.8	10.8	11.8	5.7
その他	N=47	31.9	31.9	4.3	8.5	10.6	4.3

	回答者数(N)	ご近所の助け合い意識・協力意識	近所にスーパーマーケット、金融機関	買い物の手伝いなどの生活支援サービス	特になし	その他	不明・無回答
自分や家族の健康状態のこと	N=372	12.6	20.4	18.3	13.4	3.0	7.3
働く場がないこと	N=5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0
住宅事情や住環境のこと	N=54	13.0	35.2	27.8	5.6	9.3	1.9
生きがいや楽しみがないこと	N=150	12.7	18.7	17.3	9.3	4.7	10.0
生活費等、経済的なこと	N=156	14.1	17.9	14.7	12.2	4.5	8.3
財産・預金などの管理のこと	N=32	18.8	31.3	34.4	3.1	0.0	0.0
訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	N=22	13.6	18.2	22.7	9.1	0.0	0.0
家族関係のこと	N=50	26.0	20.0	24.0	8.0	4.0	8.0
友人関係、近所づきあいのこと	N=10	40.0	40.0	40.0	0.0	10.0	0.0
身近な相談相手や話し相手がないこと	N=49	10.2	26.5	32.7	4.1	0.0	12.2
災害時などへの対応のこと	N=143	22.4	15.4	24.5	14.0	3.5	4.2
特に困っていることはない	N=212	12.7	12.7	9.0	33.5	3.3	9.9
その他	N=47	19.1	14.9	23.4	14.9	14.9	8.5

7 情報入手について

問21 あなたは、ふだん生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

情報の入手先では、「テレビ・ラジオ」が 69.1%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・チラシ等」が 62.5%となっています。



【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「テレビ・ラジオ」の割合が低くなっています。

世帯構成別では、『一世代(夫婦のみ)』と『一世代(兄弟姉妹のみ)』で「新聞・雑誌・チラシ等」の割合が高くなっています。

□ 年齢別 問21×問1

単位: %

	回答者数(N)	人や口コミ	新聞・雑誌・チラシ等	テレビ・ラジオ	パソコン(メールやインターネット)	携帯電話(メールやインターネット)	何も使っていない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=50	44.0	68.0	68.0	4.0	4.0	4.0	2.0	8.0
70～74歳	N=104	41.3	66.3	75.0	7.7	5.8	6.7	1.9	2.9
75～79歳	N=158	38.6	65.2	75.9	5.1	7.6	5.7	2.5	5.7
80～84歳	N=196	35.2	71.4	75.5	1.5	5.6	4.6	1.0	4.1
85歳以上	N=297	27.9	53.5	60.6	2.4	2.4	10.4	5.4	9.1

□ 世帯構成別 問 21×問4

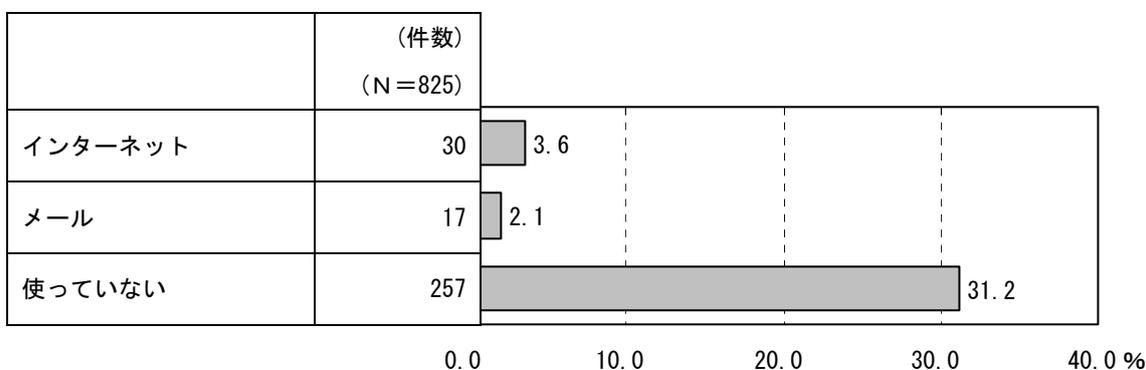
単位：%

	回答者数(N)	人や口コミ	新聞・雑誌・チラシ等	テレビ・ラジオ	パソコン(メールやインターネット)	携帯電話(メールやインターネット)	何も使っていない	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=168	30.4	58.3	72.6	1.2	6.5	8.3	3.0	5.4
一世代(夫婦のみ)	N=270	36.3	73.0	73.0	6.3	6.3	6.3	1.9	5.9
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=15	20.0	73.3	60.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
二世帯同居(あなたと親)	N=5	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
二世帯同居(あなたと子)	N=192	33.3	58.3	66.7	2.6	3.6	7.8	4.2	6.3
三世帯同居(あなたと子と孫)	N=109	46.8	55.0	67.9	3.7	2.8	6.4	3.7	5.5
三世帯同居(あなたと親と子)	N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	N=22	18.2	50.0	54.5	0.0	0.0	9.1	4.5	22.7

問21-2 自分が使えるパソコンや携帯電話を持っている方にお聞きします。パソコンや携帯電話はどのように使っていますか。(①, ②のそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

①パソコン

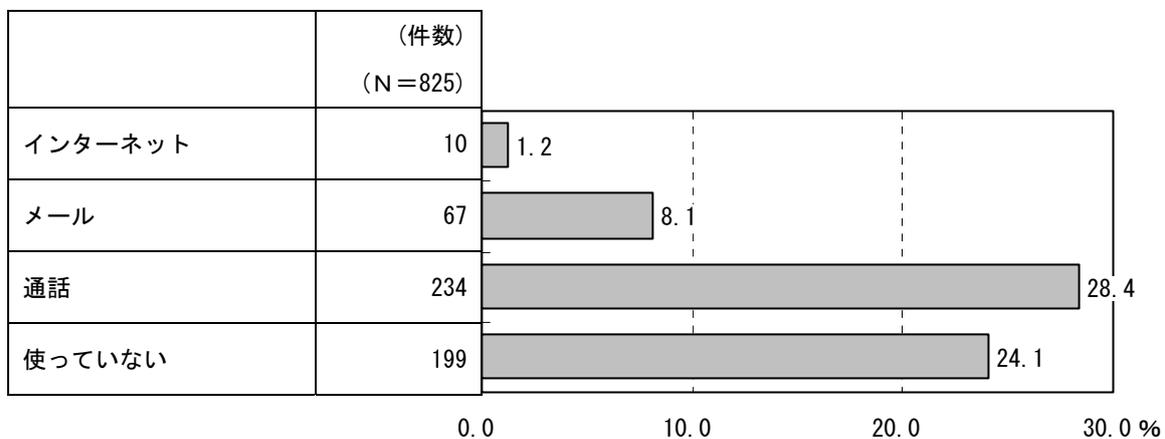
パソコンの利用度では、「使っていない」が31.2%と最も高く、次いで「インターネット」が3.6%となっています。



※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

②携帯電話

携帯電話の利用度では、「通話」が28.4%と最も高く、次いで、「使っていない」が24.1%となっています。

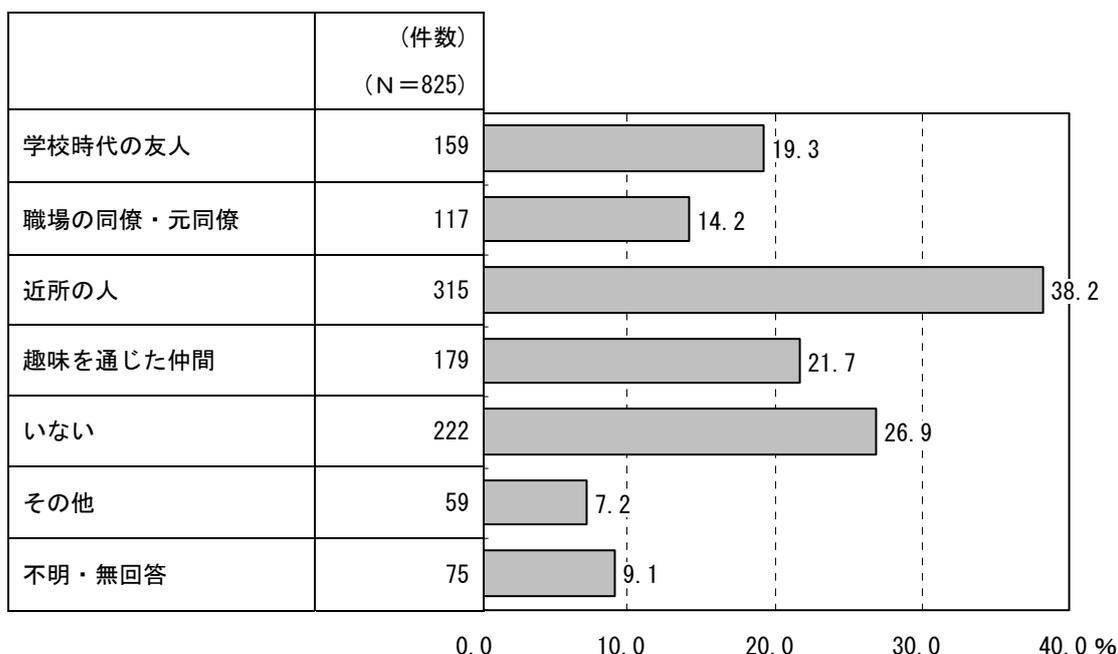


※不明・無回答があるため、合計数は一致しません

8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について

問22 あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間どのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

親しくしている友人・仲間では、「近所の人」が 38.2%と最も高く、次いで「いない」が 26.9%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

単位: %

	回答者数(N)	学校時代の友人	職場の同僚・元同僚	近所の人	趣味を通じた仲間	その他	不明・無回答
平成17年調査	N=3,068	36.2	35.8	53.1	44.4	8.9	1.6

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

年齢別では、『85歳以上』で「いない」の割合が高くなっています。

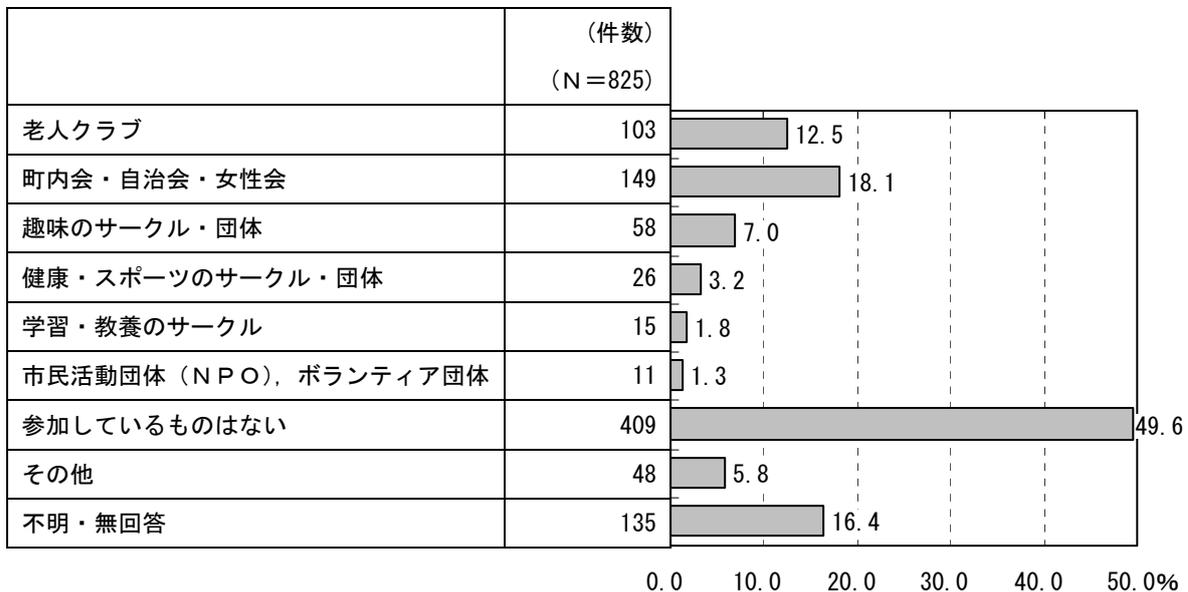
□ 年齢別 問22×問1

単位: %

	回答者数(N)	学校時代の友人	職場の同僚・元同僚	近所の人	趣味を通じた仲間	いない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=50	12.0	8.0	50.0	30.0	22.0	10.0	10.0
70～74歳	N=104	23.1	16.3	37.5	25.0	29.8	3.8	3.8
75～79歳	N=158	23.4	22.2	40.5	22.8	20.3	8.9	7.6
80～84歳	N=196	27.6	17.9	44.4	24.0	18.9	6.1	10.2
85歳以上	N=297	12.1	8.4	33.3	17.2	36.7	7.1	8.8

問23 あなたは、現在参加している団体や組織はありますか。(あてはまるものすべてに○)

団体や組織の参加状況では、「参加しているものはない」が49.6%と最も高く、次いで「町内会・自治会・女性会」が18.1%となっています。



【前回調査との比較】(平成17年調査は参考)

前回調査との比較では、平成19年調査より「参加しているものはない(平成19年調査では「特にない」)」の割合が低くなっています。

単位: %

	回答者数(N)	旅行	趣味や 娯楽の サークル活動	健康づ くりや スポーツ活動	学習や 教養な どを身 につけ る活動	地域の 団体や 行事への参加	社会奉 仕活動	若い世 代との 交流	その他	特にな い	不明・ 無回答
平成19年調査	N=670	8.1	11.7	3.8	5.7	4.4	1.9	3.8	7.5	58.8	9.7

	回答者数(N)	老人ク ラブ	町内 会・自 治会・ 女性会	趣味の サーク ル・団 体	健康・ スポー ツのサ ークル ・団体	学習・ 教養の サーク ル	市民活 動団体 (NP O), ボラン ティア 団体	その他	不明・ 無回答
平成17年調査	N=3,633	11.6	31.5	18.6	10.9	5.2	4.3	7.8	39.8

※調査対象及び選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

年齢別では、『80～84歳』で「町内会・自治会・女性会」の割合が高くなっています。

□ 年齢別 問23×問1

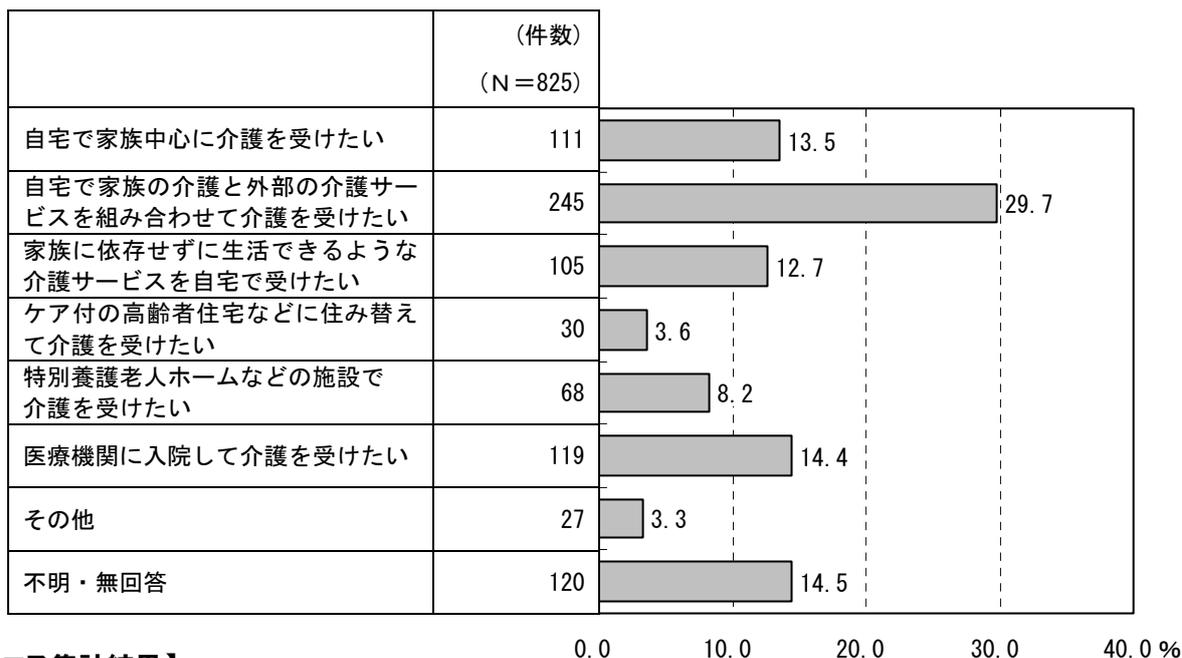
単位：%

	回答者数(N)	老人クラブ	町内会・自治会・女性会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル	市民活動団体(NPO), ボランティア団体	参加しているものはない	その他	不明・無回答
65～69歳	N=50	8.0	16.0	8.0	4.0	4.0	2.0	48.0	8.0	20.0
70～74歳	N=104	6.7	14.4	8.7	4.8	1.0	1.0	56.7	1.0	16.3
75～79歳	N=158	11.4	22.2	8.2	5.7	1.9	1.9	44.9	7.6	15.2
80～84歳	N=196	15.8	24.5	7.7	2.0	2.6	1.0	45.9	5.6	15.8
85歳以上	N=297	14.1	14.5	5.1	1.7	1.3	1.0	54.2	6.7	14.1

9 介護が必要な場合への支援について

問24 もし、あなた自身に介護が必要になった場合、あなたはどのような介護を希望しますか。(〇は1つ)

今後の介護に対する希望では、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が29.7%と最も高く、次いで「医療機関に入院して介護を受けたい」が14.4%となっています。

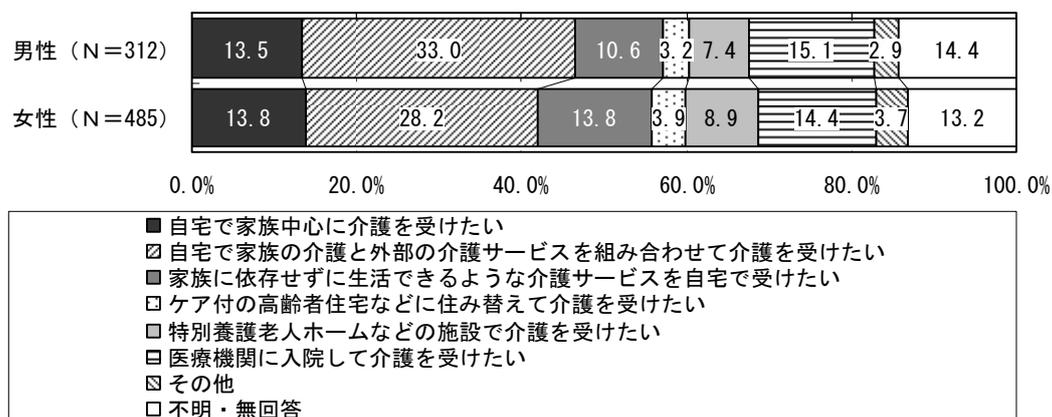


【クロス集計結果】

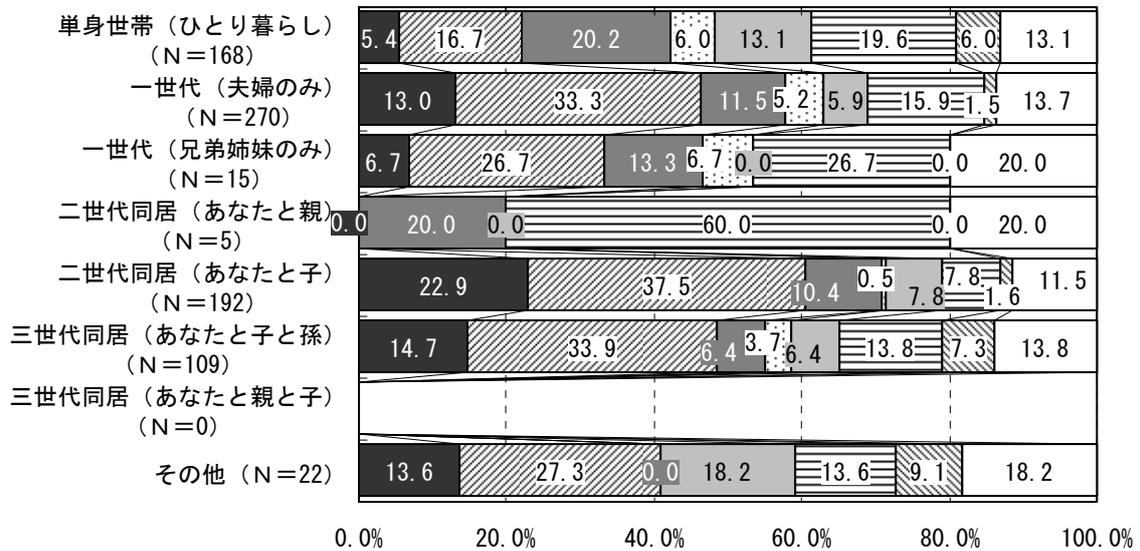
男女別では、『男性』で「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」の割合が高くなっています。

世帯構成別では、『二世帯同居（あなたと子）』で「自宅で家族中心に介護を受けたい」と「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」を合わせた割合が6割を超え、高くなっているのに対し、『単身世帯（ひとり暮らし）』では2割強と低くなっています。

□ 男女別 問24×問2



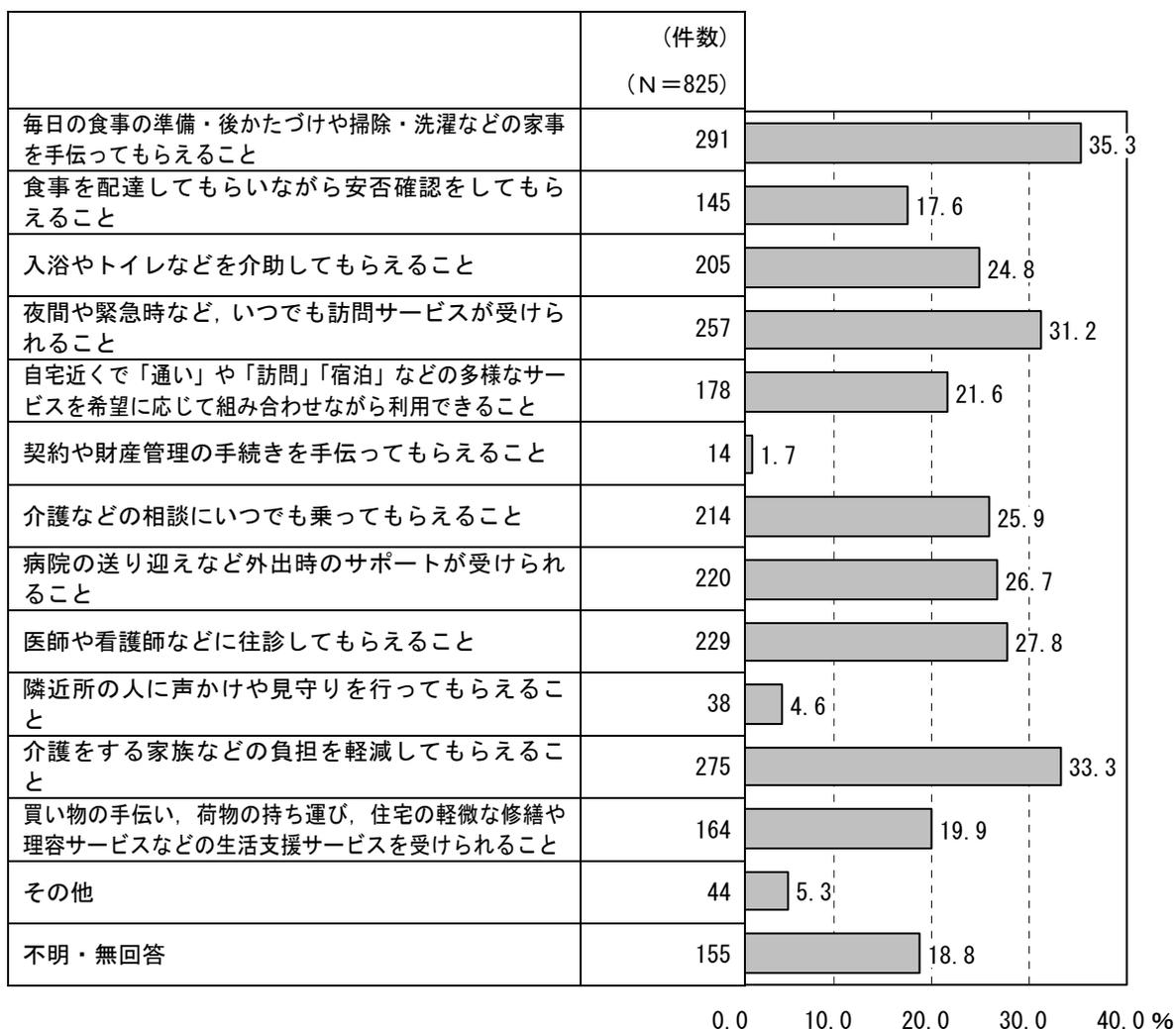
□ 世帯構成別 問 24×問4



- 自宅で家族中心に介護を受けたい
- ☒ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
- 家族に依存せず生活できるような介護サービスを自宅で受けたい
- ケア付の高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
- 医療機関に入院して介護を受けたい
- ☒ その他
- 不明・無回答

問25 自宅での生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

充実すべき支援内容では、「毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が35.3%と最も高く、次いで「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が33.3%となっています。



【クロス集計結果】

世帯構成別では、『単身世帯（ひとり暮らし）』と『一世代（夫婦のみ）』で「毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が4割と高くなっています。

要介護度別では、『要支援1・2』と『要介護1』で「毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」の割合が高いのに対して、『要介護4・5』では「入浴やトイレなどを介助してもらえること」の割合が高くなっています。

□ 世帯構成別 問 25×問4

単位：%

	回答者数(N)	毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること	食事を配達してもらいながら安否確認をしてもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること	自宅近くで多様なサービスを希望に応じて組み合わせてながら利用できること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	介護などの相談にいつでも乗ってもらえること
単身世帯(ひとり暮らし)	N=168	41.1	26.8	21.4	36.9	14.9	0.6	19.6
一世代(夫婦のみ)	N=270	40.7	17.8	24.4	27.8	19.6	1.9	30.0
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=15	20.0	13.3	46.7	40.0	33.3	6.7	26.7
二世帯同居(あなたと親)	N=5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
二世帯同居(あなたと子)	N=192	31.8	15.6	28.6	34.4	26.0	2.1	28.1
三世帯同居(あなたと子と孫)	N=109	23.9	11.0	27.5	33.0	33.9	0.9	27.5
三世帯同居(あなたと親と子)	N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	N=22	31.8	9.1	27.3	31.8	18.2	0.0	22.7

	回答者数(N)	病院の送り迎えなど外出時のサポートが受けられること	医師や看護師などに往診してもらえること	隣近所の人に声かけや見守りを行ってもらえること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	生活支援サービスを受けられること	その他	不明・無回答
単身世帯(ひとり暮らし)	N=168	22.0	20.2	9.5	13.7	33.3	7.7	18.5
一世代(夫婦のみ)	N=270	30.4	27.8	4.1	36.7	22.6	5.9	14.1
一世代(兄弟姉妹のみ)	N=15	33.3	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	13.3
二世帯同居(あなたと親)	N=5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
二世帯同居(あなたと子)	N=192	30.7	34.9	3.6	43.8	16.1	2.6	17.7
三世帯同居(あなたと子と孫)	N=109	26.6	31.2	1.8	44.0	5.5	6.4	17.4
三世帯同居(あなたと親と子)	N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	N=22	22.7	18.2	0.0	31.8	9.1	4.5	45.5

□ 要介護度別 問 25×問6

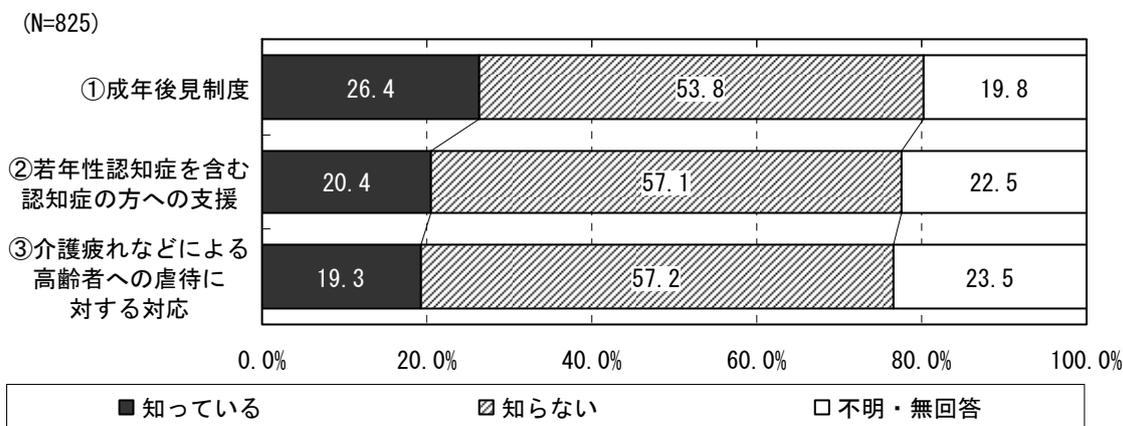
単位：%

	回答者数(N)	毎日の食事の準備・後かたづけや掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること	食事を配達してもらいながら安否確認をしてもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	夜間や緊急時など、いつでも訪問サービスが受けられること	自宅近くで多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	介護などの相談にいつでも乗ってもらえること
要支援1	N=164	44.5	23.8	18.3	36.0	20.7	1.8	29.3
要支援2	N=143	38.5	21.0	16.8	35.0	18.2	2.8	30.8
要介護1	N=80	45.0	17.5	18.8	31.3	22.5	1.3	31.3
要介護2	N=95	30.5	10.5	23.2	28.4	26.3	2.1	26.3
要介護3	N=90	34.4	13.3	31.1	32.2	31.1	0.0	21.1
要介護4	N=77	32.5	15.6	48.1	32.5	27.3	1.3	24.7
要介護5	N=96	22.9	17.7	40.6	33.3	17.7	3.1	16.7

	回答者数(N)	病院の送り迎えなど外出時のサポートが受けられること	医師や看護師などに往診してもらえること	隣近所の人に声かけや見守りを行ってもらえること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	生活支援サービスを受けられること	その他	不明・無回答
要支援1	N=164	26.2	28.7	7.3	24.4	29.9	3.7	12.8
要支援2	N=143	36.4	26.6	6.3	36.4	29.4	4.9	10.5
要介護1	N=80	25.0	25.0	7.5	23.8	23.8	1.3	15.0
要介護2	N=95	36.8	24.2	1.1	43.2	20.0	6.3	16.8
要介護3	N=90	14.4	33.3	2.2	41.1	13.3	5.6	22.2
要介護4	N=77	29.9	31.2	2.6	45.5	11.7	2.6	18.2
要介護5	N=96	22.9	32.3	2.1	40.6	4.2	9.4	26.0

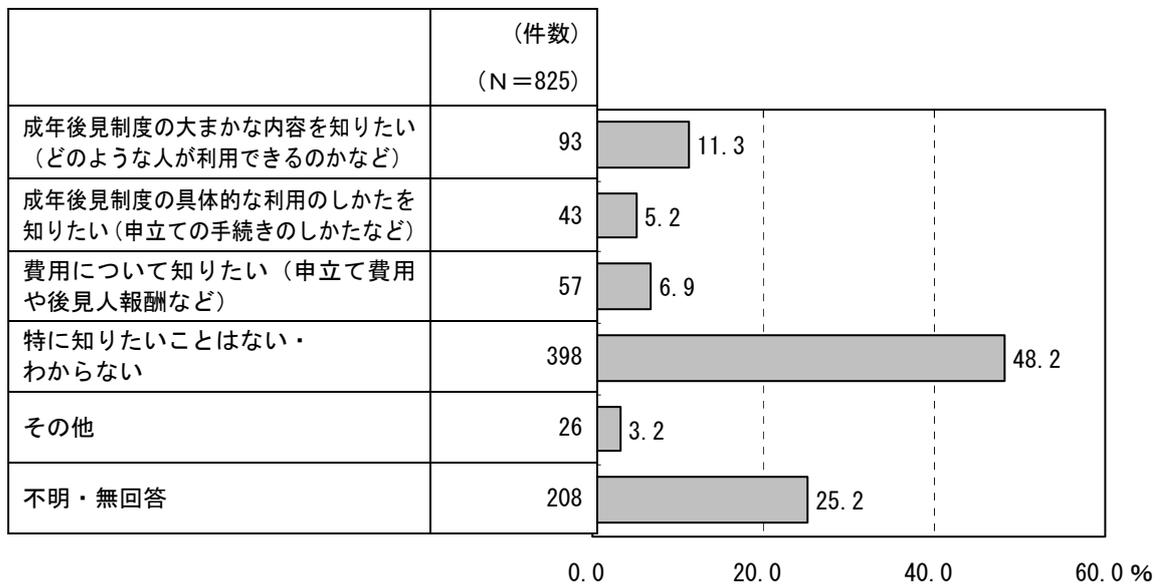
問26 あなたは、次のようなことについて知っていますか。(①～③のそれぞれについて 1.知っている, 2.知らない のどちらかに○)

施策に対する認知度では、『①成年後見制度』の「知っている」が26.4%、『②若年性認知症を含む認知症の方への支援』の「知っている」が20.4%、『③介護疲れなどによる高齢者への虐待に対する対応』の「知っている」が19.3%となっています。また、①～③の全ての施策において「知らない」が5割以上となっています。



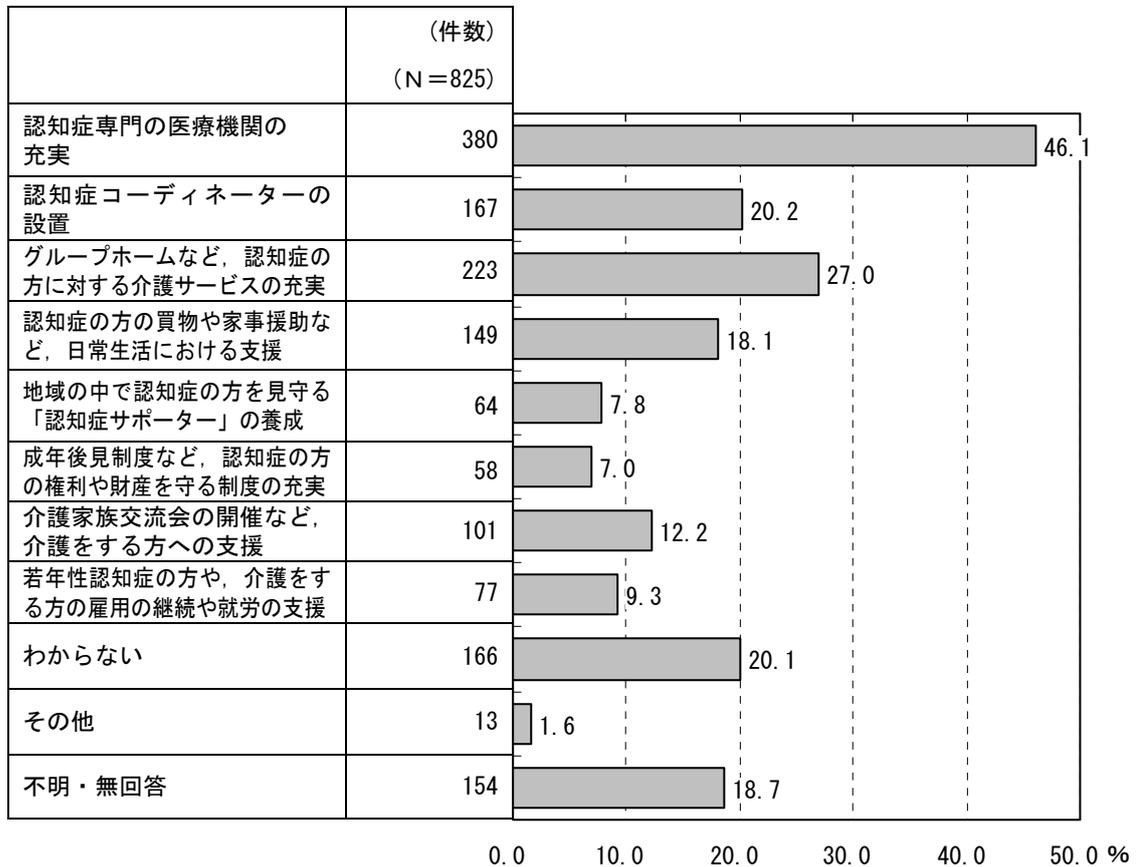
問27 あなたは、成年後見制度について知りたいことが何かありますか。(〇は1つ)

成年後見制度について知りたいことでは、「特に知りたいことはない・わからない」が48.2%と最も高く、次いで「成年後見制度の大まかな内容を知りたい(どのような人が利用できるのかなど)」が11.3%となっています。



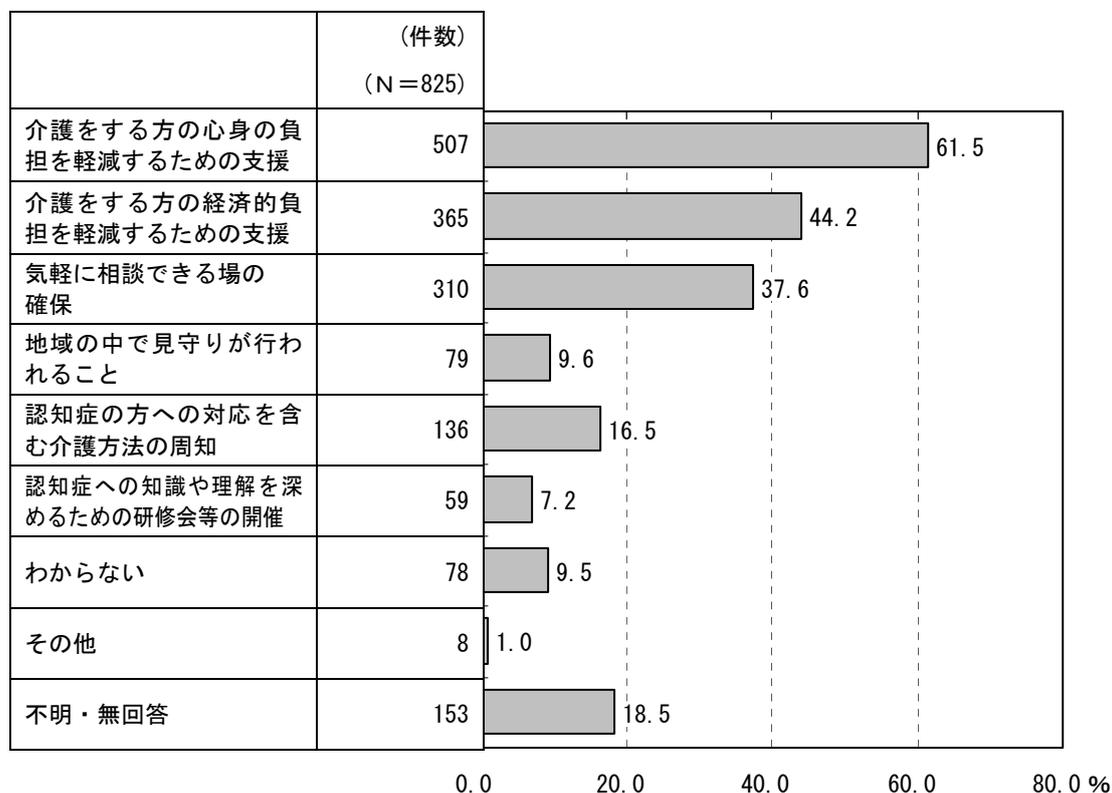
問28 若年性認知症を含む認知症の方への対策が課題となっていますが、あなたや、あなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

認知症になった場合の支援体制では、「認知症専門の医療機関の充実」が46.1%と最も高く、次いで「グループホームなど、認知症の方に対する介護サービスの充実」が27.0%となっています。



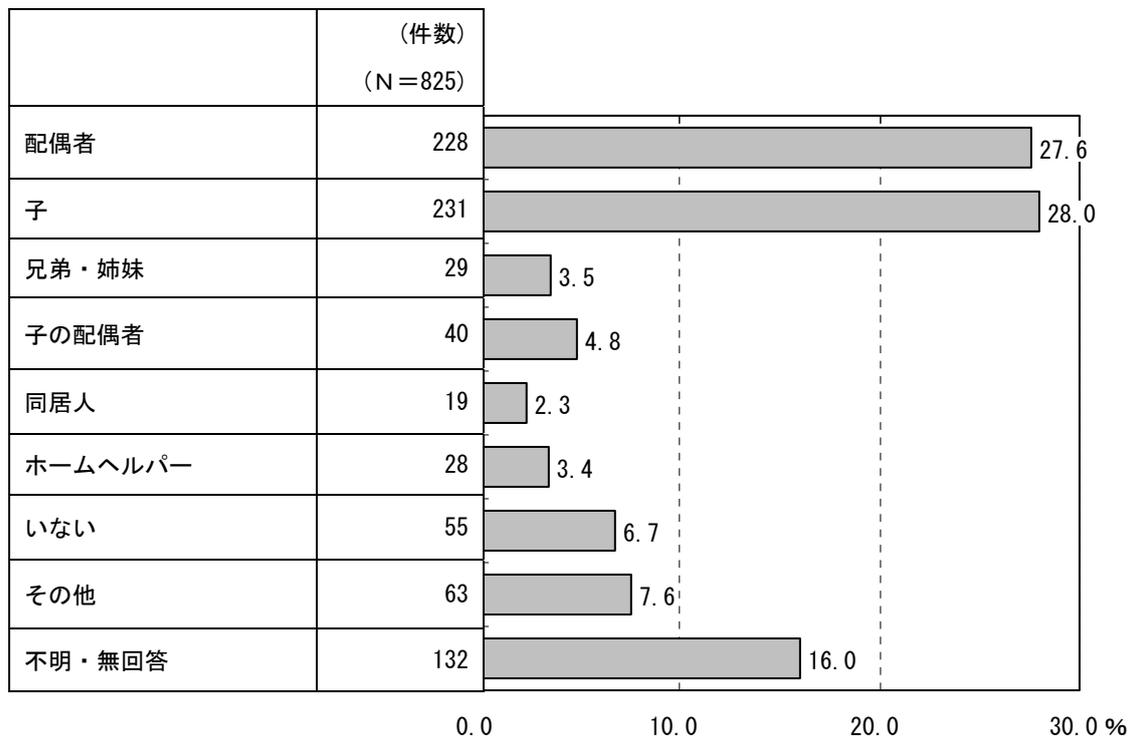
問29 介護疲れなどによる高齢者虐待を未然に防ぐために、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

高齢者虐待の予防支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が61.5%と最も高く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が44.2%となっています。



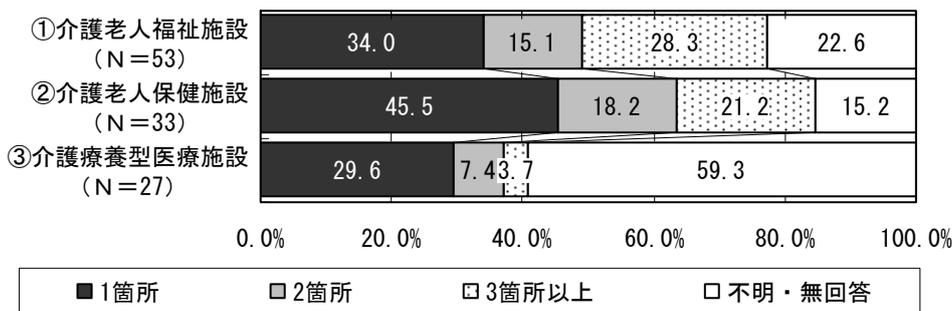
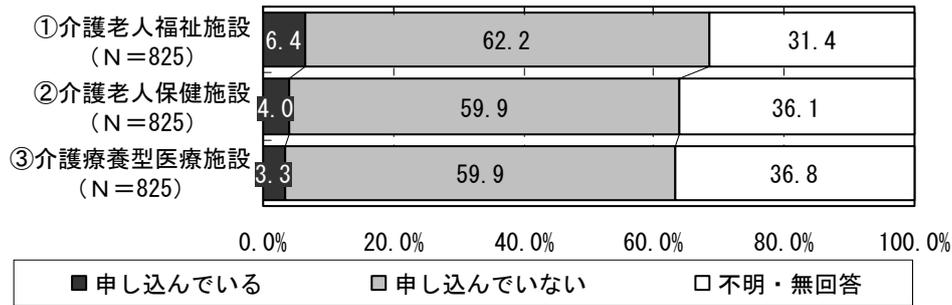
問30 あなたは、主にどなたに介護されていますか。(○は1つ)

主な介護者では、「子」が28.0%と最も高く、次いで「配偶者」が27.6%となっています。



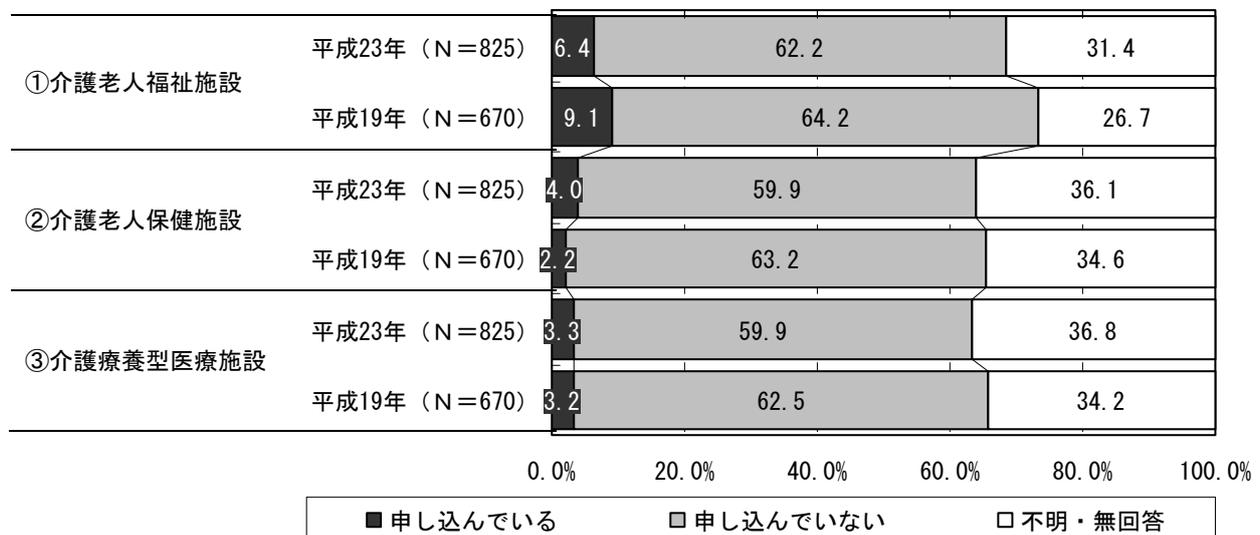
問31 現在、介護保険施設に入所(入院)の申込みをしていますか。①～③のそれぞれの施設について申込みの有無と、申し込んでいる場合は申し込んだ施設の数をお答えください。

施設への申し込みの有無では、『①介護老人福祉施設』で「申し込んでいる」が 6.4%、『②介護老人保健施設』で「申し込んでいる」が 4.0%、『③介護療養型医療施設』で「申し込んでいる」が 3.3%となっています。申し込み箇所数では、『①介護老人福祉施設』で「1箇所」が 34.0%、『②介護老人保健施設』で「1箇所」が 45.5%、『③介護療養型医療施設』で「1箇所」が 29.6%と最も高くなっています。



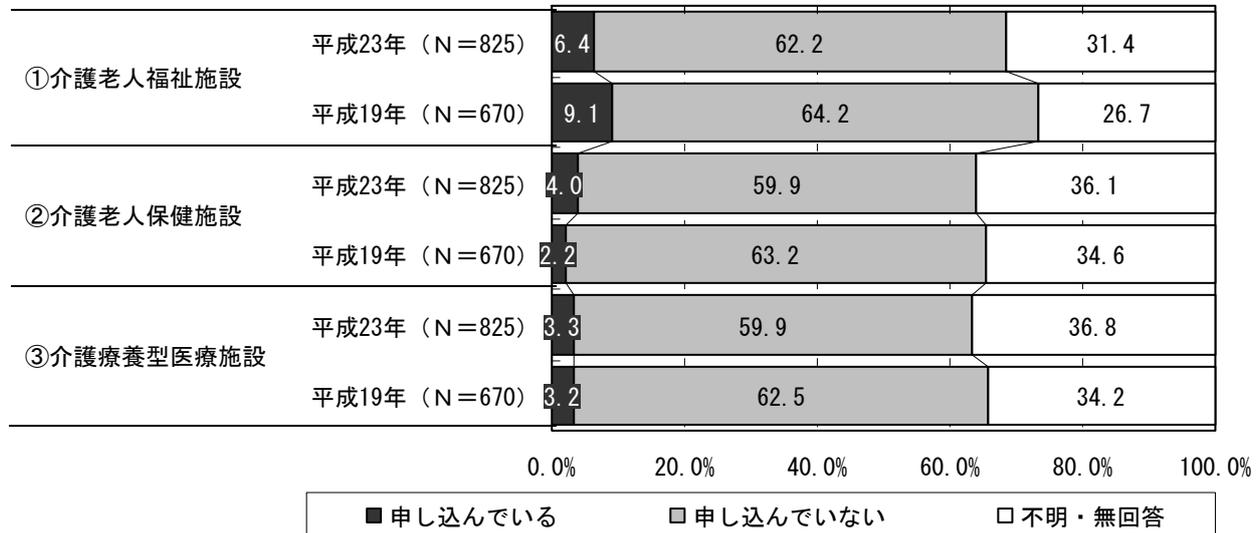
【申し込みの有無／前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より申し込みの有無で『①介護老人福祉施設』の「申し込んでいる」の割合が低くなっています。また、申し込み箇所数で『③介護療養型医療施設』の「1箇所」の割合が特に低くなっています。

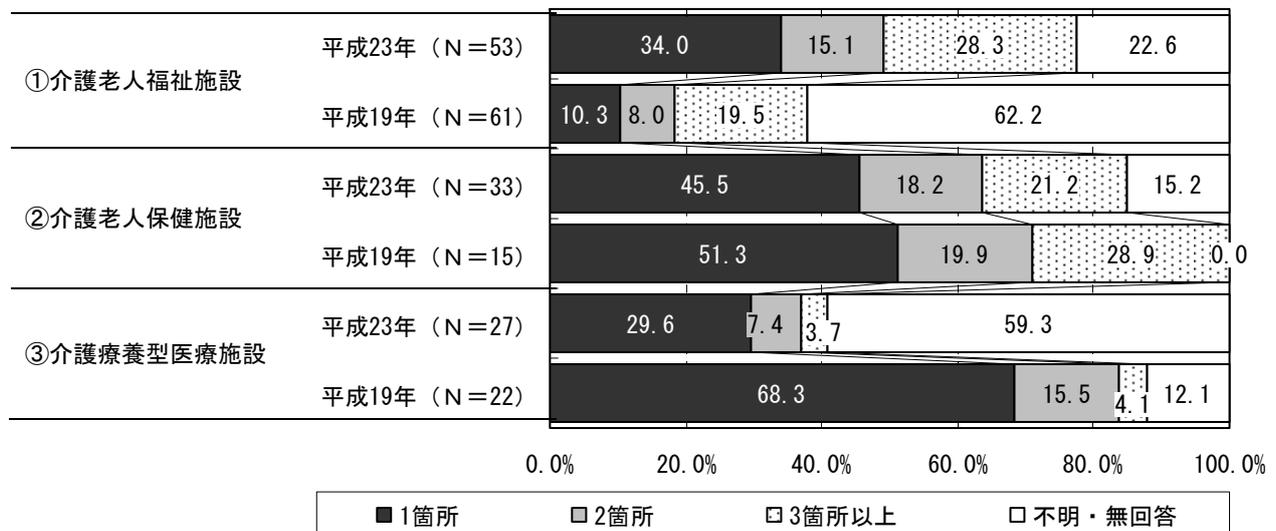


【申し込みの有無／前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より申し込みの有無で『①介護老人福祉施設』の「申し込んでいる」の割合が低くなっています。また、申し込み箇所数で『③介護療養型医療施設』の「1箇所」の割合が特に低くなっています。



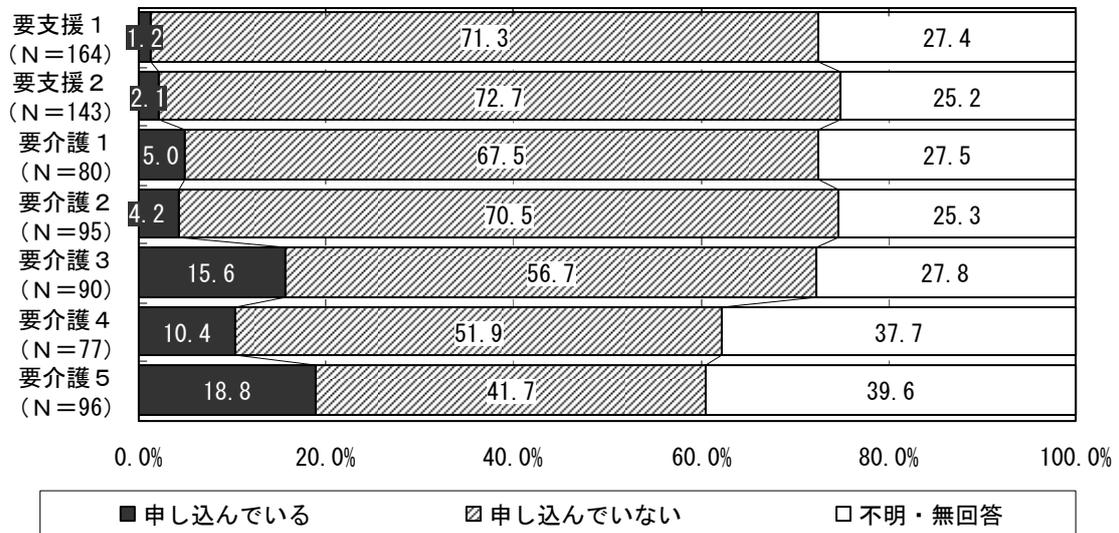
【申し込み箇所数／前回調査との比較】



【クロス集計結果】

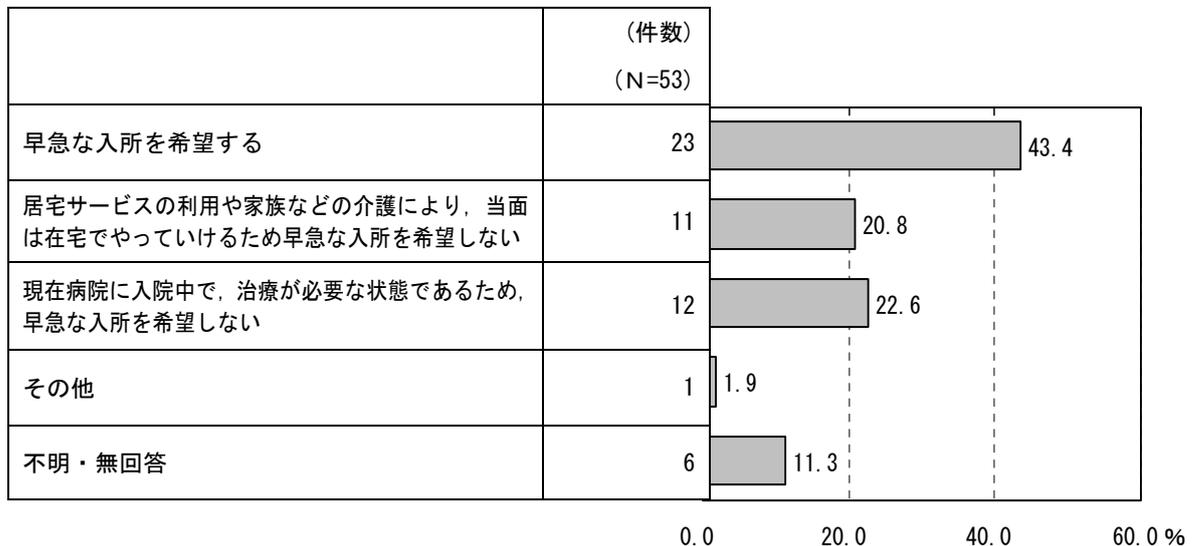
要介護度別では、『要介護3・4・5』で「申し込んでいる」の割合が高くなっています。

□ 要介護度別 問 31×問6



**問31-2 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所申込みをされた方のみ
施設への早急な入所を希望しますか。(〇は1つ)**

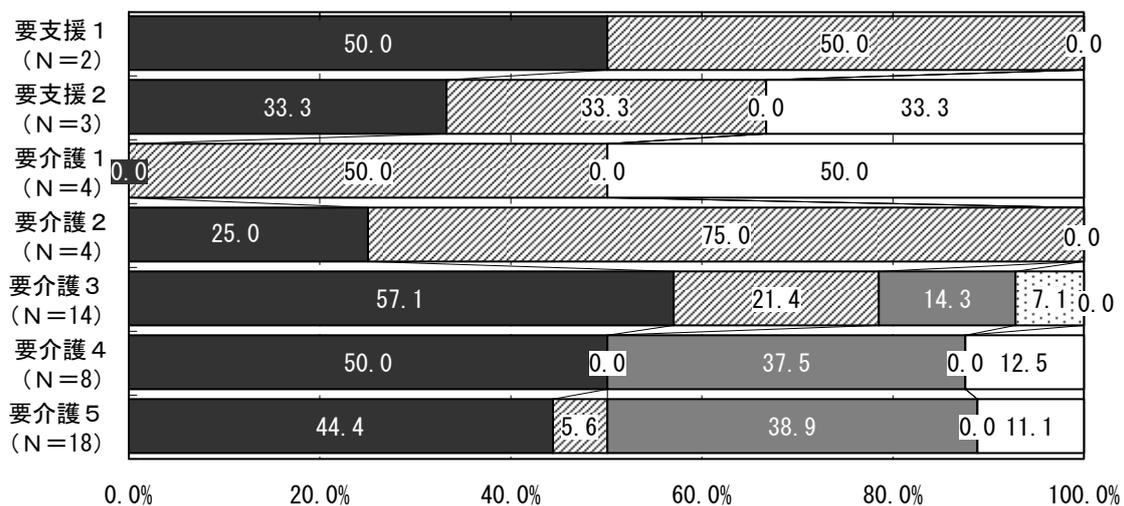
早急な入所希望では、「早急な入所を希望する」が43.4%と最も高く、次いで「現在病院に入院中で、治療が必要な状態であるため、早急な入所を希望しない」が22.6%となっています。



【クロス集計結果】

要介護度別では、『要介護3』で「早急な入所を希望する」が6割弱と高くなっています。

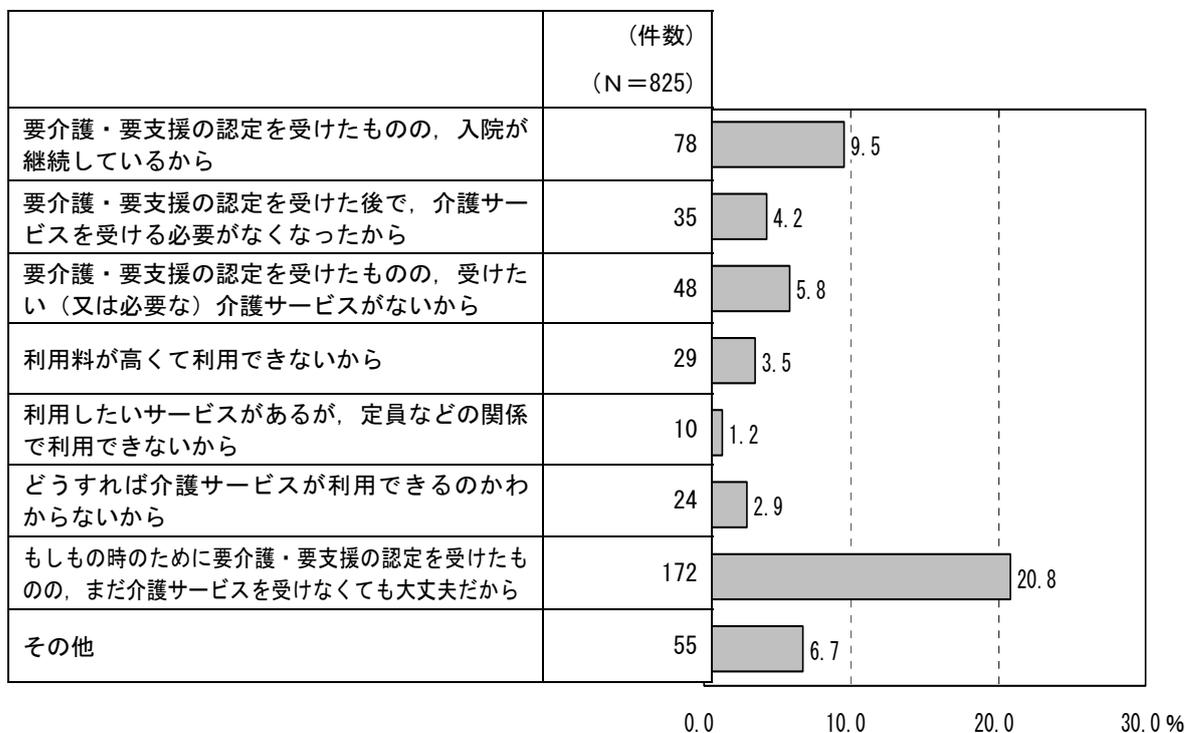
□ 要介護度別 問31-2×問6



- 早急な入所を希望する
- ▨ 居宅サービスの利用や家族などの介護により、当面は在宅でやっつけられるため早急な入所を希望しない
- 現在病院に入院中で、治療が必要な状態であるため、早急な入所を希望しない
- その他
- 不明・無回答

問32 介護サービスを全く利用していない方のみ 利用していない理由は、何ですか。(〇は1つ)

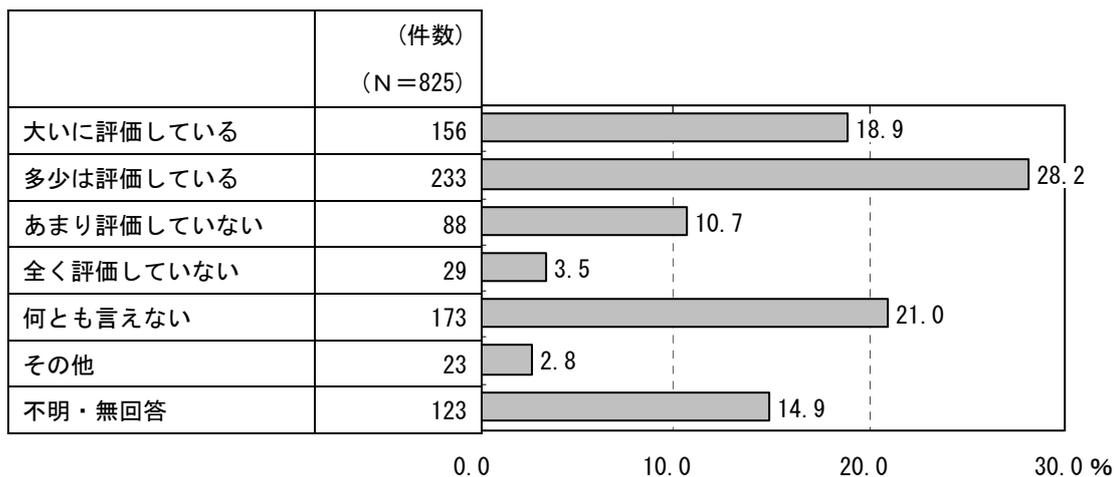
介護サービスを利用していない理由では、「もしもの時のために要介護・要支援の認定を受けたものの、まだ介護サービスを受けなくても大丈夫だから」が20.8%と最も高く、次いで「要介護・要支援の認定を受けたものの、入院が継続しているから」が9.5%となっています。



10 介護保険制度について

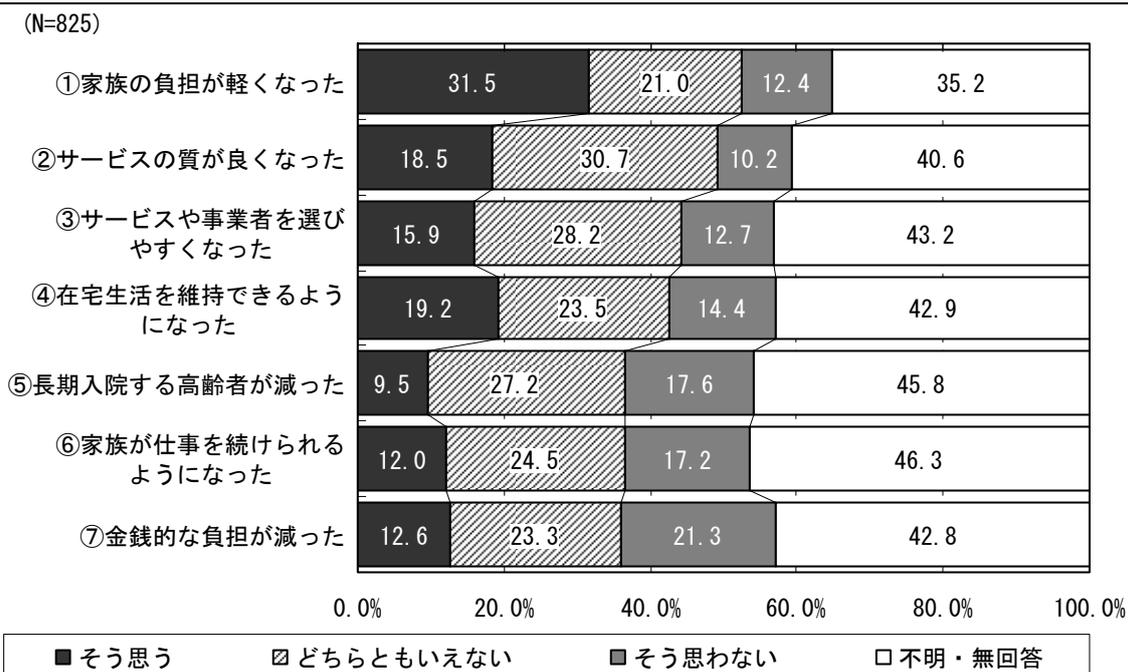
問33 介護保険制度が創設されて、今年で11年目を迎えました。介護保険制度への評価として、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護保険制度への評価では、『評価している(「大いに評価している」と「多少は評価している」の合計)』が47.1%と最も高く、次いで「何とも言えない」が21.0%となっています。



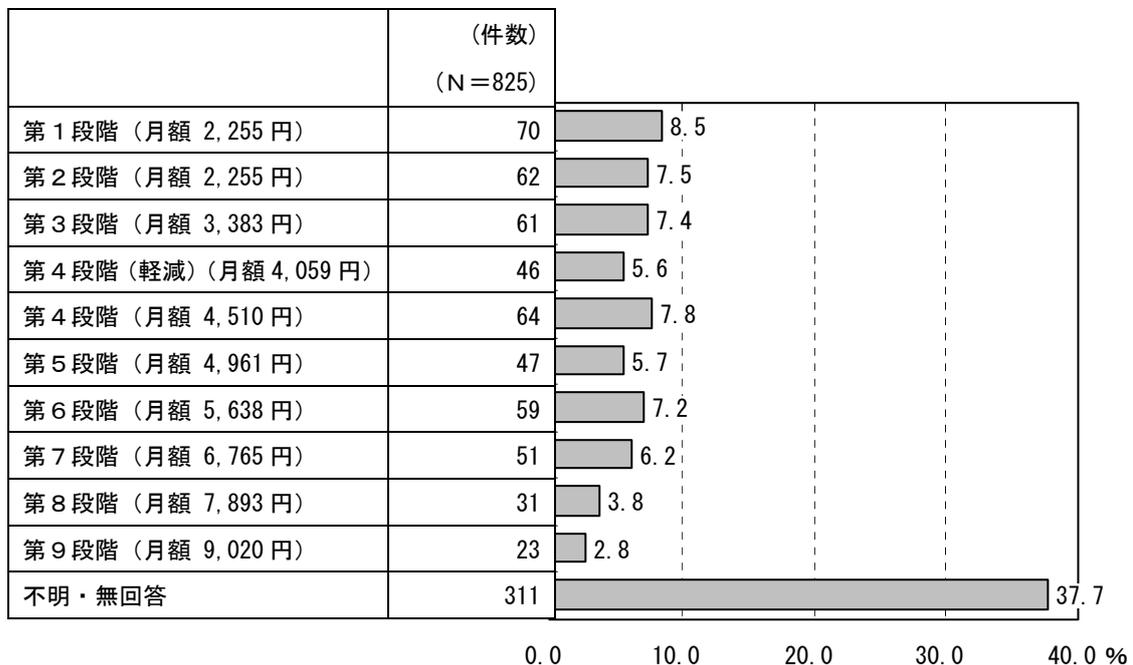
問34 介護保険制度によってどのような効果があったと考えますか。(①～⑦それぞれについて、あなたの考えに最も近い、1.そう思う、2.どちらともいえない、3.そう思わない のどれか1つに○)

介護保険制度の効果では、『①家族の負担が軽くなった』の「そう思う」が31.5%と最も高く、次いで『④在宅生活を維持できるようになった』の「そう思う」が19.2%となっています。



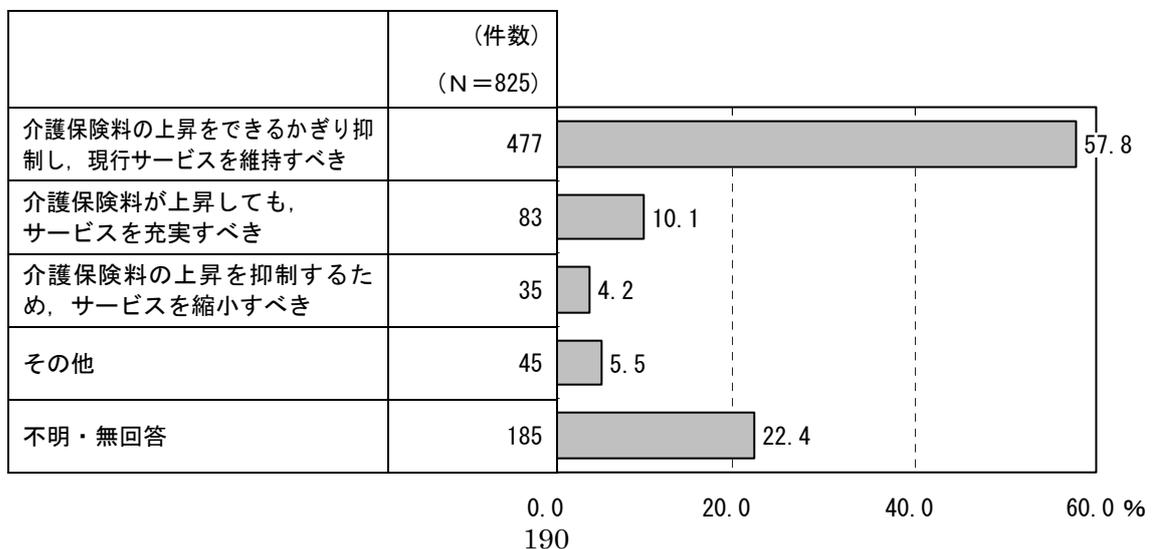
問35 あなたの、介護保険料の段階はどれですか。(〇は1つ)

介護保険料の段階では、「不明・無回答」をのぞくと「第1段階（月額2,255円）」が8.5%と最も高く、次いで「第4段階（月額4,510円）」が7.8%となっています。



問36 高齢化の進展等に伴う介護サービスの利用者増等によって、介護保険を運用していくための費用は年々増加しており、保険料上昇の主な原因となっています。今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

今後の保険料とサービスのあり方では、「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」が57.8%と特に高くなっています。次いで「介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき」が10.1%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査との比較では、前回より「介護保険料の上昇をできるかぎり抑制し、現行サービスを維持すべき」（平成19年調査では「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」）の割合が、約2割から6割近くと特に高くなっています。

単位：%

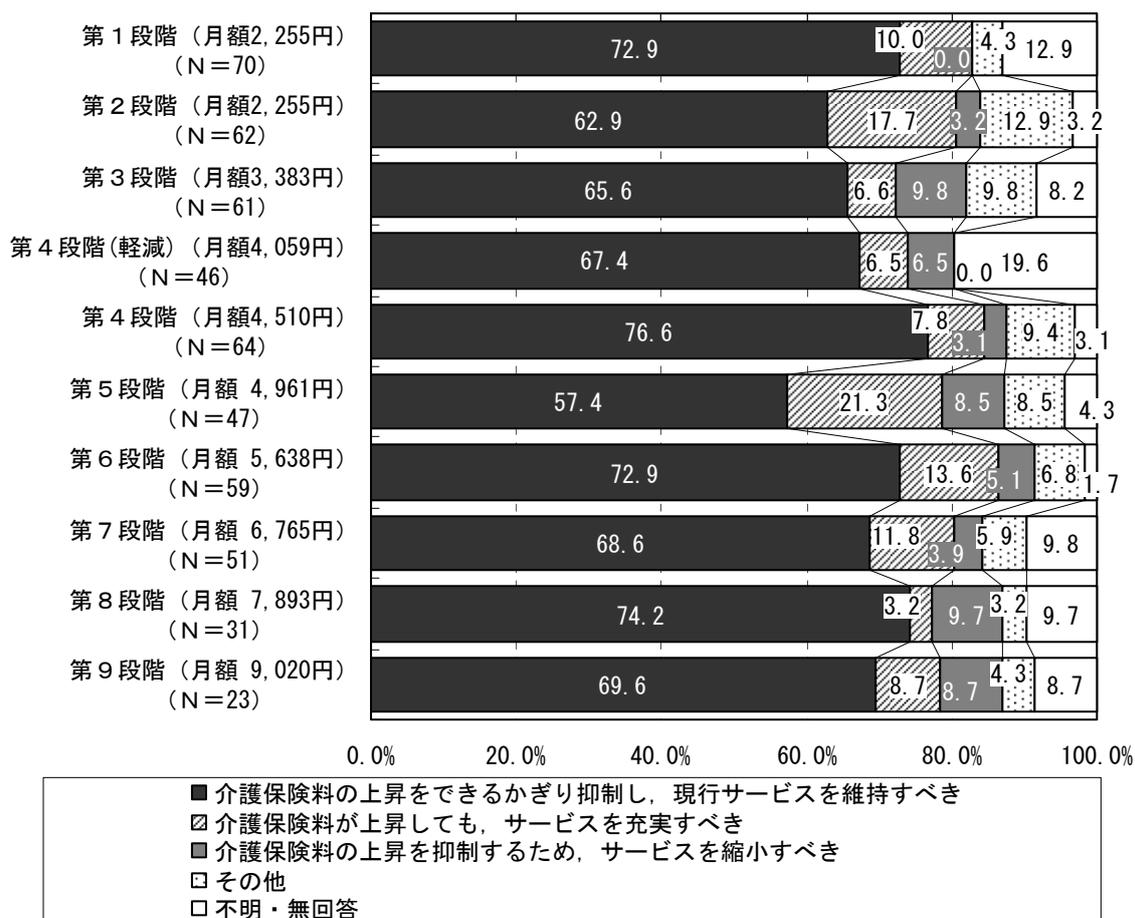
	回答者数(N)	保険料がある程度高くなっても、サービスの量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	不明・無回答
平成19年調査	N=670	13.1	20.5	3.1	32.7	30.7

※選択肢等が異なるため、比較時には注意

【クロス集計結果】

介護保険料別では、『第5段階（月額4,961円）』で「介護保険料が上昇しても、サービスを充実すべき」の割合が高くなっています。

□ 介護保険料別 問36×問35



問37 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見欄には、53人から（記入率3.0%）から延べ64件の回答がありました。回答内容では、「施設サービスの充実」に関する意見が、特に多くあがっています。

介護保険料の負担	3
介護保険料が高い・安くしてほしい	3

介護保険制度全般	19
介護に関する情報がほしい	7
国民のためにも福祉施設や介護保険制度を改善してほしい	4
公平・公正に制度やサービスが利用できるようにしてほしい	4
保険や利用料の負担を軽減してほしい	2
サービスの利用時間や受け入れを柔軟に対応してくれるようにしてほしい	2

要介護認定	3
介護認定に不満・基準が不明	3

施設サービスの充実	26
介護施設（特別養護老人ホーム・高齢者施設等）を増設してほしい	12
職員数の増員・育成をしてほしい	4
低料金で入所できる施設を増設してほしい	4
介護施設への早急な入所を希望する	3
リハビリをしっかりともらえる病院・施設が必要	2
精神疾患の入院施設が必要	1

高齢者保健福祉施策について	4
高齢者保健福祉制度、介護保険事業の充実	2
医療費が高く、生活が厳しい	1
後期高齢者制度について年金から引く事はやめてほしい	1

市行政について	2
成年後見者制度をわかりやすくしてほしい	1
市営住宅に障害者用住宅を増やしてほしい	1

その他の意見	6
アンケートに回答することが難しい	2
高齢者の交流の場がほしい	1
実の娘から虐待を受け困っている	1
その他	2

